令和４年度　香川県学習状況調査
報　告　書

令和５年２月

香川県教育センター

目　次

はじめに
令和４年度学校教育実践の手引【香川県教育委員会】の実現に向けて

Ⅰ　特集とＱ＆Ａ …… 1
特集１「深い学びにつながる話合い」 …… 2
特集２「自己有用感につながる主体的な取組」 …… 4
香川県重点項目に関する質問項目 …… 6
Question 1「学習意欲」 …… 7
Question 2「言語活動」 …… 8
Question 3「学習習慣」 …… 9
Question 4「自己有用感・規範意識等」 …… 10
Question 5「学校生活」 …… 11
Question 6「メディアの利用」 …… 12

Ⅱ　調査結果（概論） …… 13
調査の概要 …… 14
全体的な状況 …… 16
正答数・正答率の分布 …… 17
無解答率 …… 19
教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計 …… 20
結果に特徴の見られる質問 …… 23

Ⅲ　教科に関する調査結果及び分析 …… 25
国語 …… 26
社会 …… 30
算数・数学 …… 34
理科 …… 38
英語 …… 42
「学びの質」を高めるアプローチ …… 44

Ⅳ　質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙） …… 45
児童生徒質問紙調査結果一覧 …… 46
児童生徒質問紙調査結果経年比較 …… 54
学校質問紙調査結果一覧 …… 64
学校質問紙調査結果経年比較 …… 72
学校改善に向けた調査結果の活用 …… 80

は じ め に

香川県は、県独自の調査として平成 14 年度より、県学習状況調査を実施してまいりました。国が全国学力・学習状況調査を実施したのが平成 19 年度からですので、国に先立つこと５年前から実施し、県下の児童生徒の学力や学習状況等の把握のためのデータを収集し、様々な教育施策に反映させてきたところです。

実施の中では、学習指導要領の改訂に合わせた調査問題の変更や、調査実施の時期・対象等を、その時々の事情や要請に合わせて変更しています。例えば平成 19 年度に全国学力・学習状況調査が始まり、それに合わせて県学習状況調査の実施時期を変更したり、出題範囲を主として当該年度の学習内容に変更したりしました。また、昨年度からは調査対象学年を小学校第５学年と中学校第２学年に変更し、データ収集のシステムも一部変更しております。現在では４月に行われる全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、11 月に香川県の調査が行われることにより、約半年間の教育活動や教育施策の成果の把握が可能となり、PDCA サイクルの検証に有効な様々な情報を提供しています。

しかし、日常的に多忙な学校現場では、詳細なデータを使った有効な研修の実施や、教育計画の作成・振り返りへの利活用がなかなか難しいという声があることも承知しています。そこで本報告書の作成に当たっては、本調査結果から分かる特徴を端的に示す２つの特集ページを作成しています。「深い学びにつながる話合い」と「自己有用感につながる主体的な取組」の２つに焦点を当てて、根拠や関連するデータを示し、その改善の視点等を Column として提案しています（p２～５）。

そして、県がこれまで継続的に注目している学習状況の調査内容については、Question として６つ取り上げて解説をしています（p７～12）。

また、教科に関する調査結果と児童生徒の質問紙調査の結果をクロス集計し、傾向が一目で見やすいように工夫したグラフを掲載しておりますので、必要に応じてご活用いただければと思います。（ｐ20～22）

各市町（学校組合）教育委員会・各学校におかれましては、本報告書と全国学力・学習状況調査報告書を併せてご活用いただき、国や県の動向も注視しながら、市町（学校組合）や自校の現状把握、分析、改善に取り組んでいただきますようお願いいたします。当センターといたしましては、指導主事等が直接学校等に出向き、状況の分析や改善について一緒に考えるなど、一層の学校支援に努めてまいりますので、どうぞ、ご相談ください。

最後になりましたが、本報告書の作成に関し、ご指導・ご助言を賜りました香川大学教育学部の佐藤明宏先生、松島充先生、岡田涼先生、経済学部の横山佳充先生に深く感謝の意を表します。

令和５年２月

香川県教育センター
所長　　藪内　康則

３つの「つなぐ」で授業改善を

本年度の全国学力・学習状況調査報告書では、授業において、「友達とつなぐ」「情報をつなぐ」「生活とつなぐ」の３つの「つなぐ」を大切にした授業づくりを提案しました。

【授業で大切にしたい　３つの「つなぐ」】（参考『令和４年度 全国学力・学習状況調査報告書』）

友達とつなぐ…友達と協働しながら課題を解決する過程で、新たな価値を創造する力を育てていきます。友達も自分も伸びていく学びを目指します。

情報をつなぐ…文章や資料から必要な情報を的確に見つけ出す力と、複数の情報を関係付け、正しく読んだり、自分の考えを創ったりする学びを目指します。

生活とつなぐ…日常生活や社会から課題を見つけたり、学んだことを生活に生かしたりしながら、分かりやすく、子どもたちの興味関心を高める学びを目指します。

各学校における授業改善は進められているでしょうか。前回提言した３つの「つなぐ」に沿って、今回の県学習状況調査の結果を振り返ってみましょう。そして、今回の結果を受けて、各学校での授業を振り返り、授業改善を進めていきましょう。

25 ページから、各教科で課題の見られた調査問題について、具体的な授業改善の手掛かりを掲載しています。授業づくりのイメージがもてるように学習場面ごとに整理してみました。

なお、以下に示しているのは一例です。これを参考に、創意工夫ある授業づくりに挑戦してください。

学習問題をつかむ ➡ 参考：中学校社会（p. 33）　【生活とつなぐ】

生活体験や既習事項に基づき、「なぜ？」という疑問を大切に学習問題を設定することで、子どもたちの探究的な学習が促され、生きて働く知識・技能が習得されます。

考えを吟味する ➡ 参考：小学校社会（p. 31）、小学校算数（p. 35）
【情報をつなぐ】　【友達とつなぐ】

文章や資料の内容を正しく捉えることが、友達との話し合いを深める基盤となります。そのためにも、教科で求められている知識・技能を確実に身に付けておくことが重要です。

多様な考えを分かり合う ➡ 参考：中学校数学（p. 37）、小学校理科（p. 39）
【友達とつなぐ】

新しい考えとの出合いは、対話的な学びの大きな魅力です。友達の考えにはどのような背景があるのか。自分にはない考え方は何か。多様な考えに出合う場を大切にしましょう。

情報をまとめる ➡ 参考：小学校国語（p. 27）、中学校国語（p. 29）
【情報をつなぐ】

文章や資料から、必要な情報を見いだし、それらを理由や事例としながら自分の考えをまとめることは、多様な情報があふれている社会を生きるために必要な力です。

学習を転移・活用する ➡ 参考：中学校理科（p. 41）、中学校英語（p. 43）
【情報をつなぐ】

既習内容を想起しながら課題を解決したり、既習内容をつないで、教科に共通する考え方を導き出したりすることで、学習内容の一層の定着を図ることができます。

授業づくり　Q&A

Q.【友達とつなぐ】授業中、子どもたちの反応が「いいです。」「同じです」にとどまってしまいます。「深い学び」に向かうためには、どうすればよいのでしょうか。

A. 学級の子どもたちや教師が、発表した子どもの頑張りを認めることはとても大切なことです。しかし、形式的な「いいです。」「同じです。」では、学びは深まりません。交流を促す教師の働きかけが必要です。

県学習状況調査は、授業づくりの参考となるよう、具体的な学習場面を取り上げています。39 ページの小学校理科を見てみましょう。交流場面として、実験で予想を立てる際、「もし、Aさんの予想が正しいとすると、結果はどのようになるか」を考える場面を取り上げています。考えが正しいかどうかを知っているだけではなく、自分とは異なる考えに寄り添って考えたり、その友達に自分の考えを説明したりすることで、友達の理解も自分の理解も深まっていきます。

「友達はどうしてそう考えたのか」「もしそうだとしたらどんなことが言えるのか」などの観点から友達の考えを見つめ直すよう促すことが、「深い学び」につながる第一歩になるでしょう。

Q.【情報をつなぐ】小学校高学年になると文章量が増える上、複数の資料を読む力が求められるようになります。このような読む力を育てるためには、どうすればよいのでしょうか。

A. 情報化が進む中、様々な情報から必要な情報を選んで読む力は、今後、一層重要になります。複数の本や新聞、インターネットなど、提示された全ての文章や資料を詳細に読むのではなく、必要な本や資料を選ぶ力や、文章中の必要な文や言葉を見いだす力を育てていきましょう。

そのためには、例えば、小学校低学年では、いろいろな図鑑や科学読み物を読み、新しい世界と出合うことができる楽しさを味わうことを大切にします。中学年では、目次や索引、見出しを活用するなど、目的を明確にして情報を検索できるようにし、さらに高学年では、「反対の考えの友達を説得するために具体例がほしい」「自分の考えを補説するために専門家の意見がほしい」など、情報収集の意図を明確にすることが大切になります。

複数の資料を読むということは難しいと捉えがちですが、１つの資料だけでは気付かなかったことを発見したり、２つの文章を比べることで、それぞれの特徴がはっきりしたりするなど、そのよさや面白さを子どもたちに気付かせたいものです。

Q.【生活とつなぐ】日常生活の出来事や事象などを取り入れると、子どもたちの関心や学習意欲が高まります。ただ、知識・技能が本当に定着できているのかどうか不安です。

A. 日常生活の具体的な状況を取り上げた場合、子どもたちの学習意欲は高まりますが、個別具体の状況に強く引き付けられるため、学習したことが他の状況にも適用できるということに気付きにくいことがあります。

そこで、日常生活の個別具体的な状況を、一般的で多様な状況に適用する経験が重要になります。32 ページの中学校社会科の例では、ある地域を取り上げ、課題解決学習の中で等高線についての知識・技能を習得する事例を紹介しています。このようにして身に付けた知識・技能を、さらに他の場面で活用するなどして、学習を一般化していくとよいでしょう。

☞ワンポイント・アドバイス　～子どもたちの表現力を高めるために～

子どもたちの表現力を高めるためには、授業のいろいろな場面で、子どもたちが自分の考えを表出する場を確保することが重要です。例えば、子どもたちは、教師の「分かりましたか？」の問いに「はい」と答えがちですが、十分に理解できていないこともあります。自分の考えを語らせて、その子の現状を把握した上で、さらに表現力を高めていきましょう。

Ⅰ　特集とＱ＆Ａ

～特集１～
深い学びにつながる話合い

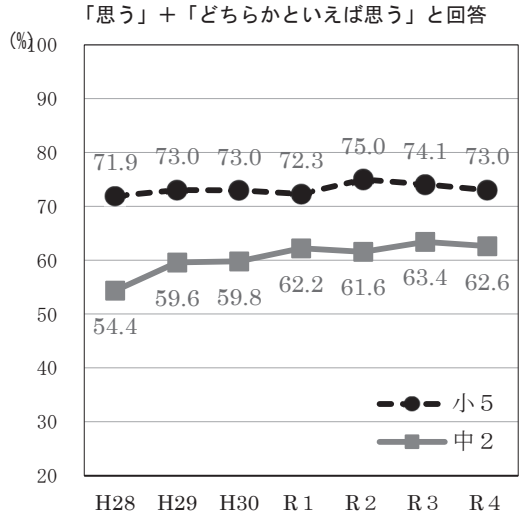
1　「◇33/33 話し合う活動をよく行っている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、平成 28 年度以降、コロナウイルス感染症の影響のあった令和２年度、３年度に低くなったものの、中学校で増加傾向にある。「◇25/25 授業は楽しいと思う」と肯定的に回答した児童生徒の割合も、平成 28 年度以降、中学校で増加している。

2　「◇23/23 勉強が好き」「◇26/26 授業の内容が分かる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに減少傾向である。

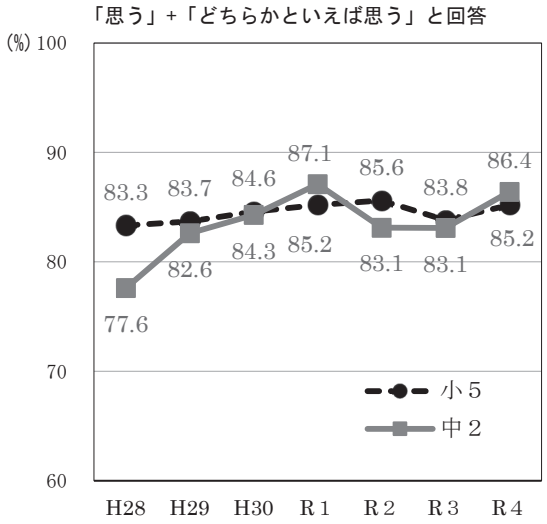
3　「◇32/32 発表の機会」が多いほど平均正答率が高く、「◇35/35 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」と回答した児童生徒の方が、「授業の内容が分かる」と肯定的に回答している。

1　話し合う活動を取り入れた授業

◇25/25 授業は楽しいと思いますか
【児童生徒質問紙】

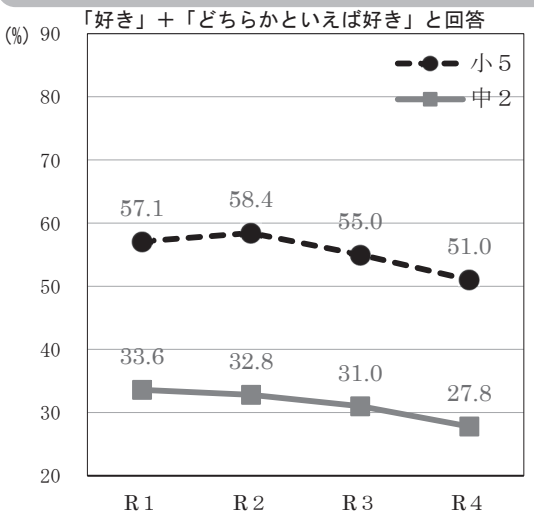


◇33/33 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか
【児童生徒質問紙】

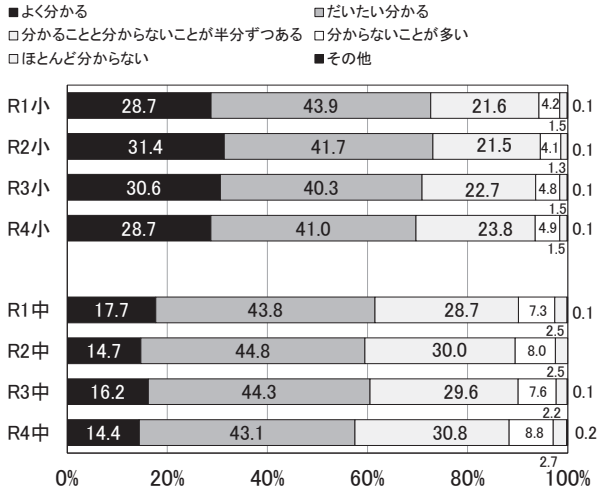


2　学習意欲と授業内容の理解

◇23/23 勉強は好きですか。
【児童生徒質問紙】

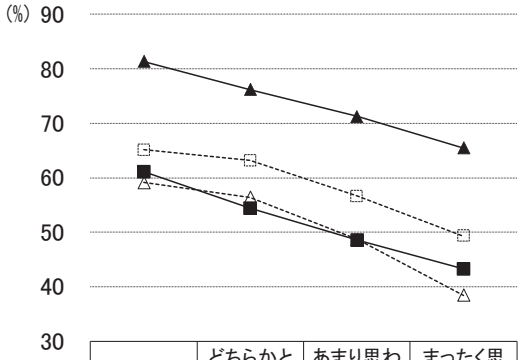


◇26/26　授業の内容がどの程度分かりますか。
【児童生徒質問紙】



3　発表する機会と授業内容の理解

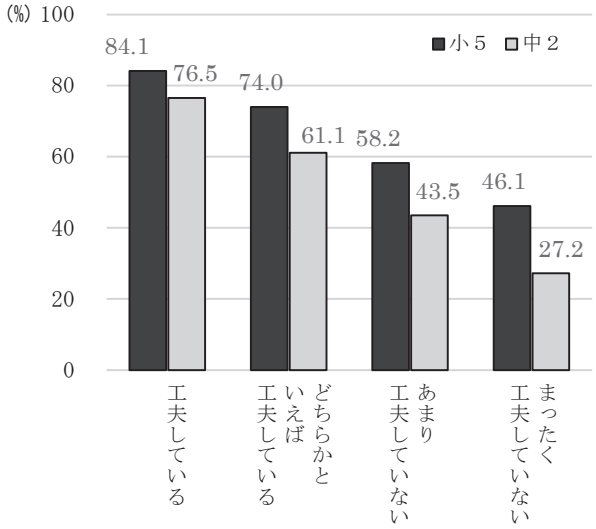
「◇32/32　普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか」の回答ごとの各教科の正答率



	思う	どちらかと言えば思う	あまり思わない	まったく思わない
小国語	61.1	54.4	48.6	43.2
中国語	65.1	63.2	56.6	49.3
小算数	81.4	76.2	71.3	65.5
中数学	59.1	56.4	48.7	38.4

◇35/35 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか」の回答ごとの「◇26/26 授業の内容が分かる」と肯定的に回答した割合

授業の内容が「よく分かる」＋「だいたい分かる」と回答



Column

～　話合いの質の向上を　～

「◇33/33 学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う」と肯定的に回答した児童生徒の割合は増加傾向で、コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度、令和３年度は低くなりましたが、今年度は、小・中学校ともに 85%を上回り、多くの学校で授業に話合いを取り入れていることが分かります。また、「◇25 授業が楽しいと思う」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で約 70%、中学校で約 60%で推移しています。平成 28 年度以降、中学校では、話し合う活動の機会とともに、授業が楽しいという回答も増加しています。

しかし、「◇23 勉強が好き」、「◇26/26 授業の内容が分かる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに減少傾向が見られます。これは、「話し合う活動」を取り入れた授業づくりの成果が、「授業が楽しい」と肯定的に回答した児童生徒の姿に表れているものの、その「話し合う活動」が、授業の内容の理解や、さらに課題を追究しようとする学習意欲につながらず、活動の機会だけが増えていることを示唆しているのかもしれません。ですから、話合いの質を向上させていく必要があります。

まずは、話し合う目的、内容、相手やタイミングを見直してみましょう。また、「◇32/32 発表する機会」が多いほど平均正答率が高く、「◇35/35 発表の工夫」をしているほど授業の内容を理解しているという傾向があります。話合いにおいては、一部の児童生徒だけが話している、ということはありませんか。児童生徒が話したくなるような課題設定はもちろん、ICT などを効果的に活用して、全ての児童生徒が自分の考えを表出できるよう工夫することも必要です。相手に分かるように伝えることは、学習の理解を深めるだけでなく、目的に合わせて情報を選択し、それをつなぐ力を付けることにもつながります。

また、深い学びにつながる話合いからは、さらなる課題が生まれ、「もっと知りたい、調べたい」という学習意欲にもつながるはずです。

～特集２～ 自己有用感につながる主体的な取組

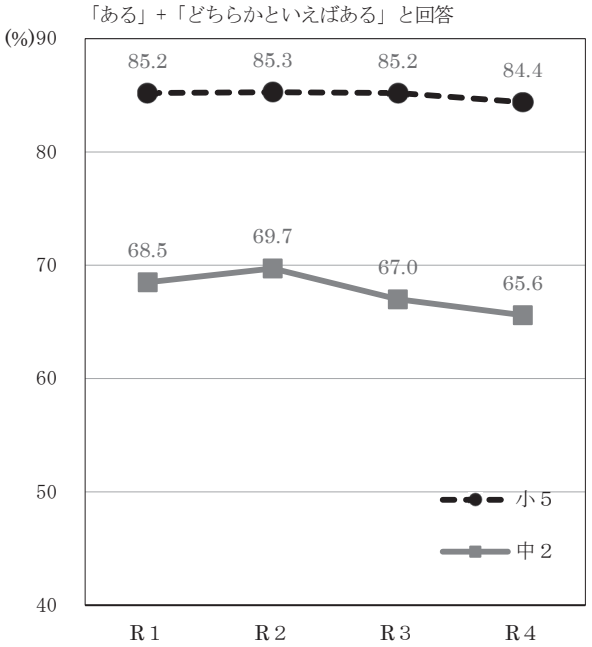
1　「◇7/7 将来の夢や目標をもっている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともにＲ３年度から減少傾向である。「◇16/16 地域の歴史や自然、産業について関心がある」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校は 70%程度であり、中学校は 45%程度である。

2　「◇27/27 分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながらあきらめずに取り組んでいる」「◇29/29 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいる」と肯定的に回答した児童生徒の方が、将来の夢や目標をもっていたり、地域への関心が高かったりする傾向が見られる。

1　将来の夢や目標、地域への関心

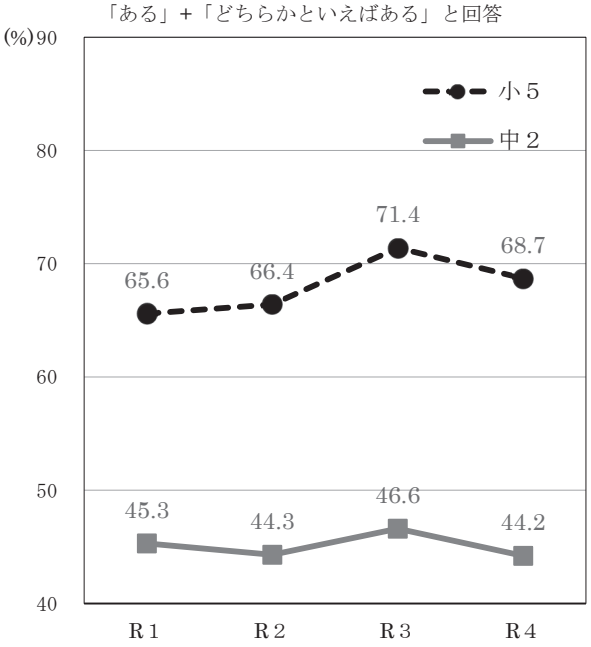
◇7/7 将来の夢や目標をもっていますか

【児童生徒質問紙】



◇16/16 今住んでいる地域の歴史や自然、産業について関心がありますか

【児童生徒質問紙】



Column

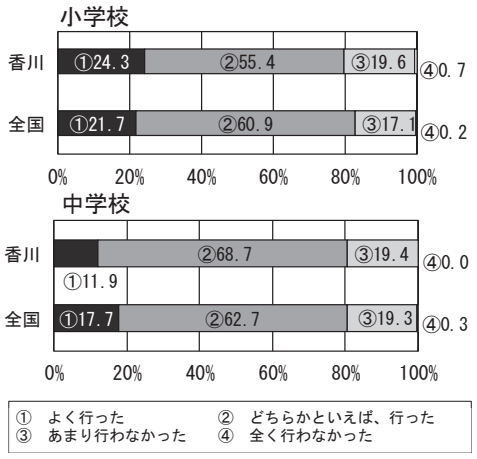
～地域や社会への関心を高め、自己の生き方につなぐ～

将来の夢や目標は簡単には見つかるものではありませんが、総合的な学習の時間等を通して地域や社会で起こっている問題を自分事として捉えるとともに、身近なことから課題解決に向け、チャレンジしていく過程を通して、自分の生き方につながる何かがつかめるかもしれません。

令和４年度全国学力・学習状況調査では、「地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱っている」と肯定的に回答した学校の割合は、小・中学校ともに約 80%でした。また、ここにグラフは示していませんが、「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした」と肯定的に回答した学校の割合は、全国を上回っていました。引き続き、児童生徒が社会に目を向け、自己の生き方について、前向きな夢や目標がもてるよう多方面から支援していきましょう。

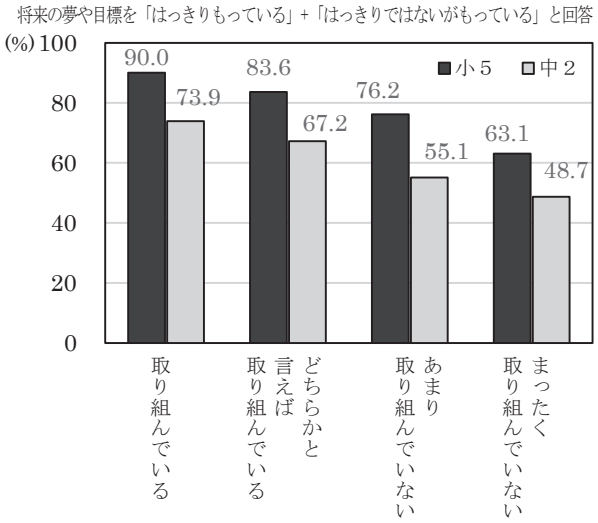
令和４年度全国学力・学習状況調査

■ 32/32　調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか　【学校質問紙】

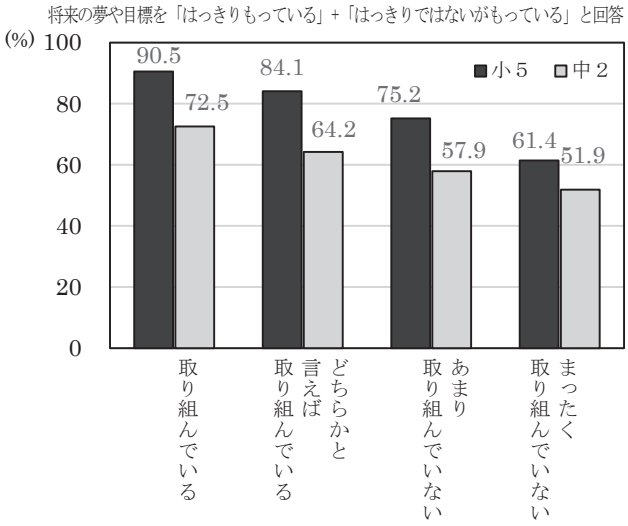


2　主体的な取組と将来の夢や目標、地域への関心

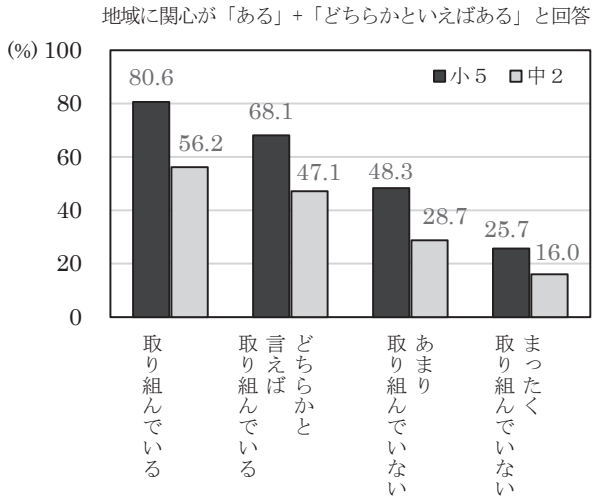
「◇27/27 分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながらあきらめずに取り組んでいる」の回答ごとの「◇7/7 将来の夢や目標をもっていますか」に肯定的に回答した割合



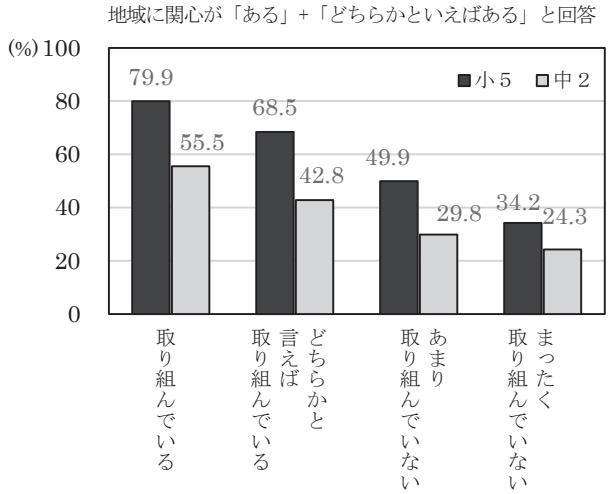
「◇29/29 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいる」の回答ごとの「◇7/7 将来の夢や目標をもっていますか」に肯定的に回答した割合



「◇27/27 分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながらあきらめずに取り組んでいる」の回答ごとの「◇16/16 今住んでいる地域の歴史や自然、産業について関心がありますか」に肯定的に回答した割合



「◇29/29 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいる」の回答ごとの「◇16/16 今住んでいる地域の歴史や自然、産業について関心がありますか」に肯定的に回答した割合



Column

～身近なところから成功体験を～

自己有用感とは、「自分は周りの役に立っている。自分は社会に有用な存在だ。」と思える感情です。

「◇29/29 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいる」など、主体的に課題解決に取り組んでいる児童生徒ほど、将来の夢や目標をもっていると肯定的に回答したり、地域への関心があると肯定的に回答したりする傾向が見られます。これは、課題解決の過程で友達や地域の人と交流し、人の役に立ったという経験や、学校や学級の問題を解決したという成功体験が生きているのかもしれません。「自分で行動して、周囲が良くなった」、また、「それが認められた」という経験は、児童生徒にとって大きな自信となります。総合的な学習の時間や特別活動などを通して、児童生徒が主体的に課題解決に取り組む機会を大切にしていきましょう。

香川県重点項目に関する質問項目　（全国学力・学習状況調査との関連）

経年比較から見られる現状について、香川県重点項目として６つのカテゴリー項目別にＱ＆Ａにまとめました。

重点項目	Q&A	R4 児童生徒質問紙 質問項目			全国関連	基本計画指標	R4	R3	R2	R1
		小	中							
学習意欲	Q1	23	23	勉強は好きですか。	(49 53 61)	(◆)	○	○	●	●
		25	25	授業は楽しいと思いますか。	—		○	○	○	○
		27	27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	(58)		○	○	○	○
		28	28	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	—		○	○	●	●
言語活動	Q2	21	21	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	—		○	○	○	○
		29	29	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	(45)		○	○	○	○
		32	32	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	—		○	○	○	○
		33	33	普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	—		○	○	○	○
		35	35	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	38		○	○	○	○
		36	36	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	43		○	○	○	○
学習習慣	Q3	37	38	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	20		○	○	●	●
		39	40	家で学校の授業の予習をしていますか。	—		○	○	○	○
		40	41	家で学校の授業の復習をしていますか。	—		○	○	○	○
		42	43	学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、１日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	21		○	○	●	●
		43	44	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	22		○	○	○	○
自己有用感・規範意識等	Q4	4	4	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	—		○	○	○	○
		5	5	むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。	11		○	○	○	○
		6	6	自分には、よいところがあると思いますか。	7	◆	○	○	●	●
		7	7	将来の夢や目標をもっていますか。	9	(◆)	○	○	●	●
		8	8	学校のきまりを守っていますか。	—		○	○	●	●
		10	10	人が困っているときは、進んで助けていますか。	12		○	○	●	●
		11	11	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	—		○	○	●	●
		12	12	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	—	◆	○	○	○	○
		13	13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	13	◆	○	○	●	●
		14	14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	15		○	○	○	○
		16	16	今住んでいる地域(香川県)の歴史や自然、産業について関心がありますか。		◆	○	○	●	●
学校生活	Q5	50	51	学校に行くのは楽しいと思いますか。	16	◆	○	○	○	○
		51	52	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	—		○	○	○	○
		52	53	学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	—		○	○	○	○
メディアの利用	Q6	15	15	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。	—		○	○	○	○
		17	17	普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。	5		○	○	○	○
		18	18	普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）	(6)		○	○	○	○
		19	19	携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。	4	◆	○	○	○	○
		47	48	読書は好きですか。	26	◆	○	○	○	○

※　○…小５・６年、中１・２年（Ｒ３・４は小５年、中２年のみ）　　●…小３～６年、中１・２年

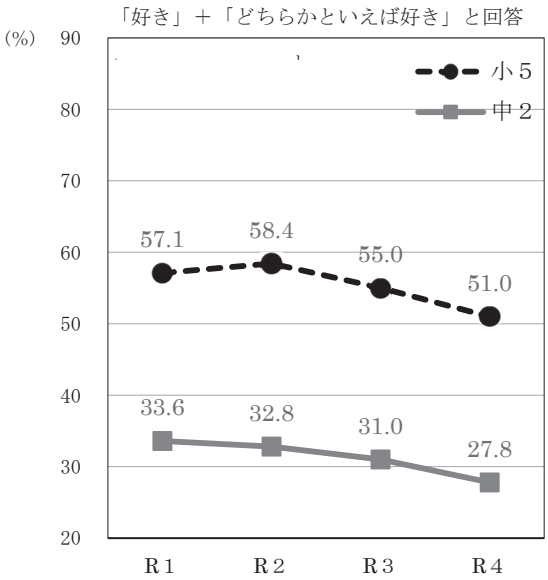
※　全国学力・学習状況調査と同一の質問項目には、質問番号（全国報告書参照）を、類似の質問項目には質問番号に（ ）を付けて、全国関連の欄に表記している。

Question 1 学習意欲

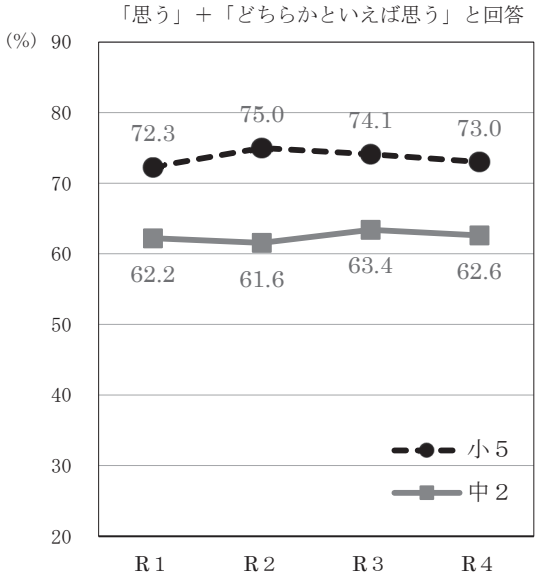
「学習意欲」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer ・「◇23/23 勉強は好き」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに減少傾向にある。「◇25/25 授業は楽しい」「◇27/27 あきらめずに問題に取り組んでいる」「◇28/28 先生や友達に質問して解決」と肯定的に回答した児童生徒の割合に大きな変化は見られない。

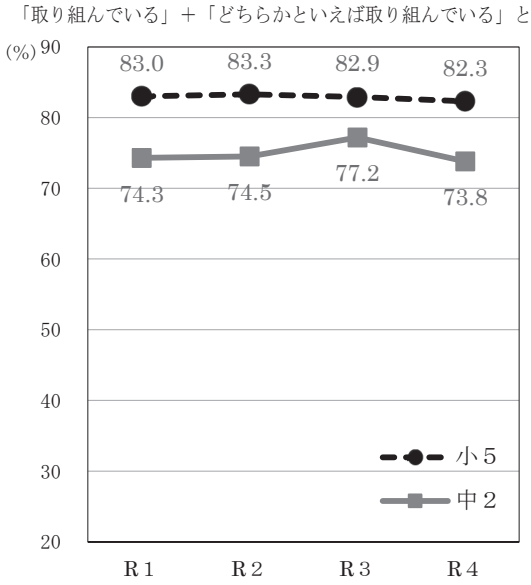
◇23/23 勉強は好きですか。 【児童生徒質問紙】



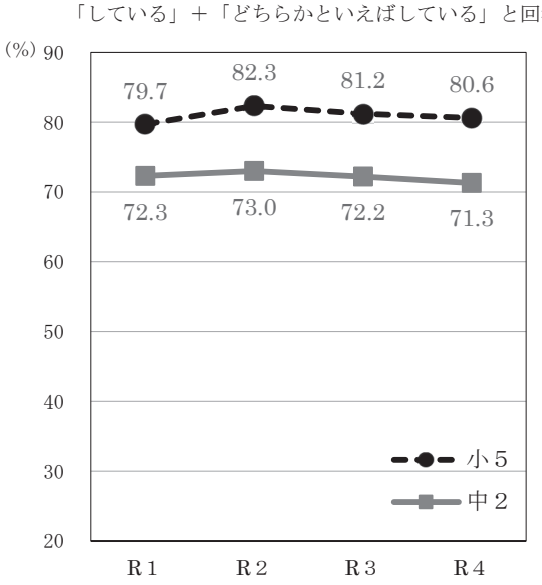
◇25/25 授業は楽しいと思いますか。 【児童生徒質問紙】



◇27/27 分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。 【児童生徒質問紙】



◇28/28 分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。 【児童生徒質問紙】



Column

～振り返りから「学ぶ喜び」を～

「◇27/27 分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいる」と回答した児童生徒が小学生は８割、中学生は７割を超えています。学習意欲は「たくさん発表している」、「丁寧にノートを書いている」といった表面的な積極性だけでなく、「見方・考え方を働かせて問題と向き合っている」などの内面性に着目する必要があります。十分に振り返りの時間をとることで児童生徒の考えを表出させ、「学ぶ喜び」や「もっと知りたい、確かめたい」といった次につながる意欲を感じることができる機会を増やしましょう。

Question 2 言語活動

「言語活動」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

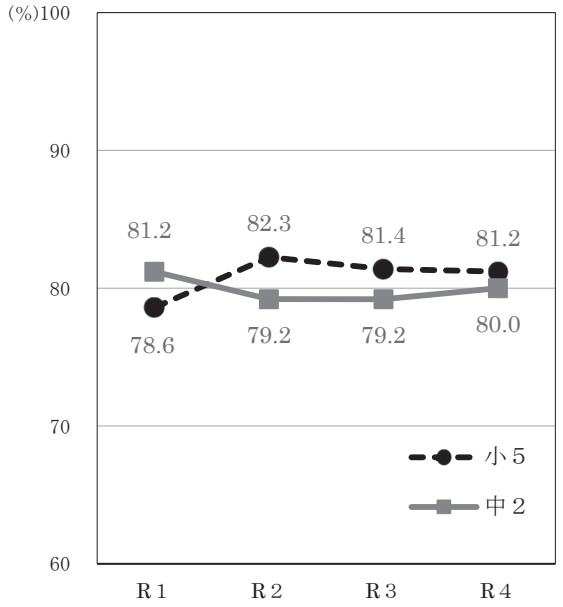
Answer

1　「◇29/29 話し合う活動を取り入れた学習の実施」に関して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに80%を上回っている。

2　「◇32/32 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、令和元年度から大きな変化はなく、小学校より中学校の方が大きい。

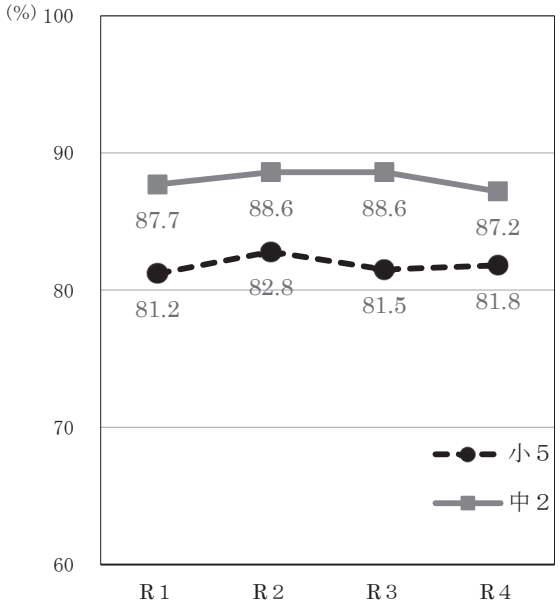
◇29/29 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。【児童生徒質問紙】

※「取り組んでいる」＋「どちらかといえば取り組んでいる」と回答



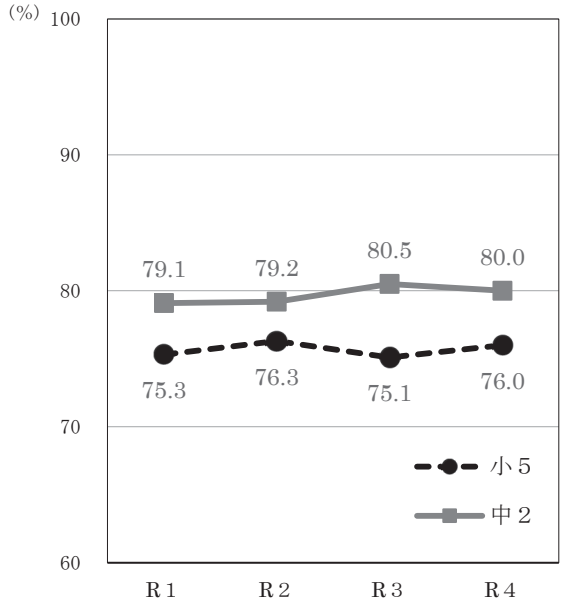
◇32/32 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。【児童生徒質問紙】

※「思う」＋「どちらかといえば思う」と回答



◇36/36 学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか【児童生徒質問紙】

※「できている」＋「どちらかといえばできている」と回答



Column

～ＩＣＴ機器を活用してよりよい言語活動を～

言語活動は、ＩＣＴ機器の活用によってさらに促進されます。例えば、次のような方法が考えられます。

① 端末に考えや作品を提示する

保存しておいた資料や画像、考えを拡大したり、考え方によって色を変えて示したりします。友達の意見が可視化されるため、それをもとに感じたことを伝え合ったり、話し合ったりするなどの対話が生まれます。

② 画面共有で多様な考えに触れる

学習支援ツールを使うと、学級全員の端末画面が大型提示装置に映されたり、個々の端末に配信されたりします。このような画面共有機能によって、得られた多様な意見をもとに、自分の考えを見直したり、比較したり、友達のよさを取り入れたりして、自分の考えを再構築することができます。

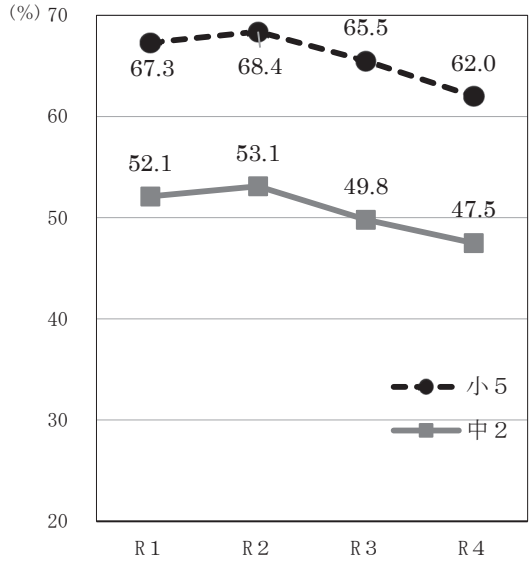
Question 3 学習習慣

「学習習慣」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer ・「◇37/38 家で自分で計画を立てて勉強をしている」「◇39/40 家で授業の予習をしている」「◇40/41 家で授業の復習をしている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに令和２年度から減少傾向にある。

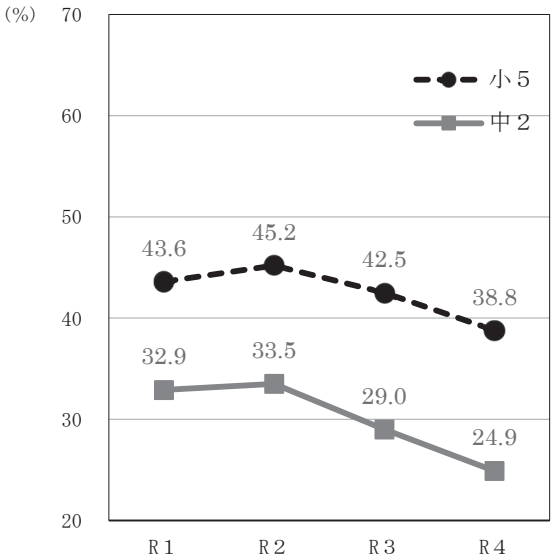
◇37/38 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。【児童生徒質問紙】

※「している」＋「どちらかといえばしている」と回答



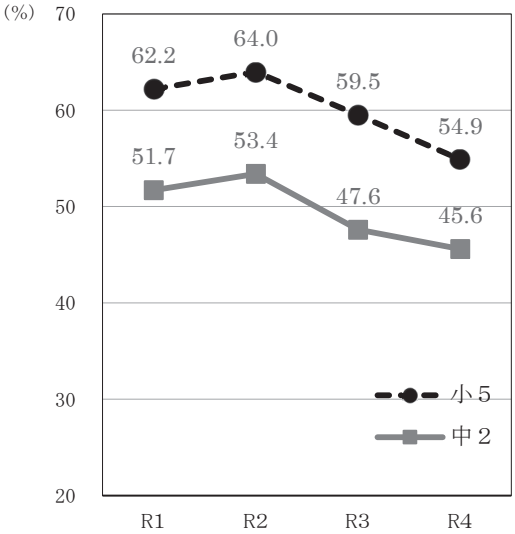
◇39/40 家で学校の授業の予習をしていますか。【児童生徒質問紙】

※「している」＋「どちらかといえばしている」と回答



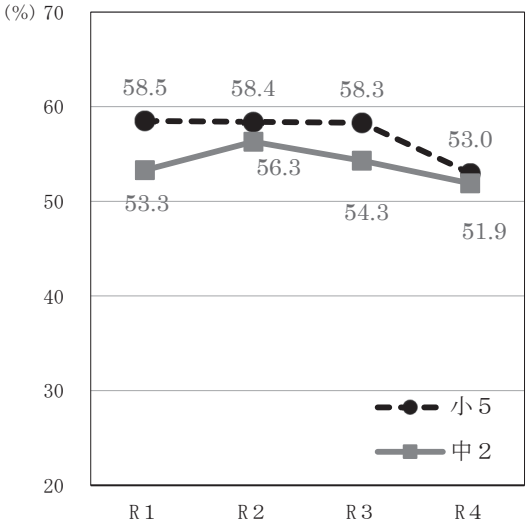
◇40/41 家で学校の授業の復習をしていますか。【児童生徒質問紙】

※「している」＋「どちらかといえばしている」と回答



◇41/42 テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。【児童生徒質問紙】

※「している」＋「どちらかといえばしている」と回答



Column

～授業で生まれた疑問や課題を家庭学習につなぐ～

「家で学校の授業の予習・復習をしている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は R2 年度から減少しており、これは上記の「◇37/38 家で自分で計画を立てて勉強」と同様の傾向にあります。

児童生徒の中には学習習慣がまだ十分身に付いておらず、「家での勉強の方法が分からない」という児童生徒がいるかもしれません。児童生徒の実態に合わせて家での勉強方法を具体的に示したり、授業で生まれた新たな疑問や課題を家での勉強につないだりするとよいでしょう。そのためには、主体的に課題解決に取り組む授業が大切です。

Question 4 自己有用感 規範意識等

「自己有用感　規範意識等」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer

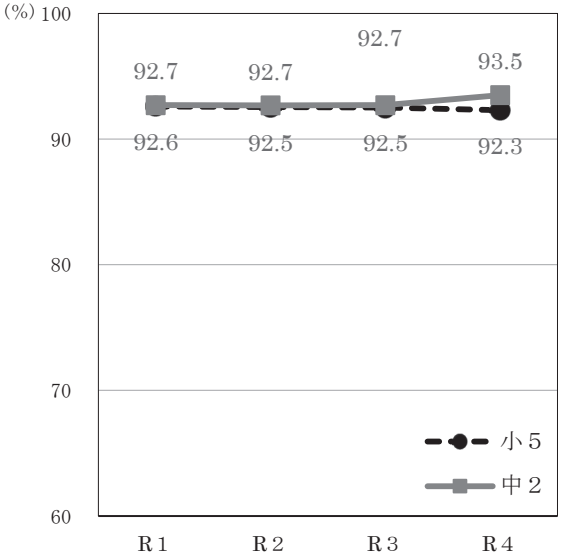
1　「◇4/4ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」「◇12/12人の気持ちが分かる人間になりたい」と肯定的に回答した児童生徒の割合は小・中学校ともに令和元年度から90%を超えて推移している。

2　「◇6/6自分には、よいところがある」と肯定的に回答した児童生徒の割合は令和２年度から小学校で減少、中学校で増加傾向にあり、小・中学校の差はわずかになっている。

3　「◇7/7将来の夢や目標をもっている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は小学校は令和元年度から横ばいであり、中学校は令和２年度から減少傾向にある。

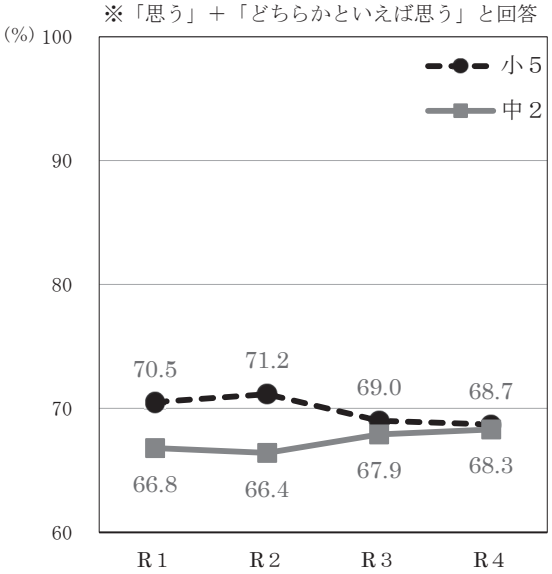
◇4/4 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。【児童生徒質問紙】

※「ある」＋「どちらかといえばある」と回答



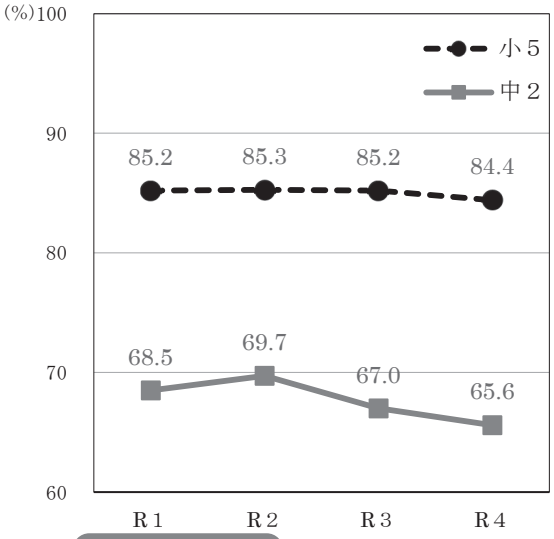
◇6/6 自分には、よいところがあると思いますか。【児童生徒質問紙】

※「思う」＋「どちらかといえば思う」と回答



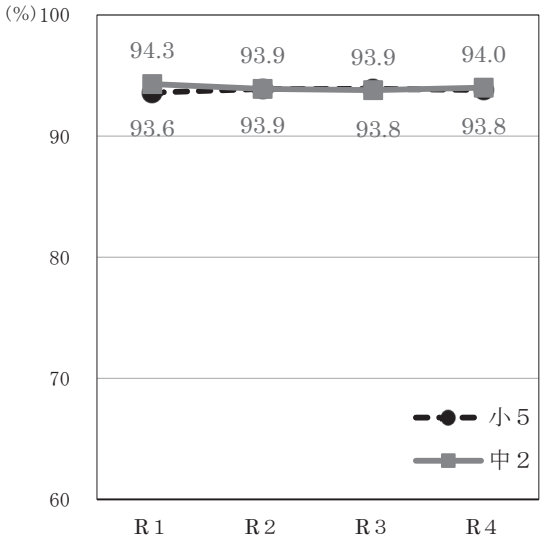
◇7/7 将来の夢や目標をもっていますか。【児童生徒質問紙】

※「はっきりもっている」＋「どちらかといえばもっている」と回答



◇12/12 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。【児童生徒質問紙】

※「ある」＋「どちらかといえばある」と回答



Column

～自己の成長が実感できる機会を～

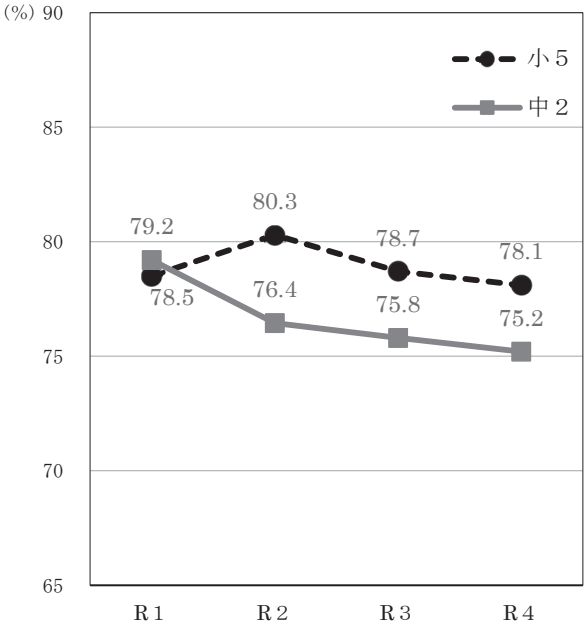
「◇4/4ものごとを最後までやりとげて、うれしかった」と90%以上の小・中学校の児童生徒が肯定的な回答をしているということは、先生方の支えによるところも大きいでしょう。さらに、その経験を自己の成長や人々の助けになったという実感につなげることが、将来の夢や目標をもつことや、さらなる自己有用感の向上につながると考えられます。友達と認め合ったり、自己の成長が実感出来たりする機会を積極的につくりましょう。

Question 5 学校生活 「学校生活」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer
- 「◇50/51 学校に行くのは楽しい」、「◇52/53 学級では、安心して自分の意見を言うことができる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに減少しており、２つの質問に同様の傾向が見られる。

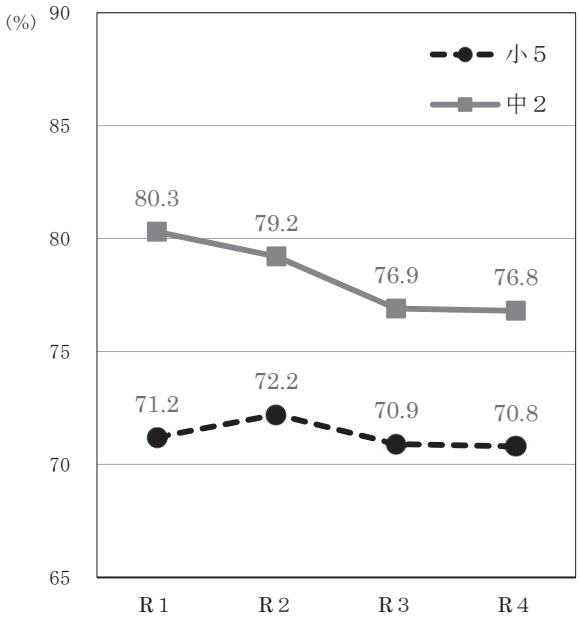
◇50/51 学校に行くのは楽しいと思いますか。 【児童生徒質問紙】

※「思う」＋「どちらかといえば思う」と回答



◇52/53 学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。 【児童生徒質問紙】

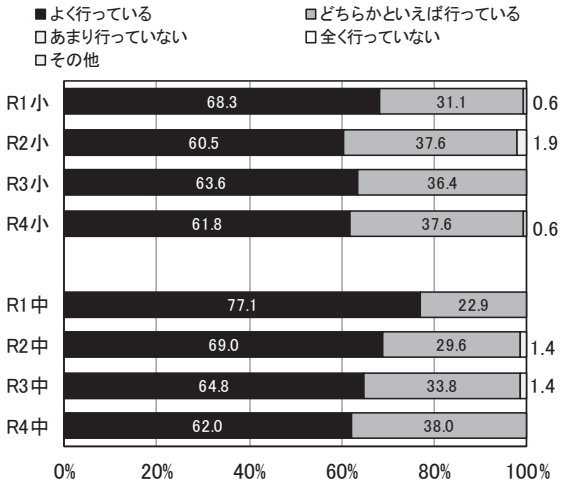
※「できる」＋「どちらかといえばできる」と回答



Column

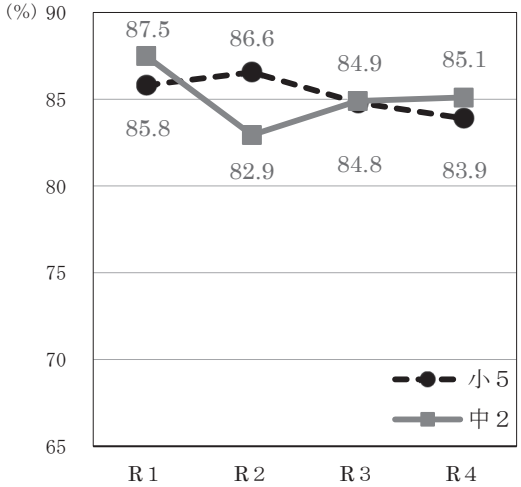
～力を合わせて挑戦する価値の共有を～

◆９ 児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。 【学校質問紙】



◇51/52 学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがありますか。 【児童生徒質問紙】

※「ある」＋「どちらかといえばある」と回答



◆９の質問に対して肯定的に回答した小・中学校の割合が高く、児童生徒が学級や学校全体で目標をもって取り組んだり挑戦したりする活動を、各学校が積極的に取り入れている状況がうかがえます。「◇51/52 学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある」と肯定的に回答した児童生徒は小・中学校ともに 80%を超えており、その成果がうかがえます。明確な目標をもち、その達成に向けてみんなで挑戦することは、学校・学級への帰属感・安心感につながります。今後も力を合わせてチャレンジし、その価値を共有する活動を積極的に取り入れましょう。

Question 6 メディアの利用

「メディアの利用」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

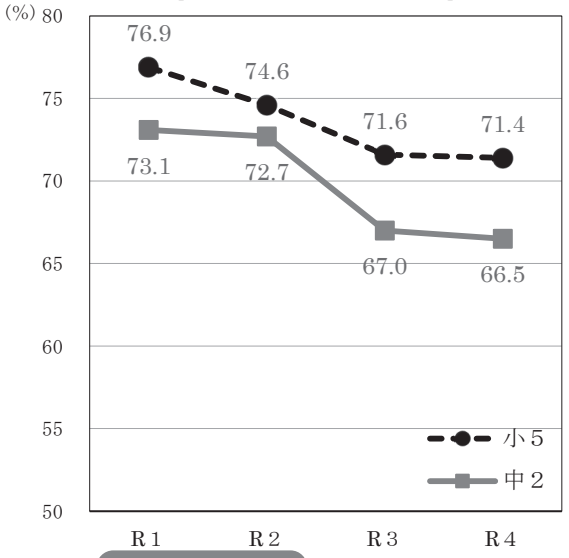
Answer

1　「◇15/15 新聞やテレビのニュースなどに関心がある」と肯定的に回答した児童生徒は小・中学校ともに令和元年度から減少傾向にある。

2　「◇19/19 携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っている」と肯定的に回答した児童生徒は、小学校は令和２年度から減少傾向であり、中学校は令和元年度から増加傾向にある。

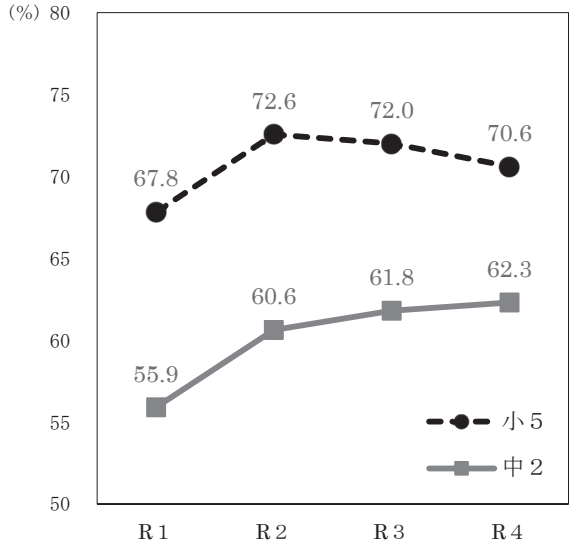
◇15/15　新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。【児童生徒質問紙】

※「ある」＋「どちらかといえばある」と回答



◇19/19　携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。【児童生徒質問紙】

※「守っている」＋「どちらかといえば守っている」

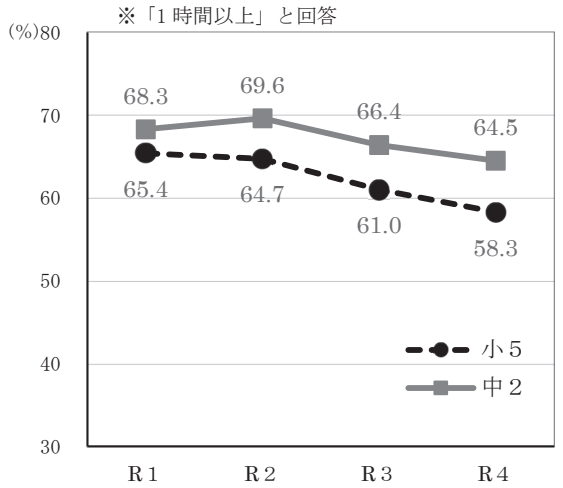


Column

～自己コントロールしながらメディアと関わる習慣を～

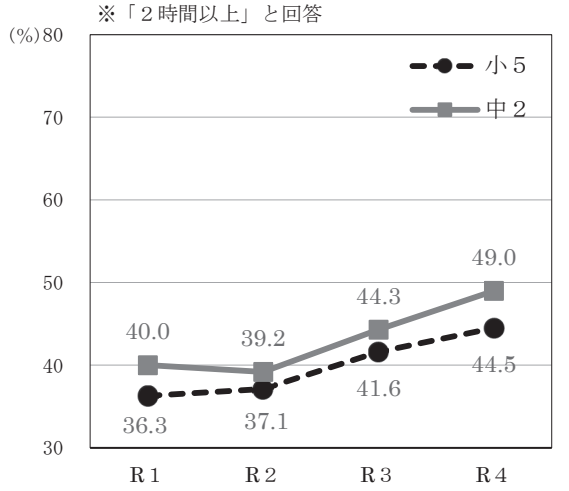
◇42/43 学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、１日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。【児童生徒質問紙】

※「1 時間以上」と回答



◇17/17 普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。【児童生徒質問紙】

※「２時間以上」と回答



◇42/43 の質問と◇17/17 の質問を比較すると、小・中学校ともに、R元年度から１時間以上勉強した児童生徒は減少傾向であり、２時間以上テレビゲームをしている児童生徒は増加傾向にあります。同様に、インターネットの使用時間も増加しています。単純に勉強時間の減少の原因がテレビゲームにあると言うことはできませんが、家庭での過ごし方、特にメディアとの付き合い方について、もう一度児童生徒と考える機会をもつ必要があるかもしれません。家の人と決めたルールを守るだけでなく、児童生徒自らが自己コントロールしながらメディアと適切に関わる習慣を身に付けることが大切です。

Ⅱ　調査結果（概論）

1　調査の概要

(1) 調査の目的　　児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、児童生徒の理解の程度に基づく個に応じた指導などを実施する契機とする。

(2) 調査の時期　　小学校　第５学年　：　令和４年 11 月 1 日（火）～ 11 月 11 日（金）

中学校　第２学年　：　令和４年 11 月 1 日（火）～ 11 月 15 日（火）

(3) 調査の対象　　県内公立学校の小学校第５学年及び中学校第２学年の全ての児童生徒

・学　校　数　　小学校　157 校、中学校　71 校
（附属学校及び県立学校を含む）

・児童生徒数　　［単位：人］

校種・学年 / 教科	小学校　第５学年	中学校　第２学年
国語	7,873	7,389
社会	7,869	7,395
算数・数学	7,866	7,391
理科	7,862	7,396
英語		7,381

(4) 調査の内容

①　教科に関する調査

・ 実施教科　　小学校　第５学年　：　国語、社会、算数、理科　　（４教科）

中学校　第２学年　：　国語、社会、数学、理科、英語（５教科）

・ 出題範囲　　前学年までに学習した内容及び当該年度前期（４月～９月末）に学習した内容

・ 問題の質と量

ア　学習指導要領に則して、基礎的・基本的な「知識及び技能」や、知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力等」に関する問題

イ　１教科あたり小学校については 40 分、中学校については 45 分で解答できる量

②　児童生徒質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習や生活の諸側面等に関する調査を質問紙の形式で実施する。

③　学校質問紙調査

学校における各種の取組や児童生徒の状況等に関する調査を質問紙の形式で実施する。

(5) 調査結果の活用

香川県教育委員会及び各市町（学校組合）教育委員会や学校は、本調査の目的を達成するため、次のような結果を活用した取組に努めることとする。

○　各学校は、自校で編成・実施している教育課程を評価する資料の一つとして調査結果を活用し、学習指導に係る検証改善サイクルを確立するように努める。

・　当該年度前期までの学習内容の定着状況を確かめ、教員が自身の指導を振り返り、指導方法の改善を図るとともに、児童生徒の理解の状況に応じて、発展的な学習や補充的な指導などを行う。

・　質問紙調査の結果から、児童生徒の状況に応じて「授業規律の確立」「学習意欲と学習に向かう態度の育成」「学習方法の指導」等の取組の推進を図るとともに、児童生徒や保護者に対して、良さやつまずきの状況を説明し、生活や学習の状況について、これまでを振り返り、これからの見通しを持つ機会を設ける。

・　分析・検証の際にまとめられた成果と課題に基づいて、本年度の年間指導計画や校内指導体制等を見直し、次年度計画を作成する。

○　香川県教育委員会及び各市町（学校組合）教育委員会は、教育施策の成果と課題を把握・検証し、教育施策の改善に努めるとともに、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援を行う。

【調査結果の数値について】
表記された数値は、端数処理のため 0.1 の誤差が生じることがある。

令和4年度香川県学習状況調査

全体的な状況

Point

1．小学校は、４教科の平均正答率が64.9%となっており、全ての教科において「知識・技能」の平均正答率が「思考・判断・表現」の平均正答率を上回っている。
2．中学校は、５教科の平均正答率が59.0%となっており、社会では「思考・判断・表現」の平均正答率が「知識・技能」の平均正答率を上回っている。

【教科に関する調査結果】

1　平均正答率

［単位：%］

	小学校　第５学年			中学校　第２学年		
	平均正答率	調査内容別平均正答率		平均正答率	調査内容別平均正答率	
		知識・技能	思考・判断・表現		知識・技能	思考・判断・表現
国語	56.5	67.7	51.8	62.9	63.5	62.5
社会	67.7	71.1	64.1	63.3	59.6	70.2
算数・数学	77.7	81.9	71.3	56.4	57.4	52.5
理科	57.6	60.6	55.4	55.9	56.8	54.8
英語				56.7	60.6	51.3
平均	**64.9**	**70.3**	**60.7**	**59.0**	**59.6**	**58.3**

2　平均正答率の推移

［単位：%］

小学校　第5学年	H30	R元	R３	R４
国語	74.8	74.7	57.1	56.5
社会	74.0	71.9	73.0	67.7
算数	69.0	70.8	66.8	77.7
理科	71.8	69.6	67.3	57.6

［単位：%］

中学校　第2学年	H30	R元	R３	R４
国語	67.6	68.1	67.3	62.9
社会	59.0	63.8	66.8	63.3
数学	66.4	66.8	66.2	56.4
理科	60.8	58.1	56.7	55.9
英語	65.5	61.2	60.4	56.7

※R２は教科に関する調査を実施していないためデータなし

令和4年度香川県学習状況調査

正答数・正答率の分布【小学校】

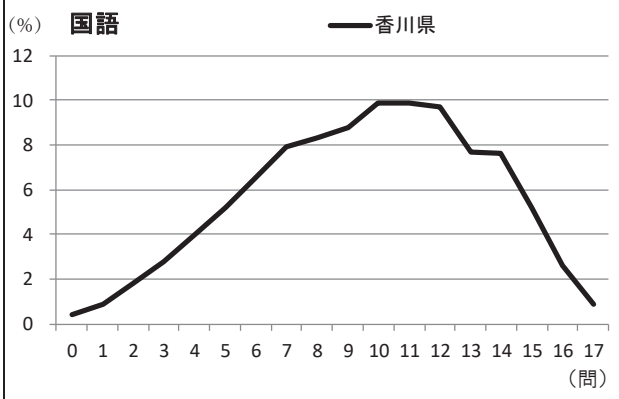
Point

1．社会・算数において、正答率 80%以上の児童の割合は 30%を上回っている。
　特に、算数では半数に近い。

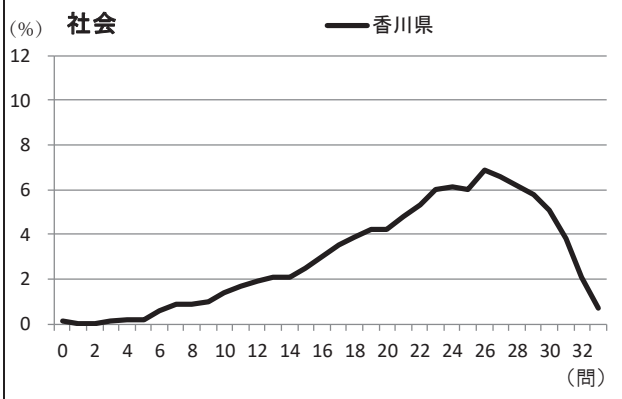
2．国語・理科においては、正答率 40%未満の児童の割合が 20%を上回っている。

【小学校　第５学年】

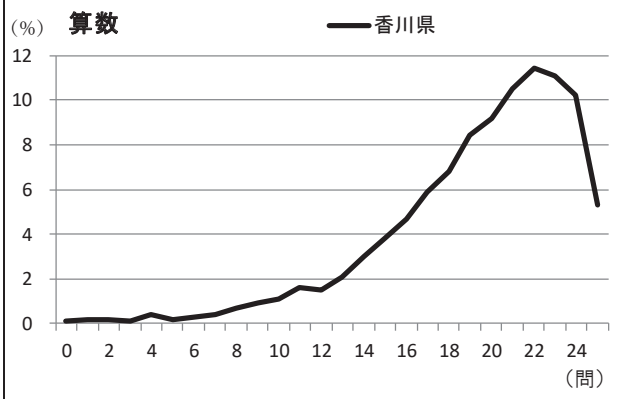
正答数分布（国語）



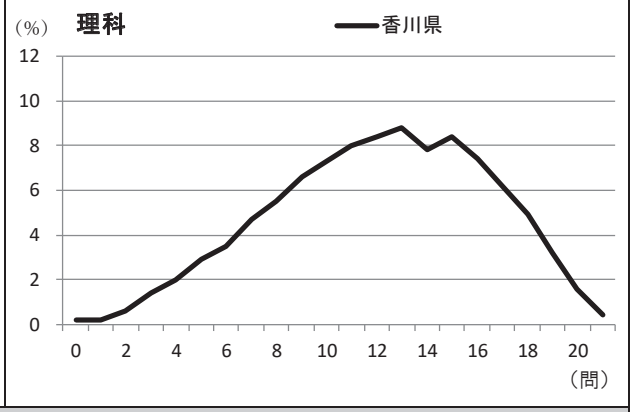
正答数分布（社会）



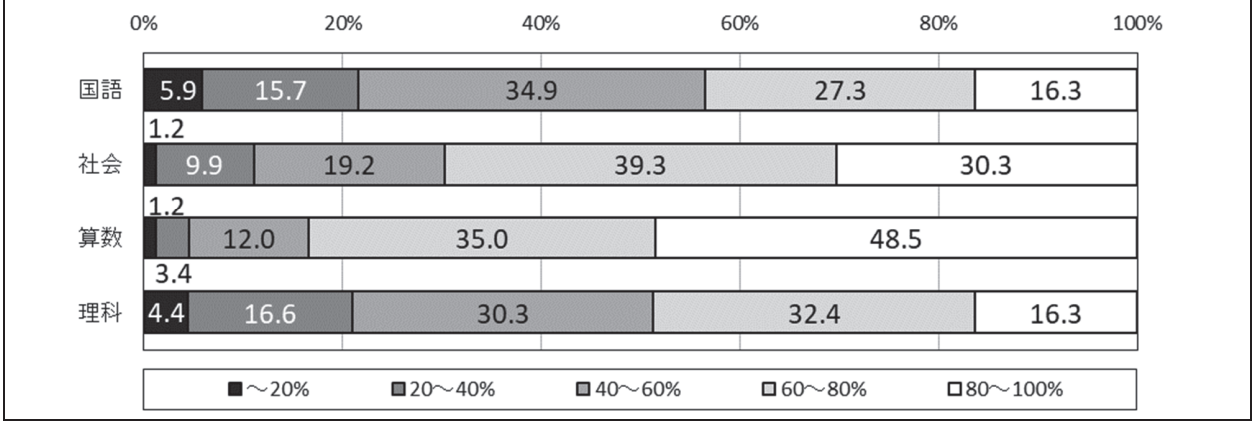
正答数分布（算数）



正答数分布（理科）



正答率の内訳



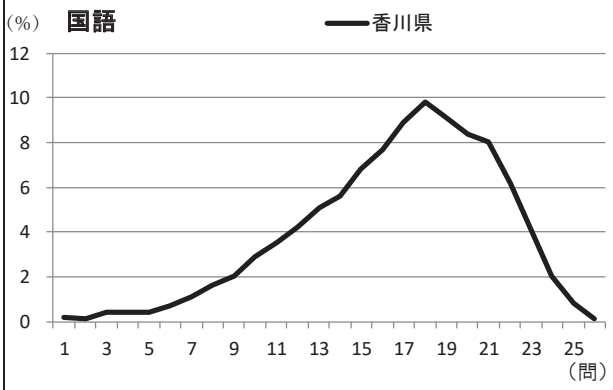
令和4年度香川県学習状況調査

正答数・正答率の分布【中学校】

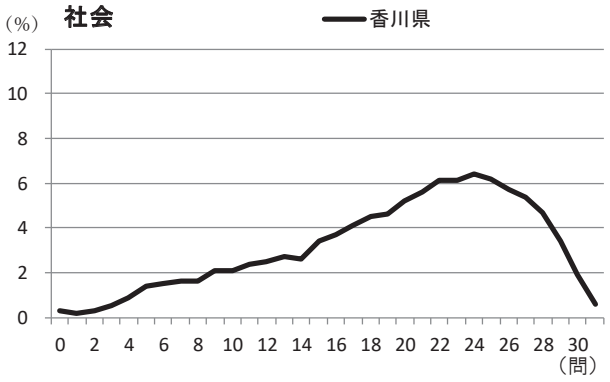
Point　正答率 40%未満の生徒は、国語・社会において 20%を下回っているが、数学・理科・英語において 20%を上回っている。

【中学校　第２学年】

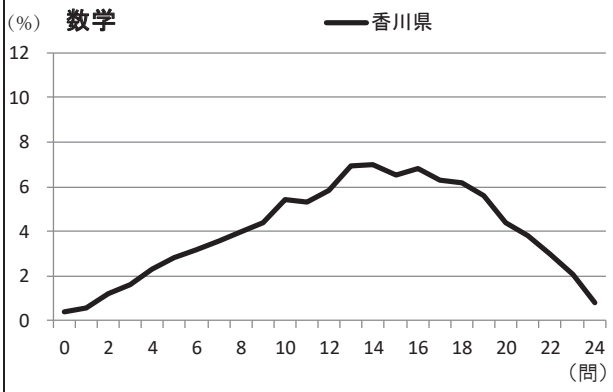
正答数分布（国語）



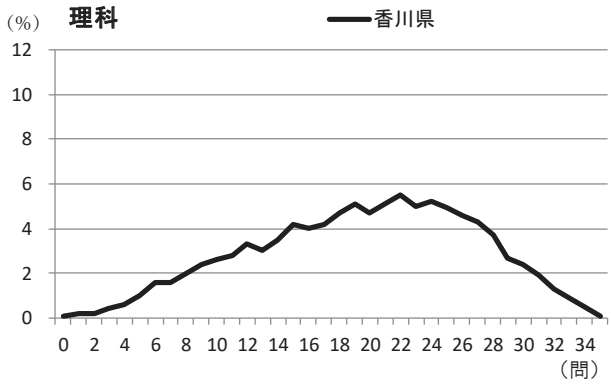
正答数分布（社会）



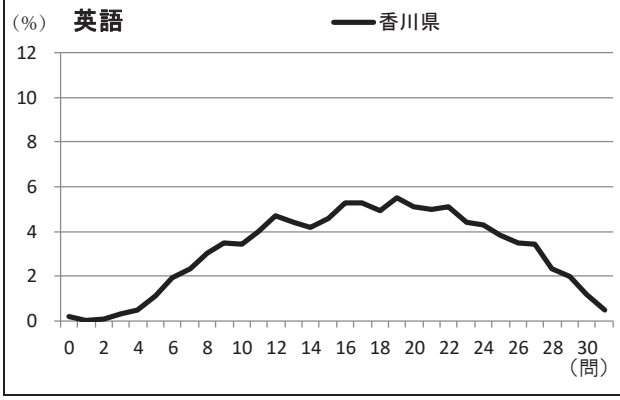
正答数分布（数学）



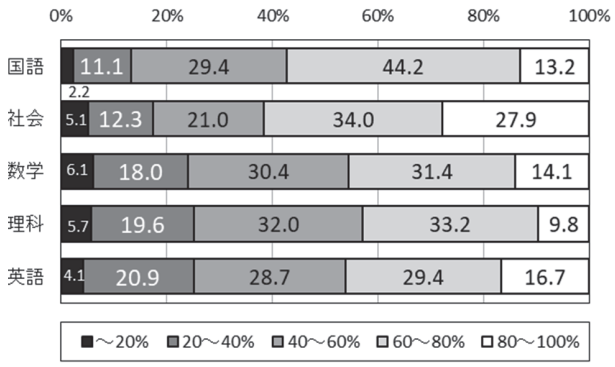
正答数分布（理科）



正答数分布（英語）



正答率の内訳



令和4年度香川県学習状況調査

無解答率

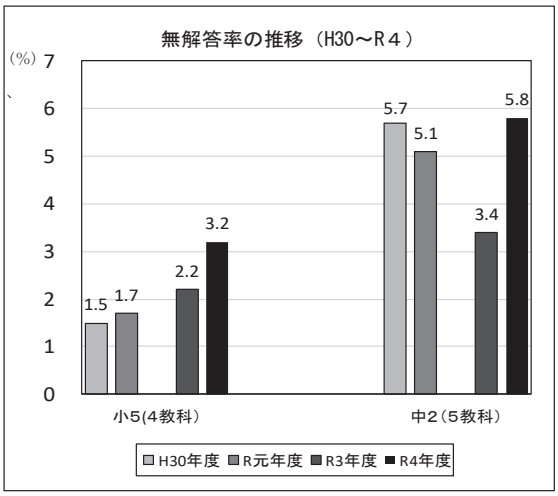
Point 無解答率は、小・中学校ともに、多くの教科で昨年度より増加している。特に、小学校は国語、中学校では数学の無解答率が高い。

1 無解答率

［単位：％（R3 との差：pt）］

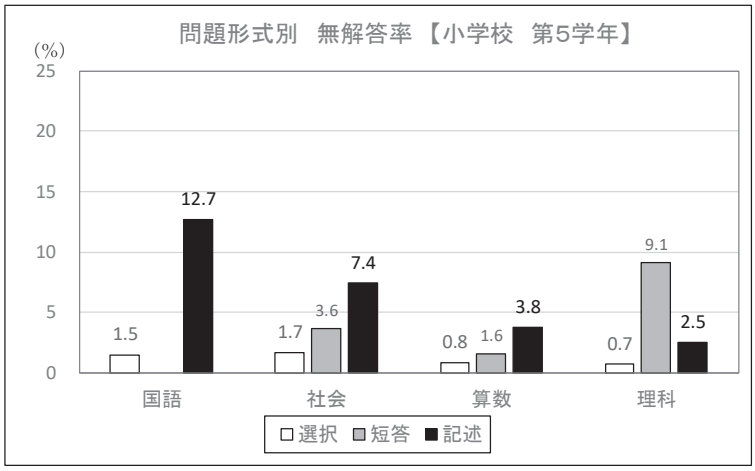
	小学校　第５学年	中学校　第２学年
国語	7.4（+3.3）	5.4（+1.7）
社会	2.0（+0.8）	5.1（+0.6）
算数・数学	1.6（+0.1）	8.9（+5.8）
理科	1.6（−0.2）	4.6（+1.9）
英語		4.8（+1.8）
平均	3.2（+1.0）	5.8（+2.4）

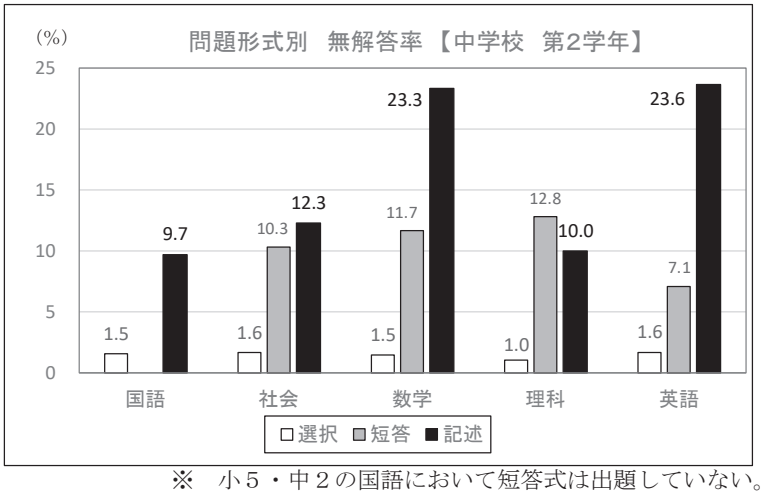
2 無解答率の推移



※Ｒ２は教科に関する調査を実施していない。

3 問題形式別無解答率の割合





※　小５・中２の国語において短答式は出題していない。

Column

問題形式別に無解答率をみると、国語・英語で、資料から読み取った事柄をふまえて自分の考えを書く記述式問題で割合が高くなっています。

各教科の授業において、資料を読み取る際の視点を明確にし、読み取ったことを既習や経験とつないで記述する活動のさらなる充実が効果的であると考えられます。例えば、ペアになって記述した内容を見せ合い、足りない情報を加えたり不要な情報を削除したりして自分の考えをまとめる等、目的意識をもった活動の場を設定したいものです。

令和４年度香川県学習状況調査

教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計

※　「香川県重点項目に関わる質問事項」において児童生徒質問紙調査結果の選択肢別平均正答率が、「回答１>回答２>回答３>回答４>回答５>回答６」の関係である調査結果を示す。ただし、質問項目 17、18 は「回答１<回答２<回答３<回答４<回答５」の関係。

1　【小学校】教科の平均正答率と関係が見られた児童質問紙調査結果

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%) 国語	社会	算数	理科
6	自分には、よいところがあると思いますか。	①思う	58.2	69.9	79.5	59.4
		②どちらかといえば思う	57.8	69.0	79.0	59.0
		③あまり思わない	53.9	64.3	74.6	54.8
		④まったく思わない	52.0	62.6	73.1	52.9
		差①−④	6.2	7.3	6.4	6.5
8	学校のきまりを守っていますか。	①守っている	58.5	69.3	78.9	59.3
		②どちらかといえば守っている	56.5	67.9	78.0	57.7
		③あまり守っていない	47.7	59.2	71.1	49.6
		④守っていない	39.8	54.4	60.6	44.0
		差①−④	18.7	14.9	18.3	15.3
15	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。	①ある	59.3	71.2	79.7	60.4
		②どちらかといえばある	57.2	68.7	78.3	58.2
		③どちらかといえばない	54.0	64.1	76.0	55.0
		④ない	49.5	59.5	71.9	51.4
		差①−④	9.8	11.7	7.8	9.0
17	普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。	①４時間以上	44.9	55.7	68.3	46.9
		②３時間以上、４時間より少ない	51.5	62.6	73.1	52.9
		③２時間以上、３時間より少ない	55.3	67.2	77.8	56.0
		④１時間以上、２時間より少ない	58.8	70.1	79.8	59.5
		⑤１時間より少ない	62.2	73.1	81.9	63.5
		⑥まったく利用していない	64.0	75.1	82.1	65.5
		差①−⑥	−13.9	−14.4	−11.5	−12.6
18	普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）	①４時間以上	42.8	53.5	65.5	44.5
		②３時間以上、４時間より少ない	48.2	59.2	71.9	49.8
		③２時間以上、３時間より少ない	50.6	62.3	73.6	51.5
		④１時間以上、２時間より少ない	57.0	67.1	77.8	56.7
		⑤１時間より少ない	60.4	71.6	80.7	61.5
		⑥まったく利用していない	59.7	71.6	80.4	61.4
		差①−⑥	−14.2	−13.6	−12.3	−12.2
21	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	①している	57.7	68.4	78.3	58.3
		②どちらかといえばしている	55.9	67.8	77.8	57.7
		③あまりしていない	48.2	59.9	71.2	50.3
		④していない	47.1	56.9	66.4	47.0
		差①−④	10.6	11.5	11.9	11.3
23	勉強は好きですか。	①好き	63.5	74.5	83.0	63.9
		②どちらかといえば好き	58.8	70.3	80.0	59.9
		③どちらかといえばきらい	54.4	65.4	76.3	55.6
		④きらい	49.8	61.0	71.3	51.5
		差①−④	13.7	13.5	11.7	12.4
24	私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。	①集中している	58.5	69.8	79.6	59.5
		②どちらかといえば集中している	57.2	68.3	78.3	58.1
		③あまり集中していない	51.0	62.3	72.8	52.9
		④まったく集中していない	48.7	58.1	67.3	49.5
		差①−④	9.8	11.7	12.3	10.0
25	授業は楽しいと思いますか。	①思う	59.6	71.2	80.5	60.5
		②どちらかといえば思う	57.3	68.3	78.6	58.3
		③あまり思わない	52.6	63.7	74.0	54.1
		④まったく思わない	47.8	58.8	69.4	49.8
		差①−④	11.8	12.4	11.1	10.7
27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	①取り組んでいる	60.7	72.0	82.0	62.2
		②どちらかといえば取り組んでいる	56.1	67.4	77.3	57.0
		③あまり取り組んでいない	49.4	60.2	70.6	50.3
		④まったく取り組んでいない	43.5	53.2	62.1	44.3
		差①−④	17.2	18.8	19.9	17.9
28	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	①している	58.6	69.8	79.7	59.5
		②どちらかといえばしている	56.1	67.2	77.4	57.3
		③あまりしていない	52.9	64.3	74.2	54.3
		④まったくしていない	49.0	60.0	69.4	51.0
		差①−④	9.6	9.8	10.3	8.5
29	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	①取り組んでいる	59.0	70.3	79.8	59.9
		②どちらかといえば取り組んでいる	56.3	67.5	77.6	57.5
		③あまり取り組んでいない	52.8	63.9	74.8	54.3
		④まったく取り組んでいない	47.3	57.7	66.9	49.5
		差①−④	11.7	12.6	12.9	10.4
32	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	①思う	61.1	72.1	81.4	61.9
		②どちらかといえば思う	54.4	65.8	76.2	55.6
		③あまり思わない	48.6	60.0	71.3	50.4
		④まったく思わない	43.2	55.0	65.5	44.6
		差①−④	17.9	17.1	15.9	17.3

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%) 国語	社会	算数	理科
33	普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	①思う	58.2	69.5	79.2	58.9
		②どちらかといえば思う	56.2	67.4	77.5	57.4
		③あまり思わない	52.1	63.1	73.7	54.0
		④まったく思わない	51.3	61.9	70.4	52.9
		差①−④	6.9	7.6	8.8	6.0
35	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	①している	60.3	71.4	80.5	61.1
		②どちらかといえばしている	57.7	69.2	79.0	58.8
		③あまりしていない	53.7	64.8	75.5	55.0
		④まったくしていない	49.3	60.1	70.8	51.0
		差①−④	11.0	11.3	9.7	10.1
36	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	①できている	59.9	71.4	80.4	60.8
		②どちらかといえばできている	56.9	67.9	78.3	57.8
		③あまりできていない	51.7	62.7	73.6	53.4
		④まったくできていない	45.8	56.6	66.8	48.1
		差①−④	14.1	14.8	13.6	12.7
37	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	①している	59.0	70.3	80.2	59.9
		②どちらかといえばしている	57.6	68.9	78.8	58.5
		③あまりしていない	54.9	65.8	75.9	55.8
		④まったくしていない	50.4	61.8	71.6	52.9
		差①−④	8.6	8.5	8.6	7.0
40	家で学校の授業の復習をしていますか。	①している	60.5	71.8	81.4	61.2
		②どちらかといえばしている	57.0	68.2	78.6	57.9
		③あまりしていない	54.9	66.1	76.2	56.3
		④まったくしていない	51.5	62.6	72.1	53.1
		差①−④	9.0	9.2	9.3	8.1
50	学校に行くのは楽しいと思いますか。	①思う	58.7	69.7	79.6	59.3
		②どちらかといえば思う	56.8	68.3	78.0	58.3
		③あまり思わない	53.0	64.1	74.3	54.6
		④まったく思わない	48.1	59.2	70.5	49.6
		差①−④	10.6	10.5	9.1	9.7
51	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	①ある	57.7	69.2	79.0	58.8
		②どちらかといえばある	56.1	66.9	77.1	56.9
		③どちらかといえばない	53.5	64.6	74.7	55.2
		④ない	52.0	62.2	72.1	53.3
		差①−④	5.7	7.0	6.9	5.5
52	学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	①できる	60.2	71.8	80.8	61.1
		②どちらかといえばできる	56.8	68.3	78.4	58.3
		③どちらかといえばできない	53.2	63.8	74.7	54.0
		④できない	48.2	58.2	69.6	49.6
		差①−④	12.0	13.6	11.2	11.5

2　【中学校】教科の平均正答率と関係が見られた生徒質問紙調査結果

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率(%) 国語	社会	数学	理科	英語
4	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	①ある	64.3	65.1	58.4	57.5	58.7
		②どちらかといえばある	60.9	60.9	53.0	53.5	53.1
		③どちらかといえばない	58.2	57.0	49.7	50.3	49.9
		④ない	53.0	46.8	42.5	43.0	43.2
		差①−④	11.3	18.3	15.9	14.5	15.5
6	自分には、よいところがあると思いますか。	①思う	63.6	65.7	58.1	57.3	58.5
		②どちらかといえば思う	63.6	64.2	57.7	57.1	57.7
		③あまり思わない	62.2	61.1	54.2	54.0	54.6
		④まったく思わない	61.0	57.4	50.0	51.3	50.9
		差①−④	2.6	8.3	8.1	6.0	7.6
8	学校のきまりを守っていますか。	①守っている	64.4	65.5	58.3	57.9	58.8
		②どちらかといえば守っている	62.5	62.1	55.6	54.8	55.4
		③あまり守っていない	51.8	48.8	41.3	42.6	43.2
		④守っていない	47.8	38.7	37.6	37.4	38.3
		差①−④	16.6	26.8	20.7	20.5	20.5
15	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。	①ある	66.4	69.3	60.5	60.1	60.7
		②どちらかといえばある	63.7	64.2	57.0	56.6	57.5
		③どちらかといえばない	61.4	60.7	54.9	54.0	54.9
		④ない	56.0	52.4	48.2	47.7	48.4
		差①−④	10.4	16.9	12.3	12.4	12.3
17	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。	①4時間以上	53.2	49.9	43.9	44.2	43.9
		②3時間以上、4時間より少ない	59.0	59.2	51.2	51.7	51.9
		③2時間以上、3時間より少ない	62.1	62.4	55.4	54.2	55.2
		④1時間以上、2時間より少ない	64.9	67.5	60.4	59.7	59.6
		⑤1時間より少ない	68.6	69.8	63.1	62.1	63.7
		⑥まったく利用していない	70.1	70.1	63.0	62.9	65.4
		差①−⑥	−11.7	−17.6	−16.5	−15.5	−15.7
23	勉強は好きですか。	①好き	70.1	73.6	67.3	65.7	68.0
		②どちらかといえば好き	68.2	71.2	64.1	63.3	64.0
		③どちらかといえばきらい	63.1	63.5	56.4	55.9	56.5
		④きらい	58.7	56.9	50.1	50.1	50.6
		差①−④	11.4	16.7	17.2	15.6	17.4

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率（%）				
			国語	社会	数学	理科	英語
25	授業は楽しいと思いますか。	①思う	65.1	67.7	60.8	59.3	60.7
		②どちらかといえば思う	64.1	65.1	57.5	57.5	58.0
		③あまり思わない	62.0	60.9	54.6	54.0	54.7
		④まったく思わない	56.7	53.2	47.5	47.2	48.1
		差①−④	8.4	14.5	13.3	12.1	12.6
27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	①取り組んでいる	68.6	72.6	67.0	65.0	65.7
		②どちらかといえば取り組んでいる	63.8	64.2	56.9	56.3	57.1
		③あまり取り組んでいない	57.2	54.6	46.4	47.6	48.3
		④まったく取り組んでいない	48.4	42.1	35.9	37.7	38.5
		差①−④	20.2	30.5	31.1	27.3	27.2
28	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	①している	66.9	69.0	63.0	61.5	62.9
		②どちらかといえばしている	63.4	64.0	56.7	56.3	56.8
		③あまりしていない	59.0	57.6	49.6	50.2	50.6
		④まったくしていない	54.5	50.5	43.5	44.9	44.6
		差①−④	12.4	18.5	19.5	16.6	18.3
29	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	①取り組んでいる	63.9	65.0	58.0	57.1	58.4
		②どちらかといえば取り組んでいる	63.4	63.9	56.9	56.3	57.1
		③あまり取り組んでいない	62.0	61.2	54.1	54.5	54.3
		④まったく取り組んでいない	55.1	52.2	45.7	48.1	47.3
		差①−④	8.8	12.8	12.3	9.0	11.1
32	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	①思う	65.1	66.3	59.1	58.4	58.9
		②どちらかといえば思う	63.2	63.3	56.4	56.0	56.8
		③あまり思わない	56.6	55.5	48.7	49.1	50.2
		④まったく思わない	49.3	41.8	38.4	39.3	39.8
		差①−④	15.8	24.5	20.7	19.1	19.1
33	普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	①思う	64.3	64.7	58.0	56.9	58.1
		②どちらかといえば思う	63.2	63.8	56.8	56.6	57.0
		③あまり思わない	59.5	59.5	51.9	52.2	52.5
		④まったく思わない	51.3	49.2	43.5	45.3	45.7
		差①−④	13.0	15.5	14.5	11.6	12.4
35	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	①している	67.7	69.3	62.6	61.5	62.6
		②どちらかといえばしている	64.6	65.4	58.3	57.5	58.4
		③あまりしていない	59.2	58.9	51.8	52.1	52.4
		④まったくしていない	52.8	49.3	42.7	43.7	43.7
		差①−④	14.9	20.0	19.9	17.8	18.9
36	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	①できている	66.4	67.9	61.1	59.9	61.3
		②どちらかといえばできている	63.5	64.0	56.9	56.4	57.0
		③あまりできていない	56.8	55.6	48.1	48.9	48.6
		④まったくできていない	50.0	45.3	40.1	41.1	41.6
		差①−④	16.4	22.6	21.0	18.8	19.7
38	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	①している	65.6	68.0	61.1	59.9	62.2
		②どちらかといえばしている	64.3	65.2	58.2	57.7	58.7
		③あまりしていない	62.8	62.8	55.6	55.3	55.6
		④まったくしていない	58.6	56.7	50.3	50.1	49.9
		差①−④	7.0	11.3	10.8	9.8	12.3
41	家で学校の授業の復習をしていますか。	①している	67.7	69.9	63.4	61.9	64.3
		②どちらかといえばしている	64.4	66.0	58.8	58.0	58.5
		③あまりしていない	62.3	62.0	54.8	54.9	55.1
		④まったくしていない	58.5	56.9	50.1	50.2	50.6
		差①−④	9.2	13.0	13.3	11.7	13.7
48	読書は好きですか。	①好き	68.8	69.2	60.8	60.7	61.0
		②どちらかといえば好き	63.2	64.0	56.7	56.4	57.1
		③どちらかといえばきらい	59.2	59.8	54.2	52.9	53.8
		④きらい	54.5	53.6	48.8	48.0	49.5
		差①−④	14.3	15.6	12.0	12.7	11.5
51	学校に行くのは楽しいと思いますか。	①思う	63.6	65.2	58.3	57.1	58.5
		②どちらかといえば思う	63.5	64.0	56.8	56.7	56.9
		③あまり思わない	62.3	60.9	54.3	54.2	54.9
		④まったく思わない	59.4	56.6	49.7	50.2	50.5
		差①−④	4.2	8.6	8.6	6.9	8.0
52	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	①ある	64.0	64.9	58.0	57.1	58.3
		②どちらかといえばある	62.2	62.5	55.3	55.4	55.5
		③どちらかといえばない	61.7	61.4	54.3	54.0	55.0
		④ない	59.6	56.6	49.9	50.9	50.0
		差①−④	4.4	8.3	8.1	6.2	8.3
53	学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	①できる	63.8	65.7	58.9	57.6	58.4
		②どちらかといえばできる	63.6	63.9	56.9	56.7	57.2
		③どちらかといえばできない	61.4	60.6	53.4	53.5	54.3
		④できない	59.7	55.7	48.9	49.5	51.1
		差①−④	4.1	10.0	10.0	8.1	7.3

令和４年度香川県学習状況調査
結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】

※　肯定的な回答とは、回答選択肢１+２を指す。
※　時間や頻度を問う質問項目は除く。

小学校第５学年

○肯定的な回答の pt が高い質問項目

質問番号	質問内容	pt
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	96.4
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	94.8
21	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	94.6
9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	94.0
12	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	93.8

○肯定的な回答の pt が低い質問項目

質問番号	質問内容	pt
39	家で学校の授業の予習をしていますか。	38.8
23	勉強は好きですか。	51.0
41	テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	53.0
40	家で学校の授業の復習をしていますか。	54.9
37	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	62.0

中学校第２学年

○肯定的な回答の pt が高い質問項目

質問番号	質問内容	pt
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	96.4
21	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	95.9
8	学校のきまりを守っていますか。	95.4
9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	95.3
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	95.0

○肯定的な回答の pt が低い質問項目

質問番号	質問内容	pt
40	家で学校の授業の予習をしていますか。	24.9
23	勉強は好きですか。	27.8
16	今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。	44.2
41	家で学校の授業の復習をしていますか。	45.6
38	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	47.5

令和４年度香川県学習状況調査
結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】

※　肯定的な回答とは、回答選択肢１+２を指す。
※　時間や頻度を問う質問項目は除く。

小学校

○回答選択肢１が 80pt を上回る質問項目

質問番号	質問内容	pt
34	小・中が連携し、小学６年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）	93.6
41	前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	93.0
31	大型提示装置（プロジェクター、電子黒板等）やタブレット端末等のＩＣＴ機器を活用した授業をどの程度行っていますか。	92.4
39	模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。	84.1

○肯定的な回答が 70pt を下回る質問項目

質問番号	質問内容	pt
7	いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	30.5
13	児童生徒が、ネットの望ましい利用について自ら話し合い、ルールを作成していますか。	37.6
18	より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。	61.8
40	現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。	68.2

中学校

○回答選択肢１が 80pt を上回る質問項目

質問番号	質問内容	pt
34	小・中が連携し、小学６年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）	93.0
41	前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	88.7
31	大型提示装置（プロジェクター、電子黒板等）やタブレット端末等のＩＣＴ機器を活用した授業をどの程度行っていますか。	81.7

○肯定的な回答が 70pt を下回る質問項目

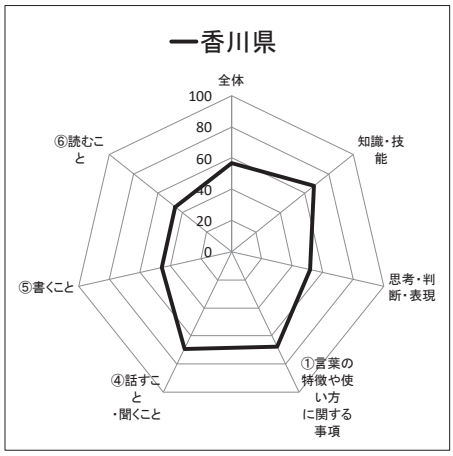
質問番号	質問内容	pt
13	児童生徒が、ネットの望ましい利用について自ら話し合い、ルールを作成していますか。	31.0
7	いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	40.9
30	新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。	50.7
40	現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。	55.0
32	「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）	62.0
44	校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小されたりした結果、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。	62.0
5	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。	64.7
18	より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。	67.6

Ⅲ　教科に関する調査結果及び分析

小学校国語

1　調査結果

項　　目		正答率（%）
全　　体		56.5
内容1	①知識・技能	67.7
	②思考・判断・表現	51.8
内容2	①言葉の特徴や使い方に関する事項	67.7
	②情報の扱い方に関する事項	
	③我が国の言語文化に関する事項	
	④話すこと・聞くこと	69.5
	⑤書くこと	45.6
	⑥読むこと	46.1



2　問題別調査結果

○　内容１の正答率を見ると、「知識・技能」については67.7%、「思考・判断・表現」については51.8%で、どちらも課題がある。
○　内容２の正答率を見ると、「話すこと・聞くこと」は 69.5%でほぼ７割の児童が正答できているが、「書くこと」「読むこと」については、50.0%を下回っている。
○　「書くこと」については、目的や意図に応じて、必要な内容を取り上げて文章を書くことに課題が見られる。無解答率も20.4%と高くなっている。
　「読むこと」については、文学的な文章を読んで理解したこと、友達の意見、物語の題名の意味と叙述等を結び付けながら、自分の考えをまとめることに課題が見られる。

問題番号			問題の内容	内容1		内容2						正答率（%）	無解答率（%）
				①	②	①	②	③	④	⑤	⑥	香川県	香川県
一	(一)		目的と進め方を確認し、司会などの役割を果たして話し合うことができるかをみる。		●				●			60.7	0.3
	(二)		自分の立場を明確にし、意図に沿って話し合うことができるかをみる。		●				●			84.7	0.3
	(三)		伝えたいことを分かりやすく伝えるために、資料を活用することができるかをみる。		●				●			63.0	0.4
二	(一)	①	現行学年別漢字配当表の第4学年までの漢字を適切に読むことができるかをみる。	●		●						41.0	4.4
		②	現行学年別漢字配当表の第4学年までの漢字を適切に読むことができるかをみる。	●		●						77.4	4.8
	(二)	①	目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けることができるかをみる。		●						●	40.7	6.9
		②	目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けることができるかをみる。		●						●	37.7	1.5
	(三)		文章全体を捉え、文章とつながりのある図表などを見付けることができるかをみる。		●						●	53.8	2.4
三	(一)		行動、会話などの叙述を基に、登場人物の心情を想像することができるかをみる。		●						●	67.8	0.9
	(二)		文の中の主語を捉えることができるかをみる。	●		●						82.4	1.0
	(三)		読んで理解したこと、友達の意見、叙述を基に、理由とともに自分の考えをまとめることができるかをみる。		●						●	30.5	13.4
四	(一)		目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかをみる。		●					●		29.7	5.1
	(二)	内容	目的や意図に応じて、必要な内容を取り上げて文章を書くことができるかをみる。		●					●		30.4	20.4
		表現	文末表現を敬体にそろえて書くことができるかをみる。		●					●		58.1	20.5
		字数	整理して条件にある字数で書くことができるかをみる。		●					●		64.4	20.5
	(三)	①	現行学年別漢字配当表の第4学年までの漢字を適切に書くことができるかをみる。	●		●						64.0	12.1
		②	現行学年別漢字配当表の第4学年までの漢字を適切に書くことができるかをみる。	●		●						73.8	11.1

読んで理解したこと、友達の意見、叙述を基に、理由とともに自分の考えをまとめることができるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

学習指導要領における内容〔第5学年及び第6学年〕
思考力・判断力・表現力等　Ｃ　読むこと　エ

小学校第５学年　三(三)

問題番号		反応率(%)	
三	(三)	①正答	30.5
		②誤答１	7.0
		③誤答２	10.7
		⑧誤答３	38.4
		⑨無答	13.4

【正答条件】
・条件を満たしているもの
・叙述を引用していなくても、文章中の言葉を使っていれば可。
・字数の多少については、ここでは評価の対象としない。
・「話し言葉になっているか」など言葉遣いについては評価の対象としない。

【解答類型】
①正答
②物語の中の言葉や文を取り上げていない。
③題名の意味と理由がつながらない。
⑧その他
⑨無答

【話し合いの様子の一部】

上原　亮太は、帰りの電車では、ひとりぼっちになったみたいだとなみだをこらえていたのに、母さんと話をした後は、新しい場所で知っていることがどんどんふえていくと思っているよね。気持ちが変わったね。

野田　自転車に乗った女の子の名前さえ知らないのに、知っていることがふえていくと思えたのは、ふしぎだよね。題名にも意味があるのかなあ。

山本　題名は「いつか、大切なところ」だよね。この題名には、（Ａ）という意味があると思うよ。そう考えた理由は、（Ｂ）。

（三）山本さんのグループでは、亮太の気持ちの変化について、文章中の表現を示しながら話し合っています。次は【話し合いの様子の一部】です。あなたが山本さんなら、（Ａ）・（Ｂ）のところでどのような話をしますか。次の条件に合わせて書きましょう。

《条件》
○（Ａ）には題名の意味を、（Ｂ）にはそう考えた理由を書くこと。
○（Ｂ）は、物語の中から言葉や文を取り上げて書くこと。

【分析と具体的な指導】

正答率は30.5%である。題名の意味と理由がつながっていない解答が10.7%、また、その他の誤答が38.4%、無答が13.4%あったことから、題名の意味として、何を答えたらよいのかが分からない児童が多かったことが考えられる。その原因として、普段から、題名の意味と物語の内容とのつながりを意識しながら読むことができていないことが考えられる。題名の意味を意識させるためには、児童が「題名には意味があり、それが直接的、または暗示的に表現されている」場合があることを意識しながら物語を読むことが大切となる。

そのために、授業では、まず、初読の際に、これまでに読んだ物語の題名の意味やその内容を想起させるとともに、これから読む物語の題名に着目させ、話の内容を想像させたい。例えば、『注文の多い料理店』を読む際には、「これまでに読んだ『世界でいちばんやかましい音』にはどのような意味があると考えたか、また、なぜそう考えたか」等、他の物語の題名の意味や内容とのつながりを想起させたり、「この物語はどのような内容の物語で、『注文の多い』とはどういう意味があるのか」等、自由に想像をふくらませたりする。このように、物語を読む際には、はじめに、題名から内容を想像したり、題名の意味について考えたりする習慣をもたせたい。

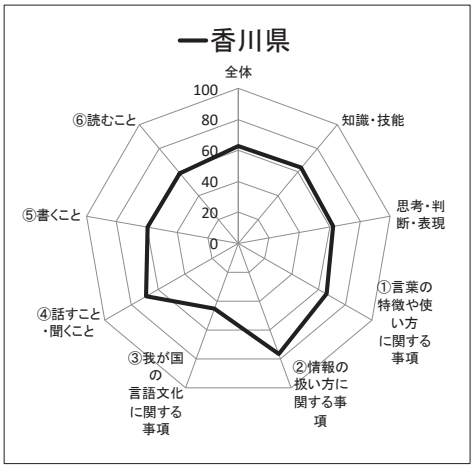
次に、物語の山場や終末等で、題名の意味について考える機会を設定したい。その中で、「最初は、お客さんがたくさん来て大繁盛の料理店という意味があると思っていたけれど、読んでみるとその逆で、お店からお客さんに、何度も何度も注文していることが分かったよ。『注文の多い』っていうのは、普通の料理店とは逆で、店がお客さんに繰り返し注文するという意味があるのではないかな」等と、初読の際に自分たちが想像した題名の意味や話の内容と比較して、自分が考える題名の意味とその理由を物語の内容と結び付けながら表出、交流させることが大切である。

また、単元の学習と並行して、題名に暗示性がある物語を集めて、どのような意味があるのか紹介することを促すことも、題名と内容との関連を意識させる活動として有効であると考えられる。

中学校国語

1　調査結果

項　　目		正答率（%）
全　　体		62.9
内容1	①知識・技能	63.5
	②思考・判断・表現	62.5
内容2	①言葉の特徴や使い方に関する事項	65.7
	②情報の扱い方に関する事項	76.3
	③我が国の言語文化に関する事項	45.3
	④話すこと・聞くこと	68.9
	⑤書くこと	59.8
	⑥読むこと	59.0



2　問題別調査結果

○　**内容１の正答率**を見ると、「知識・技能」については63.5%で、課題がある。
○　**内容２の正答率**を見ると、「我が国の言語文化に関する事項」は 45.3%、「書くこと」は59.8%、「読むこと」は59.0%で課題がある。
○　「我が国の言語文化に関する事項」については、古文の会話文や要旨について理解することに課題が見られる。「書くこと」については、引用で具体例を示し、分かりやすい文章を書くことに課題が見られる。「読むこと」については、目的に応じ、必要な情報に着目して内容を捉えることに課題が見られ、正答率が2.1%と低かった。その要因として、足りない情報を問われたこと、解答の場面設定が会話文であったことなどが考えられる。

問題番号			問題の内容	内容1		内容2						正答率（%）	無解答率（%）
				①	②	①	②	③	④	⑤	⑥	香川県	香川県
一	(一)		話の内容を正確に聞き取っているかをみる。		●				●			94.8	0.4
	(二)		自分の立場や考えが明確になるように論理の展開に即して話しているかをみる。		●				●			36.0	13.6
	(三)		必要に応じて、話の内容を記録しながら聞くことができるかをみる。		●				●			75.6	2.0
二	(一)	ア	学年別漢字配当表の第6学年までの漢字を適切に書けるかをみる。	●		●						96.9	1.9
		イ	学年別漢字配当表の第6学年までの漢字を適切に書けるかをみる。	●		●						81.5	12.3
		ウ	学年別漢字配当表の第6学年までの漢字を適切に書けるかをみる。	●		●						84.0	5.0
	(二)		場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などをもとに内容を捉えているかをみる。		●						●	65.7	1.5
	(三)		登場人物の言動の意味について考え、内容を捉えているかをみる。		●						●	58.7	9.6
	(四)	表現	比喩、反復、倒置、体言止めなど表現の技法を理解しているかをみる。	●		●						59.4	0.8
		同じ	比喩、反復、倒置、体言止めなど表現の技法を使うことができているかをみる。	●		●						67.7	0.9
	(五)		文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしているかをみる。		●						●	67.7	12.0
三	(一)	ア	学習している漢字を適切に読めるかをみる。	●		●						35.7	10.1
		イ	学習している漢字を適切に読めるかをみる。	●		●						87.5	2.4
		ウ	学習している漢字を適切に読めるかをみる。	●		●						95.6	2.2
	(二)		語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使っているかをみる。	●		●						15.6	0.8
	(三)		品詞の理解と識別ができているかをみる。	●		●						33.0	1.3
	(四)	(A)	目的に応じて必要な情報を取り出し、整理することができるかをみる。		●		●				●	81.1	1.3
		(B)	目的に応じて必要な情報を取り出し、整理することができるかをみる。		●		●				●	82.6	1.3
		(C)	目的に応じて必要な情報を取り出し、整理することができるかをみる。		●		●				●	81.8	1.1
	(五)		目的に応じて必要な情報に着目して内容をとらえているかをみる。		●						●	2.1	24.0
四	(一)		古文と現代語訳を照らし合わせ、会話文が理解できるかをみる。	●				●			●	41.3	6.0
	(二)		古文の要旨について理解することができるかをみる。		●			●			●	49.2	2.8
五	(一)		書くために集めた情報を整理できているかをみる。		●		●			●		59.8	2.4
	(二)		書き方の特徴について理解しているかをみる。		●					●		64.8	3.1
	(三)		読み手の立場に立ち、引用で具体例を示して、分かりやすい文章を書くことができるかをみる。		●					●		54.7	17.3

読み手の立場に立ち、引用で具体例を示して、分かりやすい文章を書くことができるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

中学校第２学年　五(三)

学習指導要領における内容〔第2学年〕
思考力・判断力・表現力等　Ｂ 書くこと ウ

五　せとうち中学校では、タブレットやパソコン等のＩＣＴ端末の使い方のルールを生徒会で考えています。二年生は「写真の投稿について」の担当です。岡野さんのクラスでは、「肖像権」について調べて、全校生に呼びかける文章を書くことになりました。あとの問いに答えなさい。

(三) 岡野さんは、【中井さんのアドバイス】をもとに、「書いている文章に具体例を付け足すことにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件１と条件２にしたがって、解答用紙に文章を書きなさい。

〈条件１〉【岡野さんが調べた情報】から、必要な言葉や文を取り上げて書くこと。
〈条件２〉「例えば」に続けて、六十字以上、八十字以内で書くこと。

【岡野さんの書いている文章】

友達が、背景に写り込んだ写真の画像を、電子掲示板に投稿したら、

「肖像権の侵害だよ！ 削除して！」

と言われました。有名人でもないのに、肖像権ってあるんですか？

有名人だろうが友達だろうが、誰でも、容姿などの肖像を無断で撮影・公表・使用されない権利をもっています。

しかし「肖像権」として、きちんと定めた法律はありません。そこで法廷では、憲法第十三条の「幸福追求権」の考え方を基に争います。

肖像権の侵害には、例外がたくさんあります。しかし、法律よりも、重要なのは、あなたの心遣い、友達への配慮です。

肖像権は誰でも主張できるけれど、例外もあるよ。
友達の写真を投稿するときは、許可をもらおう。

（参考資料）『正しいコピペのすすめ　模倣、創造、著作権と私たち』宮竹久佳
『13歳からの「ネットのルール」誰も傷つけないためのスマホリテラシーを身につける本』小木曽健

【中井さんのアドバイス】

「例外がたくさんあります」の後に、具体例を入れておくほうがいいと思います。

※【岡野さんが調べた情報】は、本紙面では省略。調査問題では、２つの資料から得たＡとＢの情報が示されている。

問題番号		反応率(%)		解答類型
五	(三)	①正答	54.7	①正答 ②条件１を満たしていない。 ③条件２を満たしていない。 ④敬体で書かれていない。 ⑧その他 ⑨無答
		②誤答１	3.6	
		③誤答２	5.7	
		④誤答３	2.1	
		⑧誤答４	16.6	
		⑨無答	17.3	

【分析と具体的な指導】

正答率は54.7%である。解答類型２、３、その他の反応率の合計は、25.9%である。このように解答した生徒は、【岡野さんが調べた情報】のＡ・Ｂ２つの情報のどの言葉や文を取り上げればよいのか分からなかったことや、取り上げた言葉や文を字数制限に合わせ、次の一文につながるよう整えることができなかったことが考えられる。

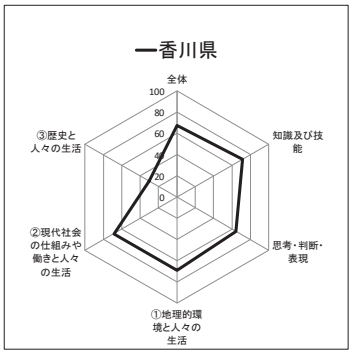
引用して具体例を示すためには、資料について、考えの根拠としてふさわしいかどうかを検討することが重要である。特に、本問題では２つの資料が提示されているため、２つの資料に書かれている内容を比較し、相違点について情報を整理する力が求められる。その上で、どの部分を引用し、文章を整えればよいのか目的に応じて吟味しなければならない。

今後、各学校に求められる取組としては、「書く力」を育成するために、まず、書くことの意義や表現力の高まりを感じることができる指導を重ねることが重要である。読むことと関連させるなど、目的意識・相手意識を生徒自身がもつことができる単元構成や言語活動の工夫も大切である。また、様々な形式の文章を書く活動を年間計画に位置付け、学習したことを他教科でも生かすカリキュラム・マネジメントを進めていきたい。今回課題であった「引用して具体例を示し、分かりやすい文章を書く」力を付けるためには、引用しようとする情報が客観性や信頼性の高いものかどうか、考えの根拠としてふさわしいかどうかについて具体的に確認する活動が必要である。そして、ICT を活用するなどして形成的な評価を行い、生徒が助言を基に自分の書いた文章を見直し、再構成していくことが求められる。

小学校社会

1　調査結果

項　　目		正答率（%）
全　　体		67.7
内容1	①知識・技能	71.1
	②思考・判断・表現	64.1
内容2	①地理的環境と人々の生活	68.9
	②現代社会の仕組みや働きと人々の生活	68.8
	③歴史と人々の生活	30.0



2　問題別調査結果

○　内容１の正答率を見ると、「知識・技能」については 71.1%、「思考・判断・表現」については 64.1%で、どちらも課題が見られる。

○　内容２の正答率を見ると、「歴史と人々の生活」については課題が見られ、昨年度と比較して平均正答率が低くなった。今年度は、当てはまらないものを選択して解答する問題であったことが結果に影響していると考えられる。

○　「知識・技能」については、地図等を用いて土地利用の様子を読み取ったり、日本の近海の海流及び我が国の国土を構成する主な島の名称を答えたりする問題での正答率が低く、課題が見られる。「思考・判断・表現」については、社会的事象の理由について、資料に基づいて短い文章で説明する問題での無解答率が高く、課題が見られる。

問題番号			問題の内容	内容1		内容2			正答率（%）	無解答率（%）
				①	②	①	②	③	香川県	香川県
1	(1)	①	等高線と地形の関係を読み取れるかをみる。	●		●			85.1	0.2
		②	方位を正しく理解しているかをみる。	●		●			78.6	0.2
		③	等高線から地図上の場所の高さを読み取れるかをみる。	●		●			86.4	0.2
		④	地図上で記号や位置関係を正しく読み取れるかをみる。	●		●			77.3	0.3
		⑤	地図から土地利用の様子を読み取れるかをみる。	●		●			52.8	0.6
	(2)	①	近隣の都道府県名を理解しているかをみる。	●		●			83.3	0.4
		②	地図帳での位置の表し方を理解しているかをみる。	●		●			90.8	0.9
		③	自分の学校がある市町名と地図上の位置を理解しているかをみる。	●		●			84.6	1.6
2	(1)		雨温図を読み取り、あたたかい土地の様子とつなげて考えられるかをみる。	●		●			76.9	0.4
	(2)		気候や地形を生かして生活する人々の様子と産業をつなげて考えられるかをみる。		●	●			89.9	1.5
	(3)	①	土地の特色とそれを生かす産業の様子をつなげて考えられるかをみる。		●		●		56.0	0.9
		②	土地の特色とそれを生かす産業の様子をつなげて考えられるかをみる。		●		●		77.7	0.8
		③	土地の特色とそれを生かす産業の様子をつなげて考えられるかをみる。		●		●		74.9	0.7
	(4)		人々の生活や文化について歴史的な視点で捉えられているかをみる。		●			●	30.0	1.2
3	(1)		品種改良について理解をしているかをみる。	●		●			92.2	0.3
	(2)		米づくりの工夫について理解をしているか、資料を見て考えられるかをみる。	●		●			66.5	0.6
	(3)		作業時間と農業機械の導入、米の価格の関係性を考えられているかをみる。		●		●		75.6	1.1
	(4)		わが国の気候や地形の特色について考えられているかをみる。		●	●			34.5	7.4
4	(1)	①	地図から日本の近海の様子を読み取り、主な海流の名称を理解しているかをみる。	●		●			55.2	0.6
		②	資料から読み取れる要素を含んだ学習問題を考えられるかをみる。		●	●			54.3	0.7
	(2)		資料を正しく読み取って魚の流通経路について考えられているかをみる。		●		●		78.8	1.0
	(3)		水産資源を守る漁業について考えられるかをみる。		●		●		63.7	1.6
5	(1)	ア	複数の資料の中から文章の根拠となる資料を選択することができるかをみる。		●		●		64.2	2.3
		イ	複数の資料の中から文章の根拠となる資料を選択することができるかをみる。		●		●		81.2	2.5
		ウ	複数の資料の中から文章の根拠となる資料を選択することができるかをみる。		●		●		81.0	3.0
	(2)		資料に基づいて、今後の社会の様子を予想できているかをみる。		●		●		37.2	2.7
	(3)		食料問題の解決に向けて、消費者の立場でできることを考えているかをみる。		●		●		67.1	3.3
6	(1)	①	世界の大陸名とその位置を理解しているかをみる。	●		●			60.7	5.6
		②	世界の主な海洋名とその位置を理解しているかをみる。	●		●			61.1	3.6
		③	地球儀を用いて方位や位置関係を正しく考えられるかをみる。		●	●			59.7	4.9
	(2)	①	わが国の領土の端に位置する島について理解しているかをみる。	●		●			54.8	4.6
		②	わが国の領土である北方領土について理解しているかをみる。	●		●			65.7	4.7
		③	わが国周辺の海洋名とその位置を理解しているかをみる。	●		●			36.0	5.0

３　調査結果から授業改善へ

複数の資料から捉えた社会的事象の意味について考えることができるようにする

学習指導要領における内容〔第５学年〕
（２）我が国の農業や水産業における食料生産
イ思考力・判断力・表現力等（ア）

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

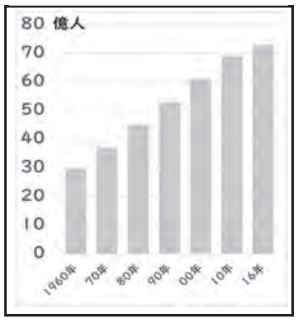
小学校第５学年　5（２）

「日本食料新聞」をつくるために、話し合いをしています。

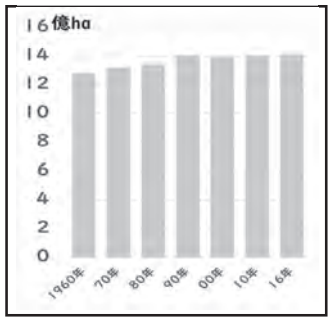
（２）　発言にある（Ａ）の見出しとして適切なものを、次のア～エの中から一つ選びましょう。

ア　「環境悪化で魚がとれない　―どうなる？食料を輸入にたよる日本！―」
イ　「進化する世界の農業　―どうなる？食料を輸入にたよる日本！―」
ウ　「未来は世界で食料不足　―どうなる？食料を輸入にたよる日本！―」
エ　「高齢化が進む農業　―どうなる？食料を輸入にたよる日本！―」

【資料１】世界の人口の変化



【資料２】世界の耕地面積の変化



問題番号		反応率(%)		解答類型
5	(2)	①正答	37.2	①ウ　正答 ②ア ③イ ④エ ⑧その他 ⑨無答
		②誤答１	8.7	
		③誤答２	27.5	
		④誤答３	23.9	
		⑧誤答４	0.1	
		⑨無答	2.7	

見出しは、「どうなる？食料を輸入にたよる日本」でどうかな？

それもいいと思うけれど、**【資料１】と【資料２】**を見ると、もっと問題は深こくなんじゃないかな？見出しを「　（Ａ）　」にすると、いいと思うよ。

【分析と具体的な指導】

正答率は37.2%である。正答率が低くなった要因は、２つの資料から読み取った課題と見出しとを関連付けて考えるといった思考が伴う点にあったと考えられる。選択肢ア～エは全て実社会に実在する現代的な課題であるため、資料１・２に内在する情報を読み取り、見出しの根拠となり得るかどうかを判断する必要がある。選択肢ア・エは、生活や学習の中で得た既存の知識から、食料事情に関する課題を捉えたと考えられる。選択肢イは、選択肢ア・エの判断に加え、タイトルから世界的な課題だと読み取ったことがうかがえる。どちらの場合も、「急増する消費量」と「一定の生産量」というグラフに内在する情報から、課題を見いだすまでには至っていない。

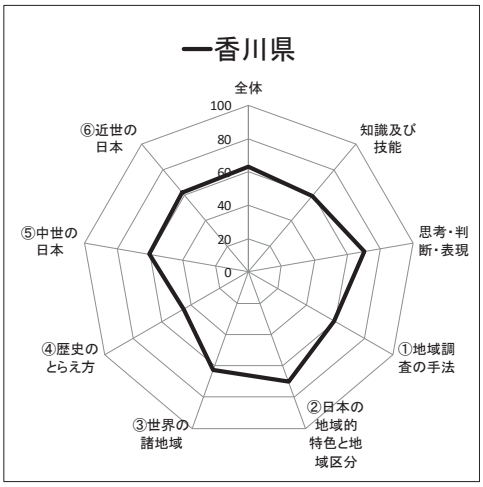
複数の情報から読み取ったことを表現させるためには、社会的事象の見方・考え方を働かせ、同一の事象に関する異種の資料（グラフと文章等）の情報や同種の資料における異なる表現（複数のグラフ等）を見比べたり結び付けたりすることを通して、情報を適切に選択させることが求められる。

今後、各学校に求められる取組としては、情報を選んで読み取る力を育成するために、学習の問題を追究・解決する活動の中で、地図帳や地球儀、各種の資料で調べる時間を意図的に展開し、そこに実社会との関連を見いだす指導をすることが重要である。例えば、複数の資料から読み取って考えたことを文章で記述したり、白地図や図表等にまとめたことを基に説明したりする活動を通して、必要な情報から事実を正確に読み取って理解するだけでなく、その背景にも着目して具体的に実社会の様子を考える児童を育てるということである。また、地図やグラフ等の資料から分かったことを話し合う「資料」→「言葉」だけでなく、自分の考えを説明するときに資料を活用する「言葉」→「資料」の場を意図的に設定することや、３つ以上の資料を比較・関連・総合する活動を展開することも重要である。このように、新しい学力観を育てるためには、調べたことを新聞や年表、パンフレット等にまとめる活動だけに終わらせるのではなく、調べて分かった事実と考えたことを往還させる時間を十分に取ることが求められる。

中学校社会

1　調査結果

項　　目		正答率（%）
全　　体		63.3
内容1	①知識・技能	59.6
	②思考・判断・表現	70.2
内容2	①地域調査の手法	59.1
	②日本の地域的特色と地域区分	70.0
	③世界の諸地域	62.5
	④歴史のとらえ方	45.3
	⑤中世の日本	60.6
	⑥近世の日本	62.0



2　問題別調査結果

○　内容１の正答率を見ると、「知識・技能」については 59.6%で、課題がある。「思考・判断・表現」については 70.2%で、概ね定着している。

○　内容２の正答率を見ると、「日本の地域的特色と地域区分」が最も高く、他の内容については 65%を下回っている。

○　「歴史のとらえ方」が 45.3%で、前年度の学年までに学習した知識の習得に課題が見られる。元号による時代区分の理解については、無解答率が 14.8%と高くなっている。今年度より新たに加わった「地域調査の手法」については 59.1%で、地理的技能を用いて、地理的事象の原因を判断したり、表現したりすることに課題が見られる。

問題番号			問題の内容	内容1		内容2						正答率（%）	無解答率（%）
				①	②	①	②	③	④	⑤	⑥	香川県	香川県
1	(1)	a	河川によって形成される地形について基本的な知識を身に付けているかをみる。	●		●						51.9	12.7
		b	地形をもとに、この地域に起こっていた災害について思考・判断できるかをみる。		●	●						58.8	1.0
	(2)		資料の内容について、地形図を活用して正しく読み取ることができるかをみる。	●		●						77.3	0.6
	(3)		地形図に表された内容を正しく読み取ることができるかをみる。	●		●						70.3	0.6
	(4)		地形図に表された内容から地域のようすを正しく読み取ることができるかをみる。	●		●						58.5	1.4
	(5)		等高線に着目し、山道の曲路の理由について思考・判断・表現できるかをみる。		●	●						37.9	17.4
2	(1)		日本海流（黒潮）の位置と名称について正しく理解できているかをみる。	●			●					66.1	6.0
	(2)		複数の資料を関連付け、日本の気候の特色について正しく判断できるかをみる。		●		●					74.0	0.7
	(3)		複数の資料を関連付け、日本の人口の特徴について正しく判断できるかをみる。		●		●					75.6	0.9
3	(1)		水力及び原子力発電所の分布及び推移を正しく読み取ることができるかをみる。	●			●					61.8	0.8
	(2)		火力発電所の分布の原因について、適切な資料を選択できるかをみる。		●		●					75.1	1.5
	(3)		火力発電所の分布と主な資源の輸入を関連付け、正しく判断できるかをみる。		●		●					63.0	10.8
4	(1)		資料を正しく読み取ることができるかをみる。	●			●					75.5	1.1
	(2)		日本の地形を大きく分ける大地溝帯の名称を理解できているかをみる。	●			●					59.9	17.1
	(3)		模式図から、地震によって発生する自然災害を判断できるかをみる。		●		●					78.7	5.1
5	(1)	ア	資料を正しく読み取ることができるかをみる。	●				●				71.0	4.2
		イ	資料を正しく読み取ることができるかをみる。	●				●				78.6	6.2
	(2)		資料を正しく読み取ることができるかをみる。	●				●				43.4	1.2
	(3)		森林破壊面積の変化を資料にもとづいて説明することができるかをみる。		●			●				56.8	1.0
6	(1)		世紀について理解できているかをみる。	●					●			48.9	4.7
	(2)		元号による時代区分を理解できているかをみる。	●					●			41.6	14.8
	(3)		キリスト教が伝来する背景について、理解しているかをみる。	●							●	82.2	1.4
	(4)		幕府があった地理的位置について理解できているかをみる。	●						●		56.2	2.3
	(5)		キリスト教禁止が徹底されなかった理由を資料と会話文から考察できるかをみる。		●						●	78.4	8.6
	(6)		中世から近世の文化について、その特徴を理解しているかをみる。	●							●	53.2	1.8
7	(1)	ア	説明文をもとに、どの資料について説明したものか判断できるかをみる。		●					●		86.5	1.9
		イ	説明文をもとに、どの資料について説明したものか判断できるかをみる。		●						●	87.2	1.9
	(2)		中世と近世の農業の特色について、理解しているかをみる。	●						●	●	72.9	2.7
	(3)		中世と近世の商工業の特色について、理解しているかをみる。	●							●	44.3	21.8
	(4)		中世から近世の東アジアの外交について、理解しているかをみる。	●						●	●	26.7	5.0
	(5)		資料を読み取り、江戸時代の政策の理解をもとに選択できるかをみる。	●							●	50.8	2.8

３　調査結果から授業改善へ

場所の特徴に着目して、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現することができるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

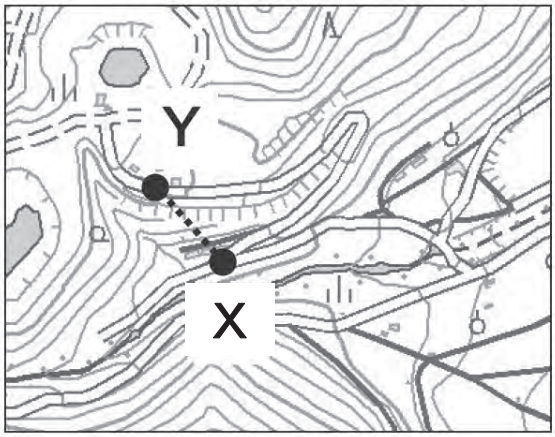
学習指導要領における内容〔地理的分野〕
Ｃ　日本の様々な地域　（1）　地域調査の手法

中学校第２学年　1（5）

(5)　太郎さんは、資料１中Ｘ地点からＹ地点までを結んでいる道路が大きくカーブして回り道になっている理由について、資料３をもとに説明しようとしています。次の＜太郎さんの説明＞の（　　）にあてはまる文を、【　傾斜　】という言葉を使って簡単に書きなさい。

＜太郎さんの説明＞
資料３中の■■■ で表されたルートは、Ｘ地点とＹ地点を直線で結んだルートです。そのルートと大きくカーブして回り道になっている実際の道路とを比べると、実際の道路は、等高線に沿ってつくられていることがわかります。このように道路をつくることで、（　　）ようにしていると考えられます。

資料３　資料１中の［　　］の拡大図



問題番号		反応率(%)		
		正答	誤答	無答
1	(5)	37.9	44.7	17.4

【分析と具体的な指導】

正答率は 37.9%である。「等高線」が同じ標高の地点を結んだ線であることを理解していない生徒や、「等高線」の意味は理解できているが、読み取った地図情報から該当箇所の地形的特色を考察できていない生徒が多くいたことが、正答に至らなかったり無解答率が高かったりした原因であると考えられる。

地理的技能を高めるためには、場所の特徴などに着目しながら、対象となる地域を捉えることが重要である。そのためには、地形図を読図するための基本的な技能を確実に習得すること、読図等の調査で得た対象地域についての情報を適切に選択し、地図や図表、写真などを取り入れて表現することが求められる。

今後、各学校に求められる取組としては、次のような学習活動の設定が考えられる。

・生きて働く知識・技能として活用するための、生活体験に基づいた学習課題の設定

「等高線の学習をしましょう。」という学習課題では、地図情報の読み取りが目的となり、思考・判断につながる生きて働く知識・技能とならない。対象地域の現状から「なぜ、この道路は直線ではなく遠くなる回り道になるようにつくったのだろう？」という学習課題を設定することで、等高線についての情報を読み取ることが、地域の特色を捉えて判断する目的のための生きて働く知識・技能として習得、活用することにつながる。地形図等から地域的特色を捉え、地域の課題を見いだして考察するなどの活動を通して、読図に関する技能を高めたい。

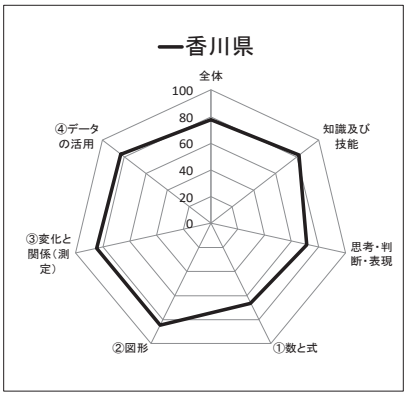
・地形図の表現を視覚的イメージとつなぐＩＣＴの活用

２地点間の傾斜についてイメージできない生徒への支援として、ICT を活用し視覚化することで事象の理解を促すことが効果的だと考えられる。その一例として、地理院地図（電子国土 WEB）が挙げられる。このサイトにアクセスすると、２地点間の傾斜を３Ｄや断面図を示すことができるので、直線で道路をつくった場合の傾斜を視覚的に確認することができる。その上で、生活体験と比較することで、直線に道路を建設しなかった原因の考察を促すことができる。

小学校算数

1　調査結果

項　　目		正答率（%）
全　　体		77.7
内容1	①知識・技能	81.9
	②思考・判断・表現	71.3
内容2	①数と式	66.4
	②図形	84.7
	③変化と関係（測定）	84.3
	④データの活用	83.3



2　問題別調査結果

○　内容１の正答率を見ると、「知識・技能」については 81.9%、「思考・判断・表現」については 71.3%で、どちらも概ね定着している。
○　内容２の正答率を見ると、「図形」「変化と関係（測定）」「データの活用」で 80%を上回っている。「数と式」が 66.4%と最も低い。
○　「数と式」については、加法と除法が混合した式の計算を正しい順序で計算することや、問題文から除数と被除数の関係を理解して、正しく立式することに課題が見られる。また、「データの活用」については、示されたグラフが正しくない理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られる。

問題番号			問題の内容	内容1		内容2				正答率（%）	無解答率（%）
				①	②	①	②	③	④	香川県	香川県
1	(1)	①	整数と小数の減法の計算ができるかをみる。	●		●				75.5	1.6
		②	加法と除法が混同した整数の計算ができるかをみる。	●		●				49.7	1.2
		③	小数の乗法の計算ができるかをみる。	●		●				73.0	1.2
		④	通分をして、約分をともなう分数の減法の計算ができるかをみる。	●		●				64.1	2.6
	(2)	①	問題を読んで、式を求めることができるかをみる。	●		●				95.1	0.6
		②	問題を読んで、式を求めることができるかをみる。	●		●				34.8	1.4
	(3)	だいち	条件をもとに、4けたの数を求めることができるかをみる。		●	●				87.0	2.1
		ひなた	条件をもとに、4けたの数を求めることができるかをみる。		●	●				63.9	3.7
		ゆうと	条件をもとに、4けたの数を求めることができるかをみる。		●	●				54.4	3.6
2	(1)	まさる	三角形の性質を用いて、五角形の角の大きさの和を求める式と対応する図を選択できるかをみる。	●			●			84.9	0.9
		ひかり	三角形の性質を用いて、五角形の角の大きさの和を求める式と対応する図を選択できるかをみる。	●			●			93.5	0.6
		たけし	三角形の性質を用いて、五角形の角の大きさの和を求める式と対応する図を選択できるかをみる。	●			●			93.6	0.7
	(2)		五角形の内角の和をもとに、発展的に考え、八角形の内角の和を求めることができるかをみる。		●		●			66.6	2.7
3	(1)	①	変わり方のきまりを使って、あてはまる数を求めることができるかをみる。	●				●		97.9	0.7
		②	表をもとに、伴って変わる2つの数量の関係を適切に選択できるかをみる。		●			●		76.6	0.7
	(2)	①	変わり方のきまりを使って、あてはまる数を求めることができるかをみる。	●				●		96.9	0.9
		②	伴って変わる2つの数量が、比例の関係であることを判断できるかをみる。		●			●		92.2	0.8
		③	2つの数量が比例の関係であることを、言葉を使って説明できるかどうかをみる。		●			●		58.0	3.8
4	(1)	①	2次元の表の読み取り方を理解しているかをみる。	●					●	94.1	0.7
		②	2次元の表の読み取り方を理解しているかをみる。	●					●	96.1	0.8
	(2)	①	2次元の表の空欄の数値を求めることができるかをみる。	●					●	85.2	1.4
		②	2次元の表の読み取り方を理解しているかをみる。	●					●	94.0	0.9
	(3)		2次元の表の読み取りについての説明から正誤を判断できるかをみる。		●				●	85.2	1.3
	(4)	①	グラフを見比べて、読み取りについての説明から正誤を判断できるかをみる。		●				●	79.5	1.1
		②	グラフを見比べて、読み取ったことがらをもとに、言葉や数を用いて理由を記述できるかをみる。		●				●	49.3	3.8

３　調査結果から授業改善へ

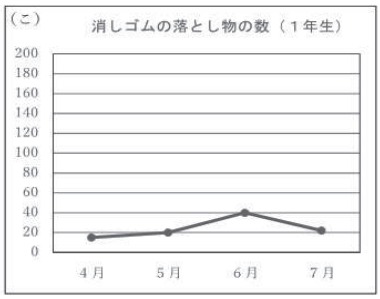
グラフを見比べて、読み取ったことがらをもとに、言葉や数を用いて理由を述べることができるようにする

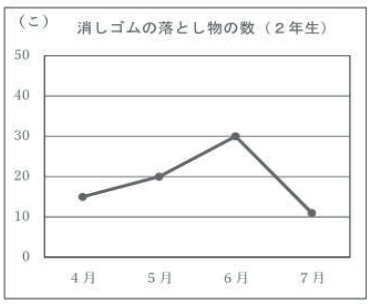
【授業改善のヒントとなる問題の概要】

小学校第５学年　4（4）②

学習指導要領における内容〔第4学年〕
思考力・判断力・表現力等　Ｄ　データの活用

（4）　生活委員の人たちは、１年生、２年生の４～７月までの月ごとの「消しゴム」の落とし物の数を、それぞれの折れ線グラフに表しました。





１年生に比べて２年生のほうが、５月～６月までの線の傾きが急です。だから、１年生に比べて２年生のほうが、５月～６月までの「消しゴム」の落とし物のふえ方が大きいです。

ななさんは、２つのグラフの５月～６月までの「消しゴム」の落とし物の数の変化の様子を見比べて、次のように言いました。次の①、②の問に答えましょう。

① ななさんが言っている、下線部の事は「正しい」か「正しくない」か、解答用紙のどちらかを○で囲みましょう。
② その理由を、グラフから読み取れる落とし物の数に着目して、言葉や数を使って書きましょう。

問題番号		反応率(%)		解答類型
4	（4）②	①正答	49.3	【解答例】 ５月から６月までの、消しゴムの落とし物の数の増加は、１年生は20こで、２年生は10こだから。 【解答類型】 ①正答 ②どちらか一方の学年の増加のみにふれて書かれている ⑧その他 ⑨無答
		②誤答１	3.3	
		⑧誤答２	43.7	
		⑨無答	3.8	

【分析と具体的な指導】

正答率は 49.3%である。（４）①の正答率は 79.5%なので、約 30%の児童は、どちらの増え方が大きいかは理解できたが、増えた落とし物の数を示していなかったり、グラフから読みとった数量を間違ったりするなど、目盛りの読み取りが不十分だったと考えられる。

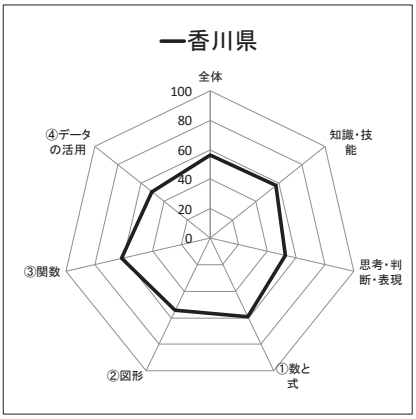
今後、各学校に求められる取組としては、ある事柄が成り立つことを説明する際には、その根拠が適切かどうかを確認することが大切であると実感できるような活動の充実が考えられる。例えば、目盛りの数値が隠された複数の折れ線グラフを準備し、比較する場面を取り扱う。折れ線グラフの線だけを見て分かること（○○の方が傾きが急である、どちらも○月の数がいちばん多い等）を基に交流し合う中で、「その判断が正しいのだろうか」「どこを見るとよいのか」という問題意識が生まれることが予想される。そこで、隠された数値を示すことで、縦軸の目盛りに着目した交流が期待できる。さらに「１年生と２年生の落とし物の変化の様子を比べやすくするために、これらのグラフをどのように作り替えるとよいか」と問いをもつ児童がいた場合には、「縦軸の目盛りを同じにする」、「一つのグラフとしてまとめる」などの解決方法の見通しをもった上で、解決活動に入らせることで主体的な取組が期待できる。

このように、考えの根拠が大切であると実感できるような活動の充実を通して、段階的に批判的に考察する態度を育成することが大切である。

中学校数学

1　調査結果

項　　目		正答率（%）
全　　体		56.4
内容1	①知識・技能	57.4
	②思考・判断・表現	52.5
内容2	①数と式	59.0
	②図形	54.2
	③関数	61.1
	④データの活用	50.6



2　問題別調査結果

○　内容１の正答率を見ると、「知識・技能」については 57.4%、「思考・判断・表現」については 52.5%で、どちらも課題がある。

○　内容２の正答率を見ると、「関数」が最も高く、他の内容については 60%を下回っている。

「数と式」については、問題場面を理解し、数量関係を文字式に表すことに、「データの活用」については、範囲、中央値や相対度数等の意味理解に課題が見られる。「図形」のおうぎ形の中心角と弧の長さの関係についての理解や弧の長さを求めること、「関数」の与えられた条件を基に、数量関係を的確に捉えることについては、令和３年度に続き、課題である。

問題番号			問題の内容	内容1		内容2				正答率（%）	無解答率（%）
				①	②	①	②	③	④	香川県	香川県
1	(1)	①	計算のきまりにしたがって、正しく計算できるかをみる。	●		●				82.3	2.1
		②	多項式の計算ができるかをみる。	●		●				79.3	4.0
	(2)	①	空間における面の垂直の位置関係について理解しているかをみる。	●			●			87.6	0.3
		②	空間における直線のねじれの位置について理解しているかをみる。	●			●			74.4	0.5
	(3)	①	反比例の関係で、変化や対応から、xに対応するyの値を求めることができるかをみる。	●				●		54.7	0.5
		②	一次関数の関係で、変化や対応から、xに対応するyの値を求めることができるかをみる。	●				●		38.2	3.4
	(4)	①	範囲の意味を理解しているかをみる。	●					●	46.9	9.7
		②	中央値の意味を理解しているかをみる。	●					●	52.1	6.2
2	(1)		解の吟味の必要性について正しく理解しているかをみる。	●		●				58.2	0.7
	(2)		問題場面を理解し、数量の関係を文字式に表すことができるかをみる。	●		●				38.5	11.3
	(3)		連立方程式を解く過程を、事象に即して解釈することができるかをみる。		●	●				56.8	2.4
	(4)		解く過程を振り返り、事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明できるかをみる。		●	●				38.9	34.7
3	(1)		おうぎ形の中心角と弧の長さの関係を理解しているかをみる。	●			●			59.0	0.9
	(2)		おうぎ形の弧の長さを求めることができるかをみる。	●			●			23.6	18.1
	(3)		円錐の展開図の底面と側面の関係を理解しているかをみる。	●			●			19.1	24.6
	(4)		一方の図形を他方の図形を移動してできたものと捉えて考えることができるかをみる。		●		●			61.4	1.6
4	(1)		グラフの交点が表す意味を理解しているかをみる。	●				●		84.1	5.3
	(2)		グラフのyの値の差と問題場面を関連づけられているかをみる。	●				●		58.0	12.1
	(3)		グラフが表す意味を正しく理解しているかをみる。	●				●		85.2	1.7
	(4)		グラフを読み取り、問題場面と照らし合わせて判断し、その理由が説明できるかをみる。		●			●		49.5	11.7
5	(1)		ヒストグラムからデータを読み取ることができるかをみる。	●					●	86.1	5.0
	(2)		度数分布表から、平均値の求め方を理解しているかをみる。	●					●	45.8	2.6
	(3)		データをもとに根拠のある主張を述べることができるかをみる。		●				●	56.0	23.5
	(4)		相対度数の意味を理解しているかをみる。	●					●	16.8	29.8

3　調査結果から授業改善へ

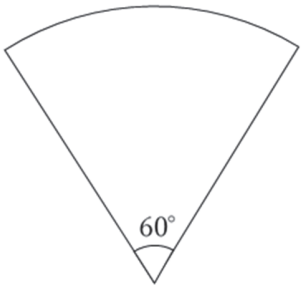
扇形の弧の長さがその中心角の大きさに比例していることを理解できるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

学習指導要領における内容〔第1学年〕
知識及び技能　B 図形

中学校第２学年　3（1）

右の図のような、中心角６０°のおうぎ形があります。このおうぎ形の弧の長さは、同じ半径の円の円周の長さの何倍ですか。次のア～エの中から一つ選びなさい。



ア　$\frac{1}{3}$倍　　イ　$\frac{1}{6}$倍

ウ　３倍　　エ　６倍

中学校第２学年　3（2）

（1）の図で、半径が３㎝のときのおうぎ形の弧の長さを求めなさい。ただし、円周率はπとします。

問題番号		反応率(%)	
3	（1）	①正答	59.0
		②誤答１	20.6
		③誤答２	10.7
		④誤答３	8.8
		⑧誤答４	0.0
		⑨無答	0.9
【解答類型】 ①正答 ②アと解答している ③ウと解答している ④エと解答している ⑧その他 ⑨無答			
3	（2）	正答	23.6
		誤答	58.3
		無答	18.1

【分析と具体的な指導】

3（1）は扇形の弧の長さがその中心角の大きさに比例していることを理解しているかどうかをみる問題であり、正答率は59.0%である。誤答の中では、ア1/3倍の反応率が20.6%と最も高く、この中には、示された扇形の中心角60°と180°との関係に基づいて解答した生徒がいると考えられる。令和３年度全国学力・学習状況調査3に同一の問題が出題されており、その際の本県の正答率は65.0%であり、誤答についても同様の傾向がみられ、引き続き課題である。

3（2）は弧の長さを求めることができるかどうかをみる問題である。正答率は23.6%であり、円周や弧の長さの求め方を十分に理解できていない生徒が多数いることが想定される。

これらの結果から、まずは、扇形が円の一部であることを基に、扇形の中心角と弧の長さが比例することの関係について理解することが重要である。その上で、扇形の弧の長さを求める技能の定着を図る必要がある。

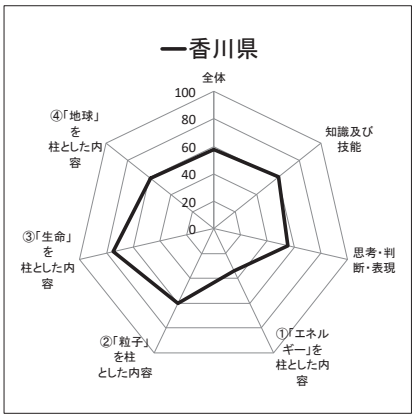
今後、各学校に求められる取組としては、円や扇形の学習を進める際に、まず半径が等しい円と扇形を比較する機会を設定し、扇形を円の一部として捉えることができるように指導する。次に中心角と弧の長さが比例することを確認した上で、半径が変化しても比例することを確認する。その際に実感を伴った理解になるよう、円を折ったり、切ったりしてできた扇形ともとの円を比べる活動を行うなど、観察や操作、実験を通して、扇形と円を関連付けて捉える場面を設定することが大切である。具体的には、円を直径、半径に沿って折り、折り目に線を書いて観察し、「折り目線によって区切られた図形について分かることは？」と問い、気付きを共有していく。さらに、中心角の大きさが異なるいくつかの扇形について考察する場面を設定し、「扇形と元の円にはどんな関係があるだろう？」と問い、中心角を様々な大きさに変えた扇形の弧の長さや面積を調べ、表や式に表すことを通して、それらが扇形の中心角と比例の関係にあることを、自ら見いだすことができるよう工夫することが大切である。この場面において、考察の対象として、表や式だけでなく実際に操作した具体物があることが、理解を高める上で重要である。

また、このような操作的、実験的な数学的活動の授業を行う際には、一部の生徒の気付きを共有して「中心角の大きさと弧の長さが比例している」等とまとめるのではなく、教室内の全ての生徒が数学的活動での気付きを話し合う対話的な学びの場の設定が大切である。

小学校理科

1　調査結果

項　　目		正答率（%）
全　　体		57.6
内容1	①知識・技能	60.6
	②思考・判断・表現	55.4
内容2	①「エネルギー」を柱とした内容	33.8
	②「粒子」を柱とした内容	60.4
	③「生命」を柱とした内容	74.9
	④「地球」を柱とした内容	58.7



2　問題別調査結果

○　内容１の正答率を見ると、「知識・技能」については 60.6%、「思考・判断・表現」については 55.4%で、どちらも課題がある。

○　内容２の正答率を見ると、「『生命』を柱とした内容」を除いた３領域で 65%を下回っており、課題がある。

○　「知識・技能」については、「検流計」や乾電池の「直列つなぎ」といった基本的な用語が定着しておらず、無解答率が約９%と高い。また、乾電池のつなぎ方と回路に流れる電流の関係の理解にも課題が見られる。「思考・判断・表現」については、予想や仮説をもとに、実験結果の見通しをもったり、結果を比較、関係付けて事象の要因を見いだしたりするといった問題解決において重要な見方・考え方に課題がある。

問題番号		問題の内容	内容1		内容2				正答率（%）	無解答率（%）
			①	②	①	②	③	④	香川県	香川県
1	(1)	実験器具の名称を理解しているかをみる。	●		●				12.9	9.4
	(2)	乾電池のつなぎ方と回路に流れる電流の関係を理解しているかをみる。		●	●				39.5	0.5
	(3)	回路に流れる電流が大きくなるときのつなぎ方について、用語を理解しているかをみる。	●		●				50.7	8.8
	(4)	並列つなぎの特徴やつなぎ方について理解しているかをみる。		●	●				32.1	1.2
2	(1)	条件に着目しながら、問題を解決するための実験方法を考えることができているかをみる。		●		●			63.6	0.3
	(2)	実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができているかをみる。		●		●			60.7	0.4
	(3)	条件に着目しながら、問題を解決するための実験方法を考えることができているかをみる。		●		●			58.9	0.7
3	(1)	閉じ込められた空気に外部から力を加えたときの体積変化について理解しているかをみる。	●			●			74.0	0.4
	(2)	予想や仮説をもとに、実験結果の見通しをもつことができているかをみる。		●		●			49.1	0.5
	(3)	実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができているかをみる。		●		●			55.2	0.9
	(4)	学習したことがらを、日常の事物・現象と結びつけて捉えられているかをみる。	●			●			61.1	0.7
4	(1)	示された情報をもとに、メダカの誕生を妨げる要因について捉えられているかをみる。	●				●		77.3	0.3
	(2)	メダカの雌雄の見分け方について理解しているかをみる。	●				●		77.1	0.3
	(3)	メダカの受精について理解しているかをみる。	●				●		66.1	0.7
	(4)	メダカの子どもが誕生直後にえさを食べない理由について理解しているかをみる。	●				●		79.0	2.5
5	(1)	資料を比較、関係付けながら、１日の気温の変化に関わる要因を見出すことができているかをみる。		●				●	36.3	0.6
	(2)	実験結果をもとに考察し、結果につながる要因を見出すことができているかをみる。		●				●	64.3	1.0
	(3)	実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができているかをみる。		●				●	63.7	1.1
6	(1)	天気の変化について調べる際、観察カードに記録しておくべき内容について理解しているかをみる。	●					●	46.8	0.9
	(2)	複数の結果をもとに考察し、分かったことを見出すことができているかをみる。		●				●	60.3	1.1
	(3)	複数の結果をもとに考察し、新たな予想や仮説をもつことができているかをみる。		●				●	81.0	1.0

３　調査結果から授業改善へ

予想や仮説をもとに、実験結果の見通しをもつことができるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

小学校第５学年　3（２）

学習指導要領における内容〔第5学年及び第6学年〕
思考力・判断力・表現力等　Ａ　物質・エネルギー　空気と水の性質　イ

りかさんは、次のような**【問題】**について、（１）の**【結果】**から、自分なりの**【予想】**を立てました。

【問題】注しゃ器に空気と水がいっしょに入っていたら、外から力を加えたときの体積はそれぞれどうなるのだろうか。

【りかさんの予想】外から力が加わると、とじこめた空気と水の体積は、どちらも変化すると思うよ。

りかさんは**【問題】**を解決するために、次のような**【実験方法】**で実験してみることにしました。

【実験方法】注しゃ器に空気と水をとじこめ、ピストンをおしたときの、ピストンの下がりぐあいと、水面の位置の変化について調べる。

（２）もし、<u>りかさんの予想が正しいとすると、</u>**【結果】**はどのようになりますか。正しいものを、次の**ア～エ**の中から**１つ**選びましょう。

ア　ピストンも水面の位置も変化しない。
イ　ピストンは下に下がり、水面の位置も下に移動する。
ウ　ピストンの位置は変化しないが、水面の位置は下に移動する。
エ　ピストンは下に下がるが、水面の位置は変化しない。

問題番号		反応率(%)	
3	（２）	正答	49.1
		誤答	50.4
		無答	0.5

【分析と具体的な指導】

正答率は 49.1%である。この実験は、教科書にも記載されており、ほとんどの児童が経験していると考えられる。本題では、単に知識として「閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないこと」を理解しているかを問うのではなく、りかさんの予想が正しいとすれば、実験の結果がどのようになるかを見通せるかを調査する問題として設定した。このため、りかさんの予想を事実とは異なる「空気も水も体積変化する」と設定したところ、前提となるりかさんの予想を基に結果を見通さず、本実験結果の知識として正解である**エ**を選択した児童が多かったと考えられる。

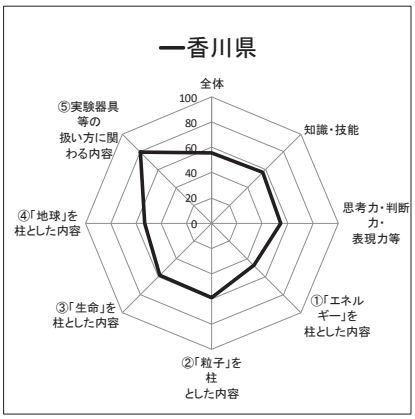
実際の授業では、注射器のピストンや水面の位置がどうなるか？といった結果のみに注目した展開にならないよう注意する必要がある。まずは、空気と水の体積変化について、前時の実験結果を振り返り、根拠に基づいた予想をもたせるようにする。次に、自分の予想が正しいと仮定し、「結果の見通し」をもたせるようにする。その際、自分とは異なる予想とその根拠、その予想に対する結果の見通しを互いに比較、検証し合う活動を設定することが重要である。互いの予想に相違点が無い場合には、必要に応じて個々の考えをゆさぶる発問や教材の提示といった働きかけも効果的である。例えば、水と空気が半分ずつ入ったペットボトルを用意し、水が入った部分を凹ませる（実際は体積変化ではなく変形）ことで、予想や検証方法の妥当性を検証し合う糸口になると考えられる。実際に実験を行い、空気は体積変化するが水は体積変化しないことを確かめた後は、さらに批判的思考を促し、本題で示したような空気と水の比率を変えた追加実験へとつなぎ、より妥当な結論へと科学的に高めていくようにする。

今後、各学校には、個々の予想や仮説、その根拠、検証（実験）方法等を互いに検討し合い、児童自らが練り上げる時間と場を設定することが求められる。ICT を効果的に活用すれば、情報の共有や比較の効率化を図ることができる。教師による検証（実験）方法の提示や指示を待つ姿勢ではなく、児童自らが検証（実験）方法を検討する活動を大切にしたい。この見通しは、実験後に獲得した結果と自分の予想や仮説とを照合し、結論を導出するまでの思考を支える視点となる。また、新たな問題発見の鍵ともなるので、単元を通して、できるだけ自分の言葉で語らせ、対話的な学びを充実させることが重要である。

中学校理科

1　調査結果

項　　目		正答率（%）
全　　体		55.9
内容1	①知識・技能	56.8
	②思考・判断・表現	54.8
内容2	①「エネルギー」を柱とした内容	47.3
	②「粒子」を柱とした内容	59.2
	③「生命」を柱とした内容	58.6
	④「地球」を柱とした内容	52.9
	⑤実験器具等の扱い方に関わる内容	79.7



2　問題別調査結果

○　内容１の正答率を見ると、「知識・技能」については 56.8%、「思考・判断・表現」については 54.8%で、どちらも課題がある。

○　内容２の正答率を見ると、「実験器具等の扱い方に関わる内容」を除いた４領域で 65%を下回っており、課題がある。

○　「『エネルギー』を柱とした内容」については、正答率が 47.3%で、特に、凸レンズによってできる実像の作図や実験結果と関連付けて考察する問題に課題が見られる。「『生命』を柱とした内容」については、令和３年度と比較して正答率が低くなった。「『粒子』を柱とした内容」については、化学変化によってできた物質を化学式で表す問題や、日常生活における化学変化について問う問題で正答率が低くなっており、学習内容の定着に課題が見られる。

問題番号			問題の内容	内容1		内容2					正答率（%）	無解答率（%）
				①	②	①	②	③	④	⑤	香川県	香川県
1	(1)		発生した気体が二酸化炭素であることを確かめる方法を理解しているかをみる。	●			●				90.1	0.2
	(2)		加熱することでいくつかの物質に分かれる化学変化の名称を答えることができるかをみる。	●			●				58.6	9.7
	(3)		いくつかの反応の中から、熱分解しているものを選ぶことができるかをみる。		●		●				60.2	0.5
	(4)		ホットケーキのあなは、二酸化炭素が発生した気泡であることを理解しているかをみる。		●		●				74.3	0.4
2	(1)		水が発生したことを見出し、その化学式を書くことができるかをみる。	●			●				37.5	10.0
	(2)		水素と酸素が化合する時の化学変化をモデルで正しく理解しているかをみる。	●			●				51.7	0.6
	(3)		閉じた系での化学変化の前後では原子の数が変化しないことを理解しているかをみる。		●		●				59.1	0.6
3	(1)	①②	鉄粉と酸素が結びつくことで熱エネルギーが発生していることを理解しているかどうかをみる。	●			●				31.7	0.0
	(2)		温度が上昇していく化学変化の名称を理解しているかどうかをみる。	●			●				54.3	11.5
	(3)		発熱反応を止める方法が、酸素とふれるのを防ぐことであることを理解しているかどうかをみる。		●		●				74.2	0.6
4	(1)		凸レンズを進む光の道筋を理解し、作図することができるかどうかをみる。	●		●					24.3	10.0
	(2)		できる像の位置や大きさについて結果から規則性を見いだすことができるかをみる。		●	●					28.9	1.1
	(3)		凸レンズを用いてできる実像の向きについて、理解しているかをみる。	●		●					59.0	1.3
	(4)		像の位置や大きさについて、実験結果と関連付けて推察することができるかをみる。		●	●					24.1	1.8
5	1		音の高低、振動数の関係について、コンピュータの波形から考察することができるかをみる。		●	●					77.1	0.7
	2		コンピュータの波形から、変える条件について推察することができるかをみる。		●	●					71.9	0.9
	3		同じ音の高さになる試験管について見通しを立てて考えることができるかをみる。		●	●					45.3	1.6
6	(1)		蒸散のしくみについて理解しているかをみる。	●				●			73.5	11.1
	(2)		植物の気孔から放出される気体について理解しているかをみる。	●				●			70.6	9.5
	(3)		蒸散量を比較するための観察を行う際に必要な条件制御が理解できているかをみる。		●			●			23.0	1.0
	(4)		水の減少量の結果を分析解釈し、葉の裏側からの蒸散量を求めているかをみる。		●			●			51.6	1.8
7	(1)		赤血球の働きを理解しているかどうかをみる。	●				●			82.8	0.9
	(2)		顕微鏡の操作方法を正しく理解しているかどうかをみる。	●						●	79.7	0.9
	(3)		組織液について理解しているかどうかをみる。	●				●			43.1	18.5
8	(1)		刺激とその刺激を受け取る感覚器官のはたらきを理解しているかをみる。	●				●			90.7	0.8
	(2)		神経の信号の伝わるしくみを説明できるかをみる。	●				●			41.6	1.3
	(3)	②③	反射がおこる理由について説明することができるかをみる。	●				●			21.5	0.0
	(4)		反射のしくみから反射の例を説明することができるかをみる。	●				●			87.8	1.1
9	(1)		結果を分析解釈して、火山の形とマグマの性質について考察することができるかをみる。		●				●		62.6	14.2
	(2)		鉱物の特徴と鉱物の名称を理解できているかをみる。	●					●		56.2	1.6
	(3)		結果を分析解釈し、火山灰とマグマの性質について推論することができるかをみる。		●				●		65.7	1.7
10	(1)		地震によって発生する波とその波によって引き起こされる揺れについて理解しているかをみる。	●					●		53.0	15.6
	(2)	名称 速さ	地震によって発生する波の特徴を理解し、グラフから伝わる速さを求めることができるかをみる。	●					●		29.0	11.6
	(3)		グラフから震源距離を求めることができるかをみる。		●				●		46.2	16.3
	(4)		マグニチュードと震度や震源距離との関係について理解できているかをみる。		●				●		57.4	1.9

３　調査結果から授業改善へ

凸レンズによってできる像の規則性と身の回りの現象を関連付けて説明することができるようにする

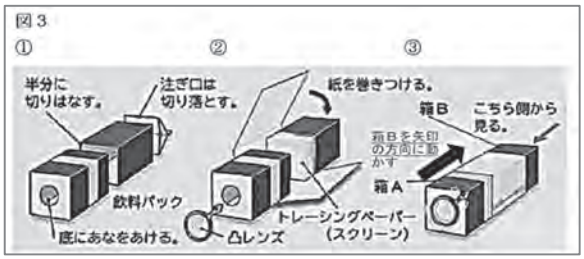
【授業改善のヒントとなる問題の概要】

学習指導要領における内容〔第１学年〕
第１分野（1）身近な物理現象（ア）

中学校第２学年　4（4）

【実験２】凸レンズを使って簡易カメラをつくり、像を映す
図３のような簡易カメラをつくり、図４のような景色に簡易カメラを向けて、凸レンズとトレーシングペーパー（スクリーン）を最も近づけた状態から箱Ｂを矢印の方向に動かし、スクリーンにはっきりとした像を映した。

（４）図３の簡易カメラを使って、さらに遠くの景色の像をスクリーンにはっきり映すためには、どのようにすればよいですか。また、そのときスクリーンに映った像の大きさはどのようになりますか。適切なものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。



ア　スクリーンの位置を凸レンズに近づけると、はじめより小さな像がはっきり映った
イ　スクリーンの位置を凸レンズに近づけると、はじめより大きな像がはっきり映った
ウ　スクリーンの位置を凸レンズから遠ざけると、はじめより小さな像がはっきり映った
エ　スクリーンの位置を凸レンズから遠ざけると、はじめより大きな像がはっきり映った

問題番号		反応率（%）	
4	(4)	正答	24.1
		誤答	74.1
		無答	1.8

【分析と具体的な指導】

正答率は 24.1%である。【実験１】の結果から、物体の位置が変化したときの像ができる位置と像の大きさの変化について分析、解釈することや、【実験１】を通して得られた知識を【実験２】の現象と関連付けて考えることができなかった生徒が多かったと考えられる。

指導に当たっては、日常生活における現象について、実験を通して見いだした規則性と関連付けて説明する学習場面の設定と支援が考えられる。具体的には、次のようなことが考えられる。

課題の把握…デジタルカメラで見える像の大きさを変化させたとき、凸レンズが前後に動くことに気付かせ、自ら問題を見いだし、課題を設定することができるようにする。
課題の探究…デジタルカメラで見える像の大きさがどのような仕組みで変化するのか、予想させる。デジタルカメラのレンズが前後に動き、凸レンズと物体、凸レンズとスクリーン（撮像素子）との距離が変化することに着目させることで、見通しをもたせる。
課題の解決…デジタルカメラで見える像について、物体と凸レンズとの距離、スクリーン（撮像素子）と凸レンズとの距離、像の大きさに着目し、【実験１】から見いだした規則性と関連付けて説明する活動を設定する。その際、像を小さくしたときと大きくしたときを比較して説明するよう助言する。個に応じた指導として、ICT を活用し、【実験１】で見いだした規則性についての表や図を提示するなどの支援をしたり、凸レンズを進む光の道筋を可視化しながら現象を説明するよう助言したりする。

今後、各学校に求められる取組としては、次のようなことが考えられる。

・生徒が問題を見いだし、主体的に考える姿勢をもつことができるような働きかけ

生活の中で見かける現象の中で、生徒が驚きや不思議さ、ずれを感じることができるような働きかけをする。生徒が主体となって「問い」を生み出し、見いだした「問い」から学習課題を設定して探究することで、主体的に課題解決に取り組めるようにする。

・課題に正対した考察と根拠を明確にした説明を行うことができるようにするための支援や工夫

観察、実験の結果を分析して解釈する活動を行う前に、課題で明らかにしようとしていることは何か立ち返るように助言する。また、根拠をもとに考察する活動を繰り返すことで、課題に正対した考察ができるようにする。

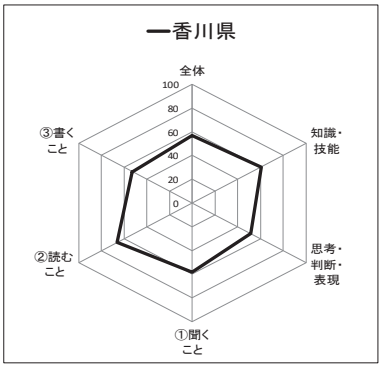
・日常生活や社会との関連を図り、理科を学ぶ意義や有用性を実感できる探究活動の設定

身に付けた知識及び技能と身近な現象を関連付けて探究する学習場面を繰り返し設定し、日常における現象を学んだ知識と関連付けて説明する活動を行うことで、日常生活との関連を図り、理科を学ぶ意義や有用性を実感できるようにする。

中学校英語

1　調査結果

項　　目		正答率（%）
全　　体		56.7
内容1	①知識・技能	60.6
	②思考・判断・表現	51.3
内容2	①聞くこと	58.3
	②読むこと	66.1
	③書くこと	52.7



2　問題別調査結果

○　内容１の正答率を見ると、「知識・技能」については 60.6%、「思考・判断・表現」については 51.3%で、どちらも課題がある。
○　内容２の正答率を見ると、「聞くこと」と「書くこと」は、どちらも 60%を下回っており、課題がある。
○　「知識・技能」については、特定の言語材料を正しく並びかえることに課題が見られる。「思考・判断・表現」については、まとまりのある文章を読み、それに対して自分の考えなどを表現することに課題が見られる。

問題番号		問題の内容	内容1		内容2			正答率（%）	無解答率（%）
			①	②	①	②	③	香川県	香川県
1	(1)	英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●		●			75.9	0.6
	(2)	英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●		●			69.2	1.3
	(3)	英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●		●			48.3	0.7
	(4)	英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●		●			81.3	0.7
	(5)	英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●		●			28.4	0.5
2	(1)	英語での対話を聞いて、簡単な英語で適切に応じられるかをみる。		●	●			36.7	0.6
	(2)	英語での対話を聞いて、簡単な英語で適切に応じられるかをみる。		●	●			49.9	0.6
	(3)	英語での対話を聞いて、簡単な英語で適切に応じられるかをみる。		●	●			46.0	0.7
	(4)	英語での対話を聞いて、簡単な英語で適切に応じられるかをみる。		●	●			58.1	0.8
3		まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができるかをみる。		●	●			89.0	0.8
4	(1)	文脈に応じて主に特定の言語材料を使って正しく文の一部を書くことができるかをみる。	●				●	79.0	5.9
	(2)	文脈に応じて主に特定の言語材料を使って正しく文の一部を書くことができるかをみる。	●				●	56.7	8.3
5	(1)	文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●				●	80.8	0.3
	(2)	文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●				●	80.2	0.6
	(3)	文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●				●	76.6	0.6
	(4)	文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●				●	85.6	0.6
	(5)	文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●				●	66.4	0.8
6	(1)	対話の内容や場面に合った表現を、正しく選択できるかをみる。	●				●	42.1	0.7
	(2)	対話の内容や場面に合った表現を、正しく選択できるかをみる。	●				●	71.5	0.7
	(3)	対話の内容や場面に合った表現を、正しく選択できるかをみる。	●				●	63.6	1.2
7	(1)	場面に応じて特定の言語材料を正しく並べかえられるかをみる。	●				●	13.1	7.4
	(2)	場面に応じて特定の言語材料を正しく並べかえられるかをみる。	●				●	41.9	5.8
	(3)	場面に応じて特定の言語材料を正しく並べかえられるかをみる。	●				●	29.4	7.1
8	(1)	日常的な話題について、電子メールを読み、必要な情報を読み取ることができるかをみる。		●		●		81.4	8.5
	(2)	英文の要点を捉え、目的や場面、状況に応じて、自分の考えを相手に正しく伝える文を書くことができるかをみる。		●			●	15.8	33.8
9	(1)	初歩的な英語を用いて、対話の流れに沿った文を書くことができるかをみる。		●			●	20.9	24.3
	(2)	初歩的な英語を用いて、対話の流れに沿った文を書くことができるかをみる。		●			●	19.3	27.9
10		日常的な話題について、掲示物から、自分が必要とする情報を読み取ることができるかをみる。		●		●		62.3	1.6
11	(1)	まとまりのある英文を読み、必要な情報を読み取ることができるかをみる。		●		●		65.1	1.6
	(2)	まとまりのある英文を読み、必要な情報を読み取ることができるかをみる。		●		●		59.1	2.3
12		まとまりのある英文を読み、話のあらすじを理解することができるかをみる。		●		●		62.8	2.4

3　調査結果から授業改善へ

場面に応じて、特定の言語材料を正しく並べかえることができるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】　中学校第２学年　7 (1)

学習指導要領における内容
〔知識及び技能〕
（1）英語の特徴やきまりに関する事項
エ　文、文構造及び文法事項

次の(1)～(3)のような場面では、英語でどのように言いますか。それぞれ（　　）内の語を並べかえて適切な英文を書きなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で示しています。

(1)　学校のパソコンは新しいと言いたいとき
（ the,　in,　are,　our,　school,　computers ）new.

問題番号		県反応率(%)		【解答類型】
7	(1)	①正答	13.1	①正答
		②誤答１	16.1	②school の直後に computers がある
		⑧誤答２	63.4	⑧その他
		⑨無答	7.4	⑨無答

【分析と具体的な指導】

正答率は 13.1%である。誤答については、school の直後に computers を書いている生徒が 16.1%、その他の誤答が 63.4%である。設問文は、[主語＋動詞]の最も単純な文構造に補語が加わった文であるが、誤答が約８割に及ぶことから、名詞（The computers）を後ろから修飾する（in our school）文の構造を十分に理解していないことがうかがえる。

このような前置詞を用いた「後置修飾」は、今後学習する、to 不定詞、現在分詞や過去分詞、関係代名詞等にも用いられる重要な学習内容である。令和３年度調査においても“The students in this school are very nice.”という文の“The ～ are”までの語句を並べかえる問題を出題したが、正答率は 11.5%であった。意味のまとまりごとに英訳をした後で語順を考えさせたり、教科書本文等を用いて“Japanese people”と“people in Japan”の意味の違いを問うたりするなど、語順と意味の関係性への気付きを促すことが重要である。

今後、各学校に求められる取組としては、前置詞を用いた「後置修飾」を意識しながら読んだり聞いたりする活動を増やすことが必要である。読む活動においては、日常的に意味のまとまりを捉えながら読むようにすることが有効である。インプットの機会を十分に確保した上で、文構造を意識したアウトプットの活動を継続的に実施し、定着を図ることが求められる。

英文の要点を捉え、目的や場面、状況に応じて、自分の考えを相手に正しく伝える文を書くことができるようにする

中学校第２学年　8 (2)

学習指導要領における内容〔思考力、判断力、表現力等〕
(3)言語活動及び言語の働きに関する事項　カ　書くこと

Hi, host brother or sister.
I'm Ben.　I'm 13 years old.
I like ice hockey.　I want to play ice hockey with Japanese students in Kagawa.
I like cooking, too.　I make my own lunch and take it to school every day.　Can I make my lunch in Japan, too?
Do you take the bus to school?　Here in Vancouver, my mother takes me to school by car every day.　How can we go to school?
I'm going to arrive at Takamatsu Airport at nine a.m. on June 10.
See you then.
Benjamin Atwood

問い　ベンにメールを返信します。次の条件に従い、下のメールの書き出しと結びの間に、あなたのアドバイスを２文の英文で書きなさい。
条件①　ベンが知りたいと思っていることについて、アドバイスすること
条件②　「してもよい」「してはいけない」「しなければならない」「しなくてよい」のうち、どれかをはっきりさせてアドバイスすること

【メール文】
Hi, Ben.
Thank you for your e-mail.
I have some advice for you.
（あなたのアドバイス）
See you at Takamatsu Airport.

問題番号		県反応率(%)		【解答類型】
8	(2)	①正答	15.8	① 完答
		②誤答１	18.8	② １文のみ正答
		③誤答２	0.4	③ ２文とも助動詞の直後が原形でない
		⑧誤答３	31.3	⑧ その他
		⑨無答	33.8	⑨ 無答

【分析と具体的な指導】

正答率は 15.8%である。無解答率は全問題の中で最も高く 33.8%である。まとまりのある文章から要点を読み取ること、事実や自分の考えを整理して相手に伝わる文を書くことに課題が見られる。

生徒のつまずきが読むことに見られる場合は、初見のまとまりのある文章を読む機会を増やすことが有効である。書くことにつまずきが見られる場合、助動詞の基本的な知識を再確認し、それらを用いて自己表現をするような活動を積極的に取り入れたい。

今後、各学校に求められる取組としては、読む活動において、逐語的な読み方ではなく、書き手の意図や自分に必要な情報等を捉えさせることが求められる。書く力を育成するためには、聞く、読む、話す活動を通して、基本的な語彙や表現に親しむ機会を多く与え、書く活動につなげることが大切である。生徒が意欲的に読んだり書いたりできるように、身近なテーマや関心の高い話題を扱うことが効果的である。

「学びの質」を高めるアプローチ

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、令和３（2021）年１月 26 日に中央教育審議会答申が示されました。ここでは、急激に変化する時代の中で育むべき資質能力を新学習指導要領の着実な実施と ICT の活用によって育成することとし、2020 年代を通じて実現すべき学校教育の姿として「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことが求められています。

「個別最適な学び」は、個に応じた指導を学習者の視点から整理した概念です。児童生徒一人一人の特性や学習進度等に応じて、指導方法・教材や学習時間等を柔軟に設定する「指導の個別化」と、児童生徒の興味・関心に応じ、一人一人に適した学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、児童生徒自身が学習を最適となるよう調整する「学習の個性化」に整理されました。

「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、さらにその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していく授業づくりが大切です。

一体的に充実させる授業づくりのポイント

○　学びがいがあり、能動的な学習に向かう課題を設定する

適度な困難さが設定された課題や児童生徒の「当たり前」が揺さぶられる課題など、学びがいがあり、能動的な学習に向かう課題の設定が重要です。そして、共通の課題を解決するために、解決の道筋は児童生徒によって異なると考えればよいでしょう。

○　対話を活性化させる

「協働的な学び」の中で個を生かすためには、対話的であることが必要です。特に、他者との話合いにおいては、互いの考えを説明し合うだけでなく、そこからさらに質問をしたり、質問を受けて見直したりして考えを深めていくことが大切です。そのためにも、話合いの相手、タイミング、何について話し合うのか、また、話し合うことで考えを一つにまとめるのか、考えを広げるのか、といったことを目的に照らして明確にしておくことが必要です。

○　児童生徒自身が自らの学びを振り返る

児童生徒が主体的に学習に取り組み、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させて課題解決に向かうには、自らの学びを振り返って頭の中を整理したり、次に何を学習しなければならないのか見いだしたりすることが必要です。振り返りの習慣を付けていきましょう。

○　ICT を効果的に活用する

対話を深める場面、自己の変容を振り返る場面などで児童生徒が ICT を効果的に活用できるようにしましょう。また、学習における児童生徒の苦手や困難を ICT によって補うこともできますから、児童生徒が自分に合った学習の方法を選択できるような環境づくりも必要です。「個別最適な学び」を充実させることが「協働的な学び」を充実させることにつながります。

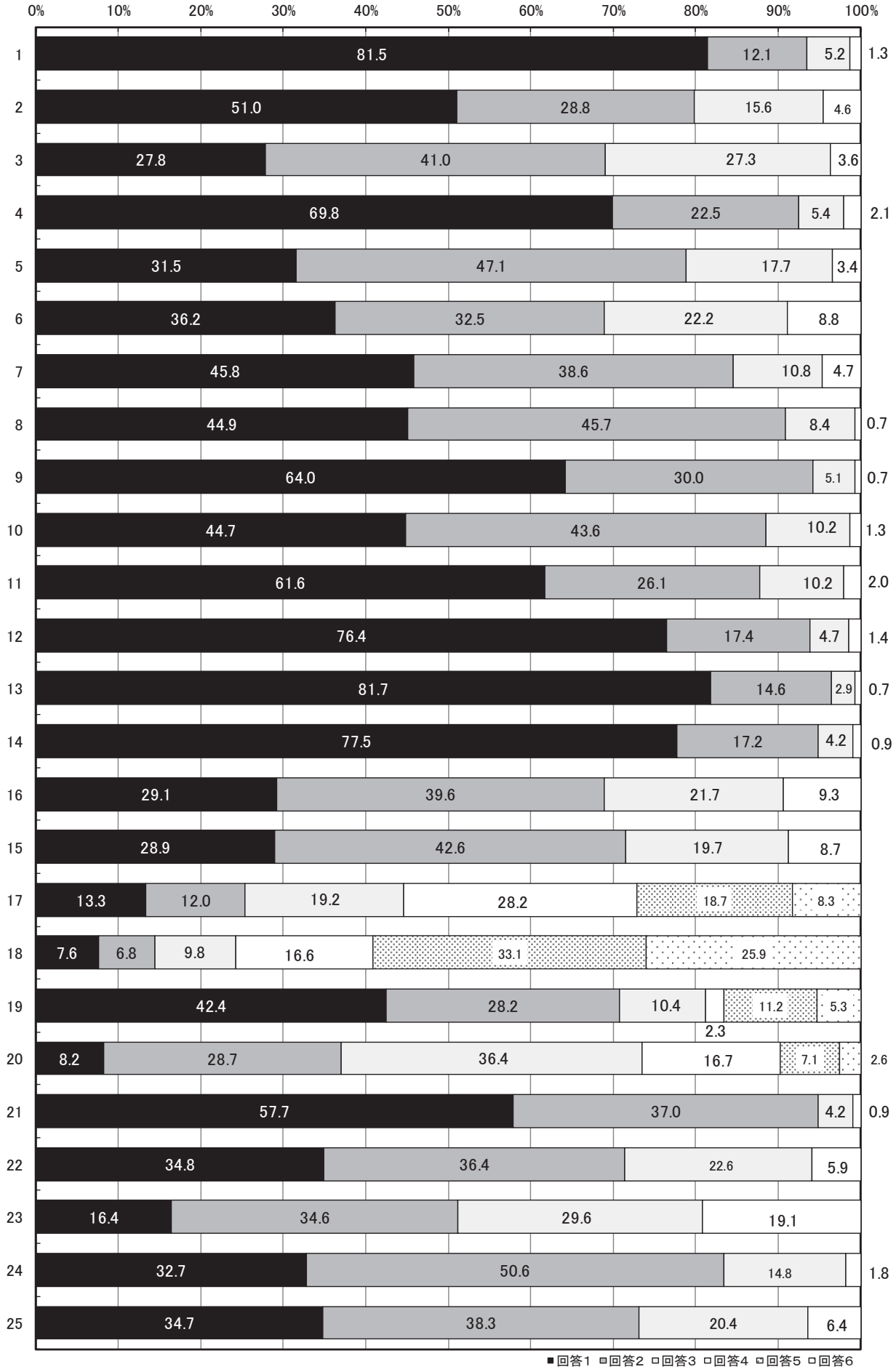
例えば、文字を書くことが苦手な児童生徒が、文字をキーボードで入力したり、黒板を写真撮影して近くで見たりすることで、ノートをとることができるようになることがあります。他にも、様々な苦手や困難を工夫次第で補うことができるでしょう。学級の中で「特別に自分だけ使う」というのは使いにくく感じることがありますが、１人１台端末を文房具として自由に使える環境にしておくことで、児童生徒が自分に合った学習方法を選択し、力を発揮することにつながります。

Ⅳ　質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙）

児童生徒質問紙調査結果一覧
小学校調査結果①

番号	全国関連	基本計画指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6
1			1 生活	朝食を毎日食べていますか。	毎日食べている	食べる日の方が多い	食べない日の方が多い	まったく食べていない		
2				家の人（兄弟姉妹はふくみません。）と学校でのできごとについて話をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	していない		
3				家の手伝いをしていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
4			2 自分自身	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	.ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
5	11			むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。	している	どちらかといえばしている	どちらかといえばしていない	していない		
6	7	◆		自分には、よいところがあると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
7	9	(◆)		将来の夢や目標をもっていますか。	はっきりもっている	はっきりではないがもっている	あまりもっていない	まったくもっていない		
8			3 自己有用感	学校のきまりを守っていますか。	守っている	どちらかといえば守っている	あまり守っていない	守っていない		
9				係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	果たしている	どちらかといえば果たしている	あまり果たしていない	果たしていない		
10	12			人が困っているときは、進んで助けていますか。	助けている	どちらかといえば助けている	あまり助けていない	まったく助けていない		
11				近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
12		◆		人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
13	13	◆		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
14	15			人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
16		◆		今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
15	24 25		4 メディア	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
17	5			普段(ふだん)（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったく利用していない
18	29			普段(ふだん)（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったく利用していない
19	(4)	◆		携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。	守っている	どちらかといえば守っている	あまり守っていない	守っていない	ルールを決めていない	携帯電話やスマートフォンなどを持っていない
20				普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。	10時間以上	9時間以上、10時間より少ない	8時間以上、9時間より少ない	7時間以上、8時間より少ない	6時間以上、7時間より少ない	6時間より少ない
21			5 勉強・授業	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	していない		
22				授業では、ノートをていねいに書いていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	していない		
23	49 53 61	(◆)		勉強は好きですか。	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえばきらい	きらい		
24				私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。	集中している	どちらかといえば集中している	あまり集中していない	まったく集中していない		
25				授業は楽しいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		

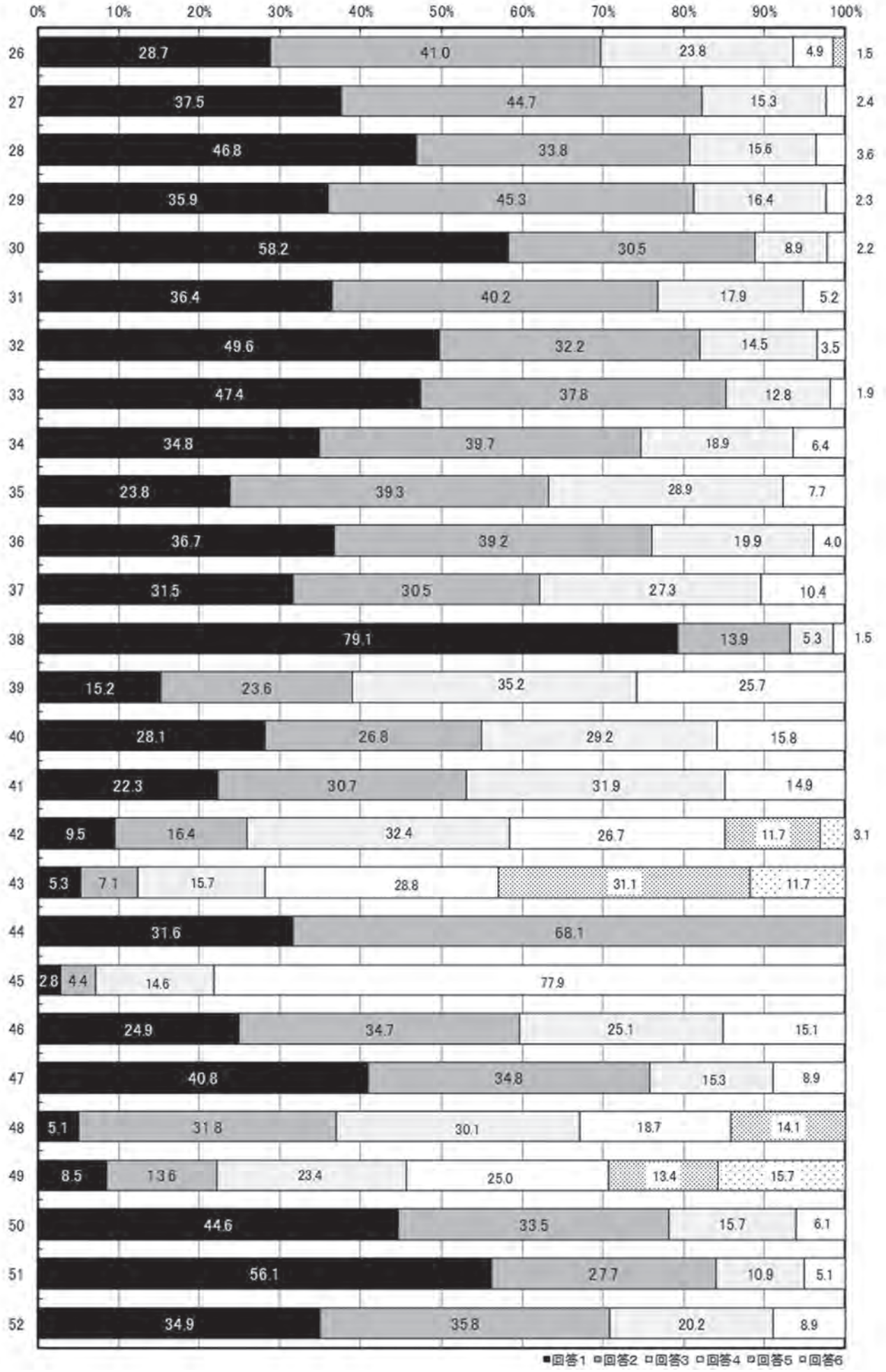
※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



小学校調査結果②

番号	全国関連	基本計画指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6
26	51 55 63	◆	5 勉強・授業	授業の内容がどの程度分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分かることと分からないことが半分ずつある	分からないことが多い	ほとんど分からない	
27	58			分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない		
28				分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
29	(45)			授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない		
30				授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
31	(44)			授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	まったく思わない		
32				普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
33				普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
34	32			普段の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか。	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満		
35	38			授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
36				学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	できている	どちらかといえばできている	あまりできていない	まったくできていない		
37	20		6 家庭学習	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
38				家で学校の宿題をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
39				家で学校の授業の予習をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
40				家で学校の授業の復習をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
41				テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
42				学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。 （宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	まったくしていない
43				土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。 （宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったくしていない
44			7 家庭環境	家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族のお世話のことを指します。）	いる	いない				
45				家族のお世話をしていることで、学校を休んだり、勉強や遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。	よくある	ある	あまりない	ない		
46	(14)			悩みや困ったことがあったとき、だれかに相談していますか。	よくしている	している	あまりしていない	していない		
47		◆	8 読書	読書は好きですか。	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえばきらい	きらい		
48		◆		本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。	だいたい週に4回以上行く	週に1～3回程度行く	月に1～3回程度行く	年に数回程度行く	まったく行かない	
49	23			学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、読書をしますか。	2時間以上	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	10分以上、30分より少ない	10分より少ない	まったくしていない
50	16	◆	9 学校生活	学校に行くのは楽しいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
51				学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
52				学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	できる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できない		

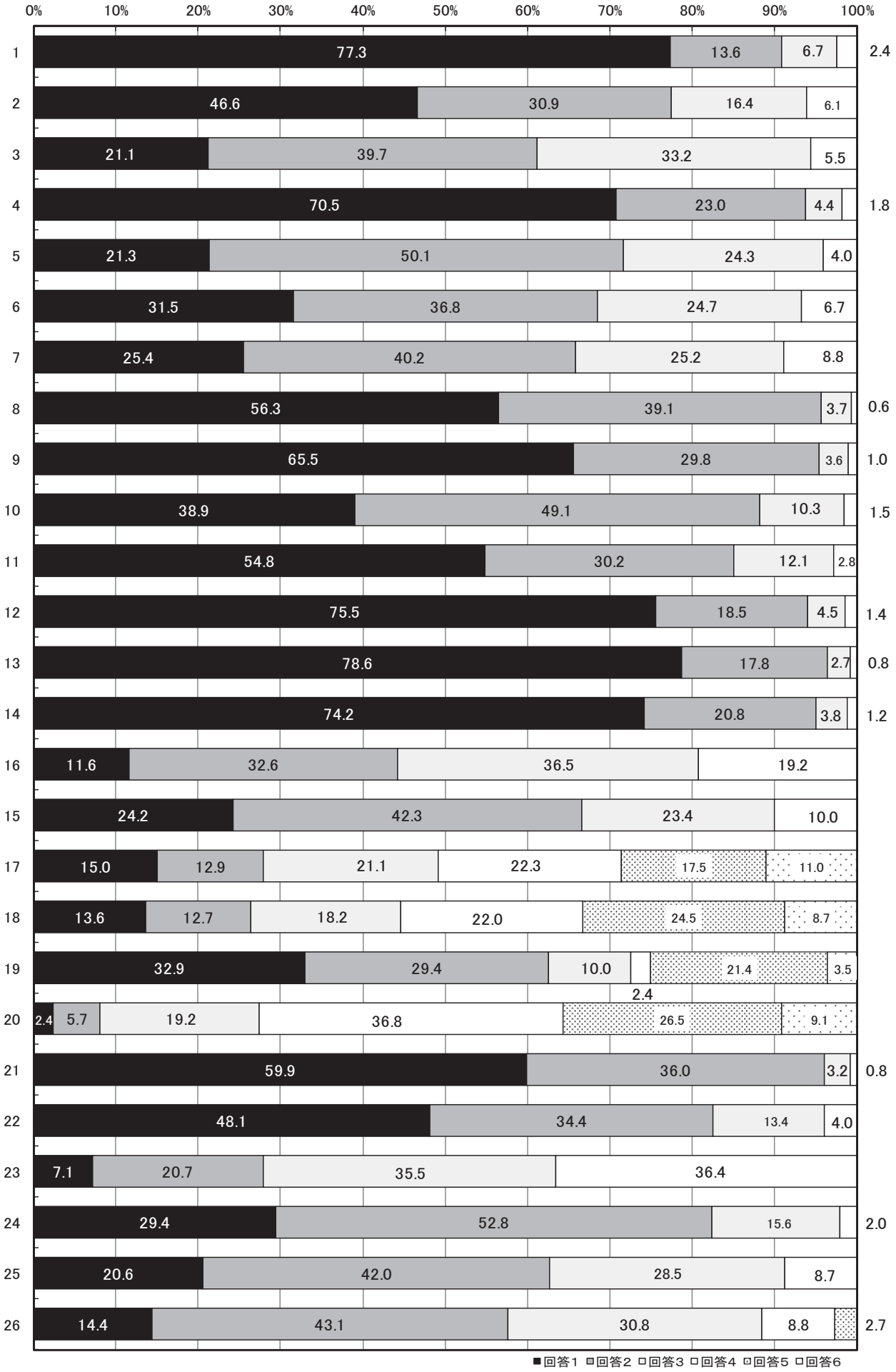
※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



中学校調査結果①

番号	全国関連	基本計画指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6
1		(◆)	1 生活	朝食を毎日食べていますか。	毎日食べている	食べる日の方が多い	食べない日の方が多い	まったく食べていない		
2				家の人（兄弟姉妹はふくみません。）と学校でのできごとについて話をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	していない		
3				家の手伝いをしていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
4			2 自分自身	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
5	11			むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。	している	どちらかといえばしている	どちらかといえばしていない	していない		
6	7	◆		自分には、よいところがあると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
7	9	(◆)		将来の夢や目標をもっていますか。	はっきりもっている	はっきりではないがもっている	あまりもっていない	まったくもっていない		
8			3 自己有用感	学校のきまりを守っていますか。	守っている	どちらかといえば守っている	あまり守っていない	守っていない		
9				係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	果たしている	どちらかといえば果たしている	あまり果たしていない	果たしていない		
10	12			人が困っているときは、進んで助けていますか。	助けている	どちらかといえば助けている	あまり助けていない	まったく助けていない		
11				近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
12		◆		人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
13	13	◆		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
14	15			人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
16		◆		今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
15	24 25		4 メディア	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
17	5			普段(ふだん)（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったく利用していない
18	6			普段(ふだん)（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったく利用していない
19	(4)	◆		携帯電話やスマートフォン、ゲーム機(き)などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。	守っている	どちらかといえば守っている	あまり守っていない	守っていない	ルールを決めていない	携帯電話やスマートフォンなどを持っていない
20				普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。	10時間以上	9時間以上、10時間より少ない	8時間以上、9時間より少ない	7時間以上、8時間より少ない	6時間以上、7時間より少ない	6時間より少ない
21			5 勉強・授業	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	していない		
22				授業では、ノートをていねいに書いていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	していない		
23	49 53 61	◆		勉強は好きですか。	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえばきらい	きらい		
24				私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。	集中している	どちらかといえば集中している	あまり集中していない	まったく集中していない		
25				授業は楽しいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
26	51 55 63	◆		授業の内容がどの程度分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分かることと分からないことが半分ずつある	分からないことが多い	ほとんど分からない	

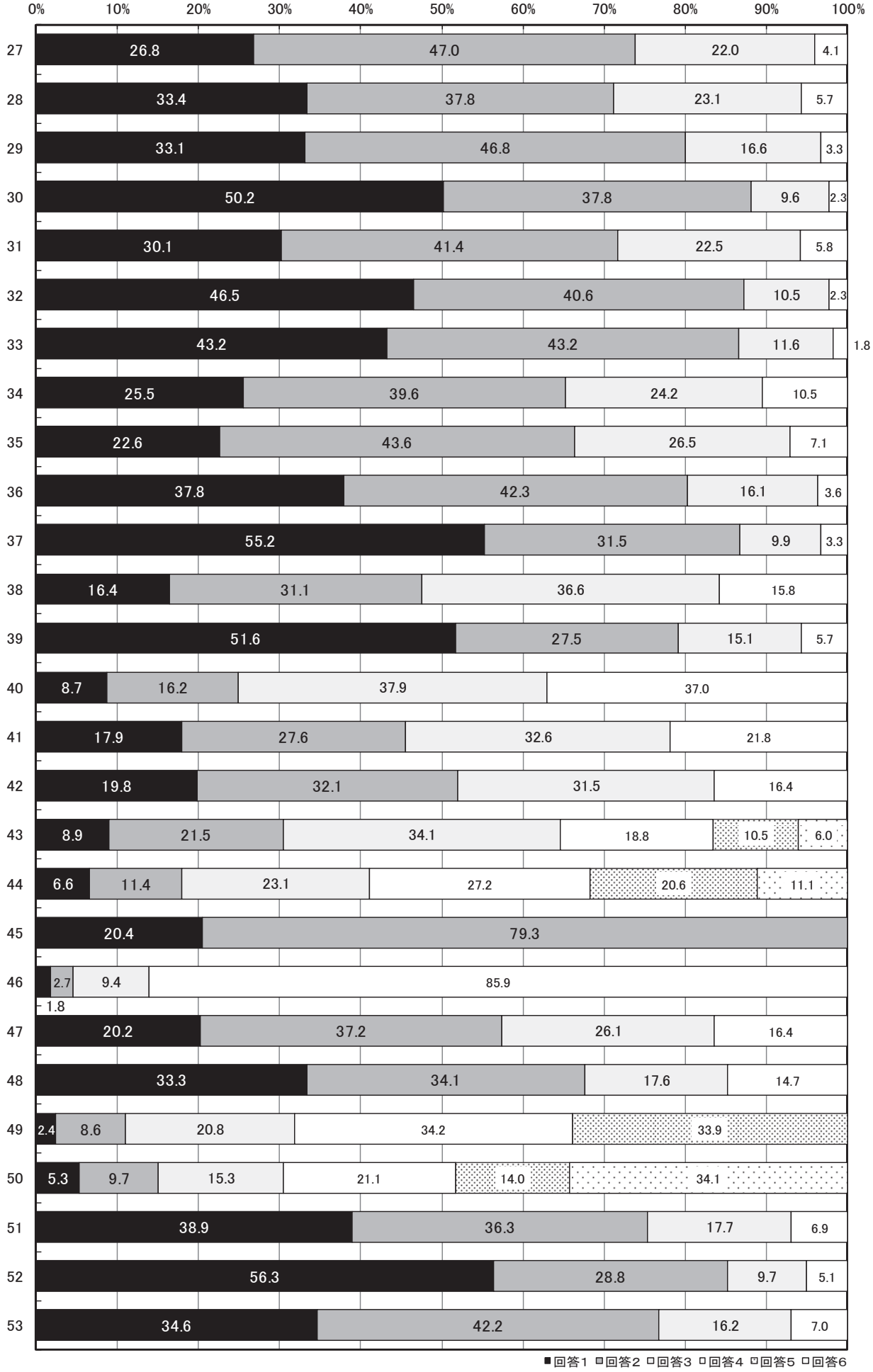
※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



中学校調査結果②

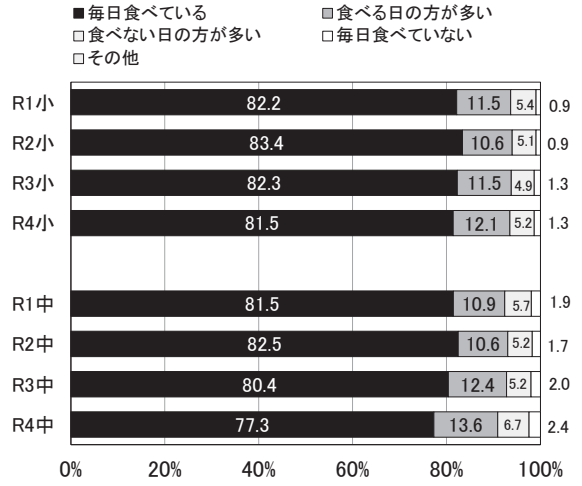
番号	全国関連	基本計画指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6
27	58		5 勉強・授業	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない		
28				分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
29	(45)			授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない		
30				授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
31	(44)			授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
32				普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
33				普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
34	32			普段の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか。	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満		
35	38			授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
36				学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	できている	どちらかといえばできている	あまりできていない	まったくできていない		
37				英語の授業では、生徒同士で英語で応答したり、意見を述べたりする活動が行われていたと思いますか。	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない	当てはまらない		
38	20		6 家庭学習	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
39				家で学校の宿題をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
40				家で学校の授業の予習(よしゅう)をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
41				家で学校の授業の復習をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
42				テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
43				学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。 （宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	まったくしていない
44				土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。 （宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったくしていない
45			7 家庭環境	家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族のお世話のことを指します。）	いる	いない				
46				家族のお世話をしていることで、学校を休んだり、勉強や部活、遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。	よくある	ある	あまりない	ない		
47	(14)			悩みや困ったことがあったとき、だれかに相談していますか。	よくしている	している	あまりしていない	していない		
48		◆	8 読書	読書は好きですか。	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえばきらい	きらい		
49		◆		本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。	だいたい週に4回以上行く	週に1～3回程度行く	月に1～3回程度行く	年に数回程度行く	まったく行かない	
50	23			学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、読書をしますか。	2時間以上	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	10分以上、30分より少ない	10分より少ない	まったくしていない
51	16	◆	9 学校生活	学校に行くのは楽しいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
52				学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
53				学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	できる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できない		

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。

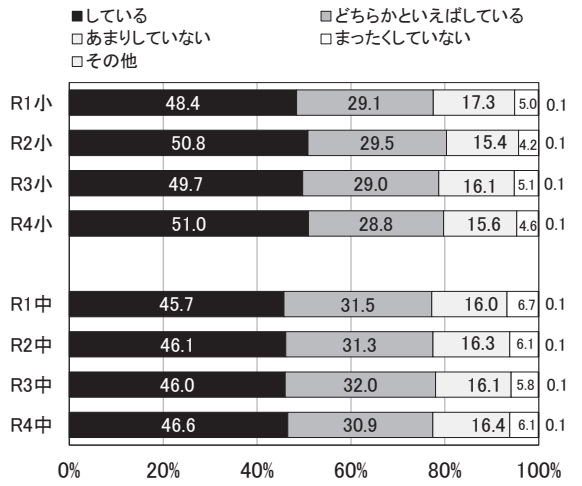


1 生活

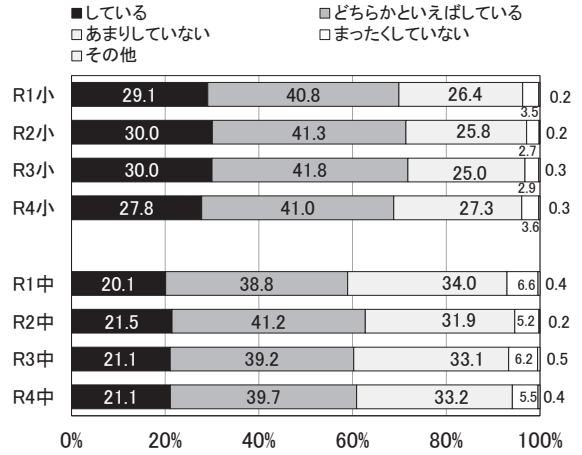
1/1　朝食を毎日食べていますか。



2/2　家の人（兄弟姉妹はふくみません。）と学校でのできごとについて話をしていますか。

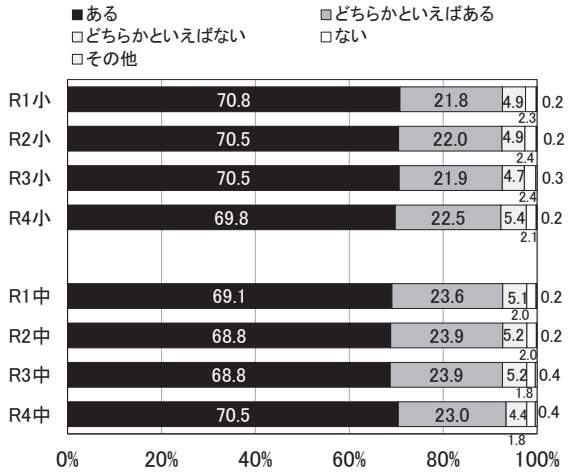


3/3　家の手伝いをしていますか。

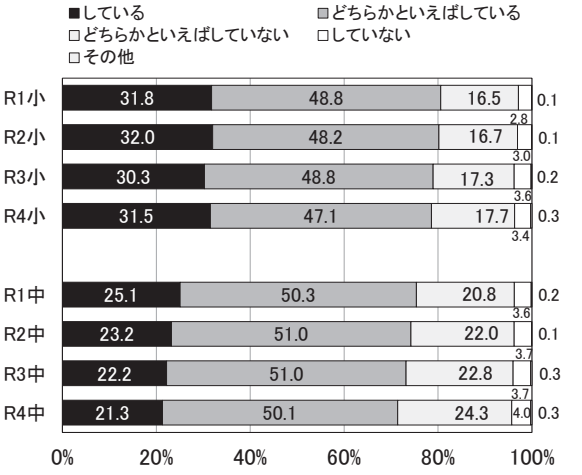


2 自分自身

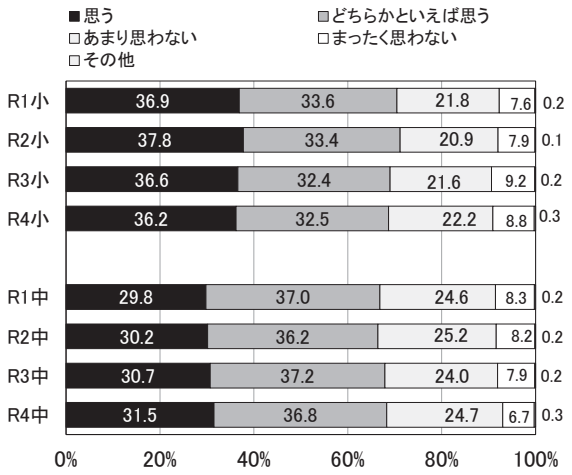
4/4 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。



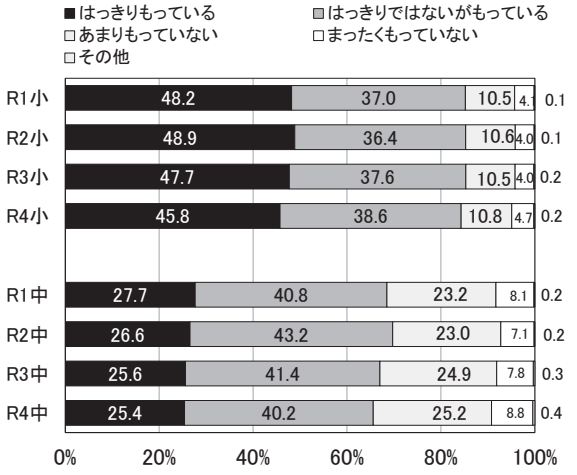
5/5　むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。



6/6　自分には、よいところがあると思いますか。

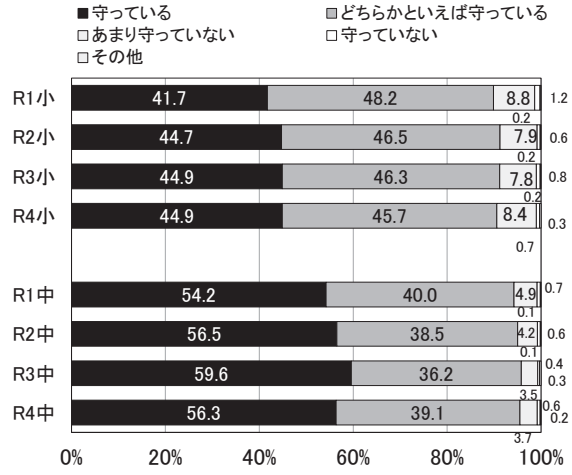


7/7　将来の夢や目標をもっていますか。

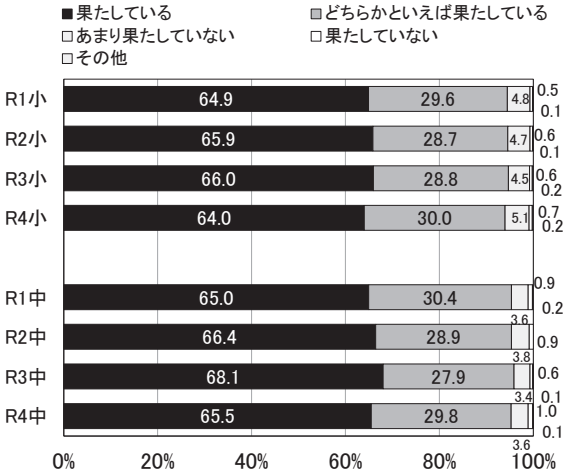


3　自己有用感

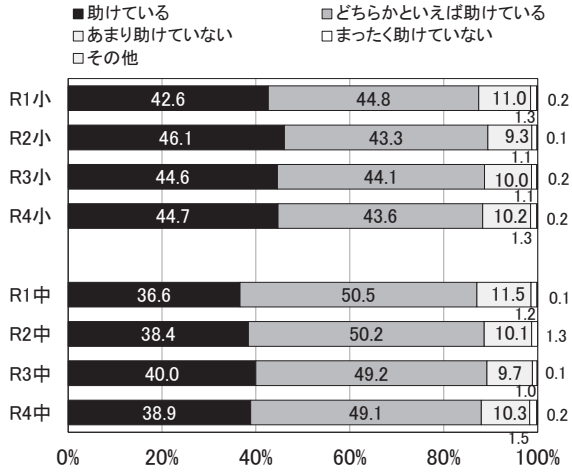
8/8　学校のきまりを守っていますか。



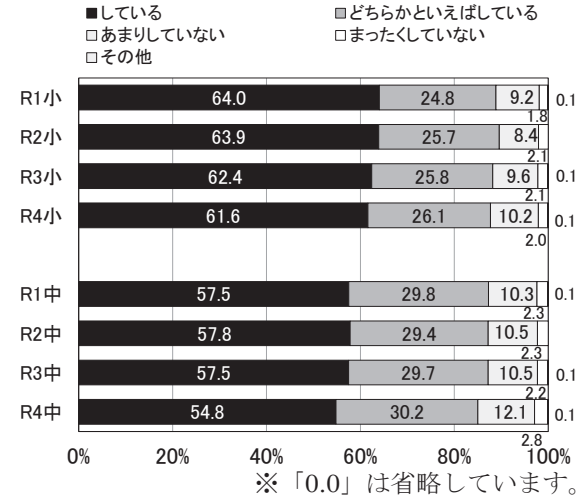
9/9　係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。



10/10　人が困っているときは、進んで助けていますか。

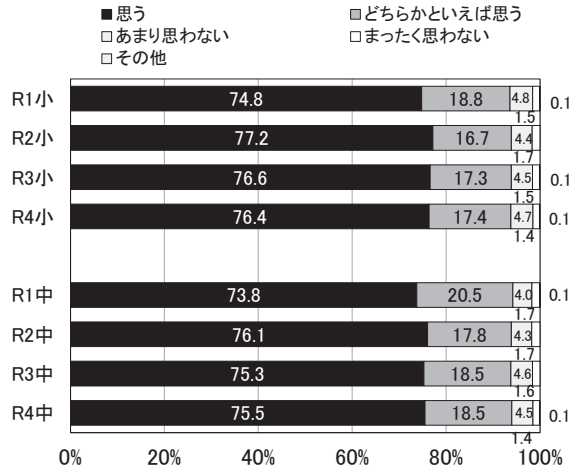


11/11　近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。

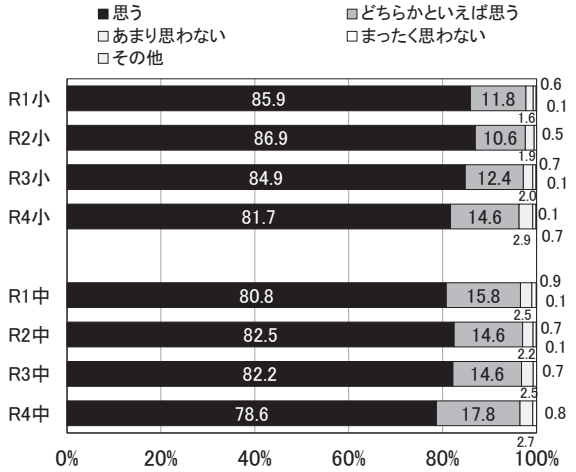


※「0.0」は省略しています。

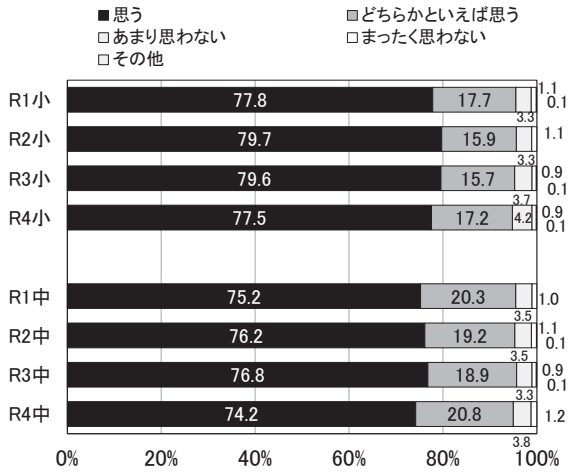
12/12　人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。



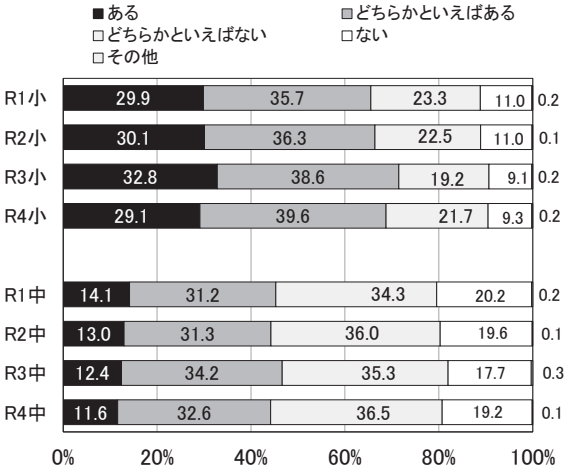
13/13　いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



14/14　人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

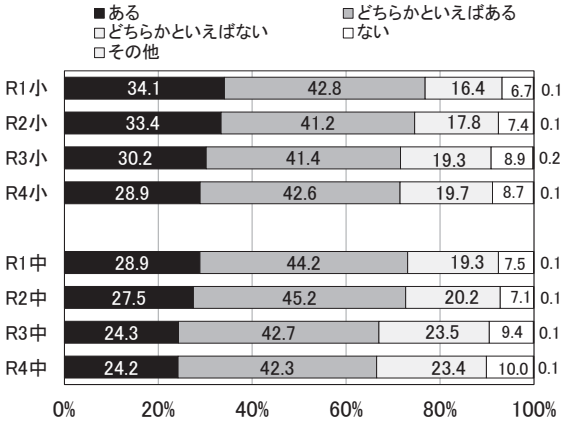


16/16　今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。

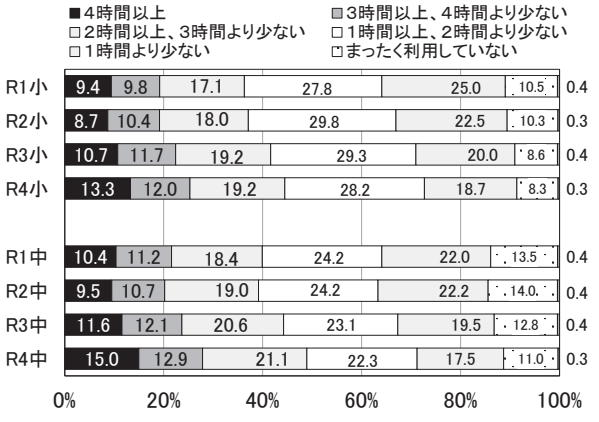


4　メディアについて

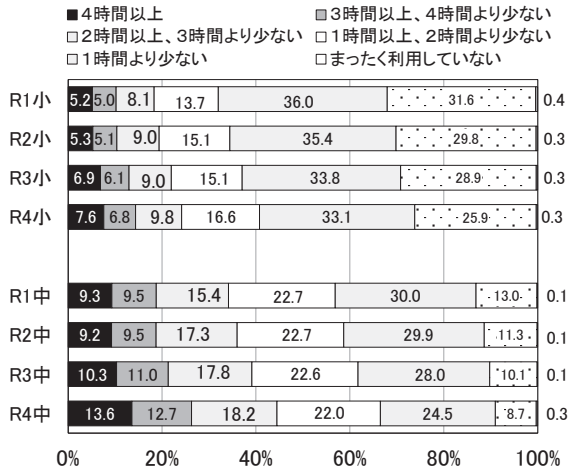
15/15　新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。



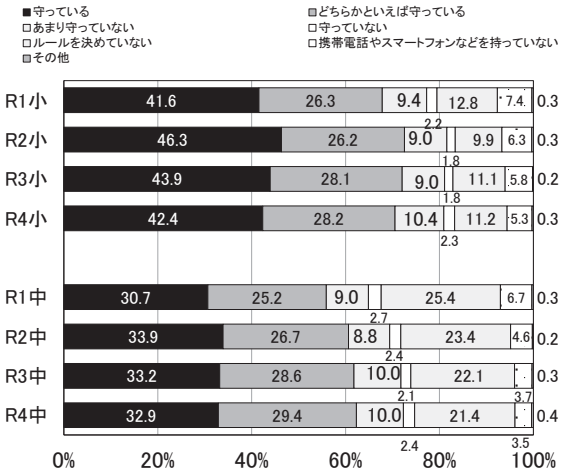
17/17　普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。



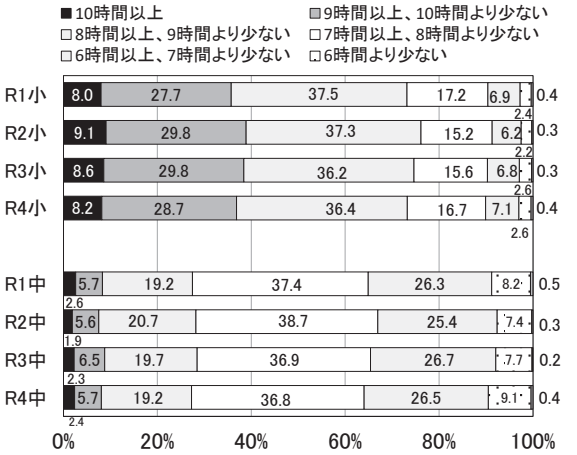
18/18　普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）



19/19　携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。

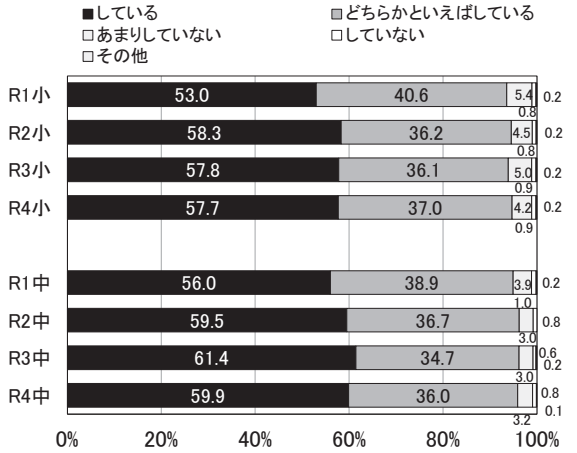


20/20　普段（月～金曜日）、１日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。

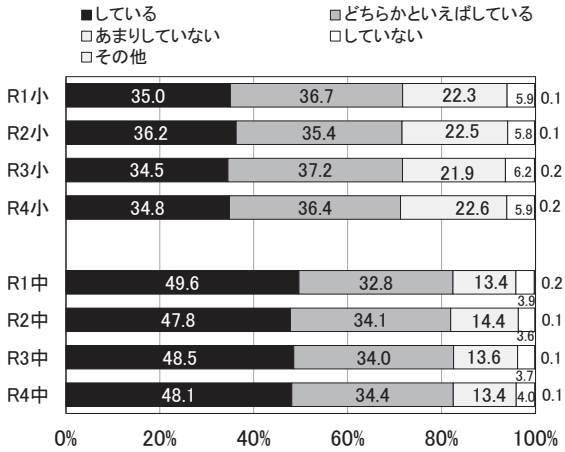


5　勉強・授業について

21/21　友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。

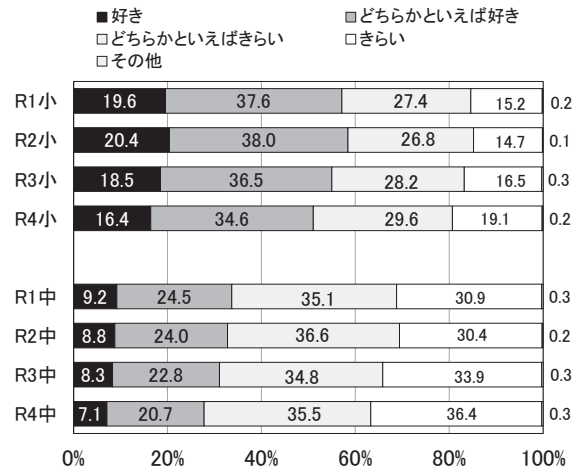


22/22　授業では、ノートをていねいに書いていますか。

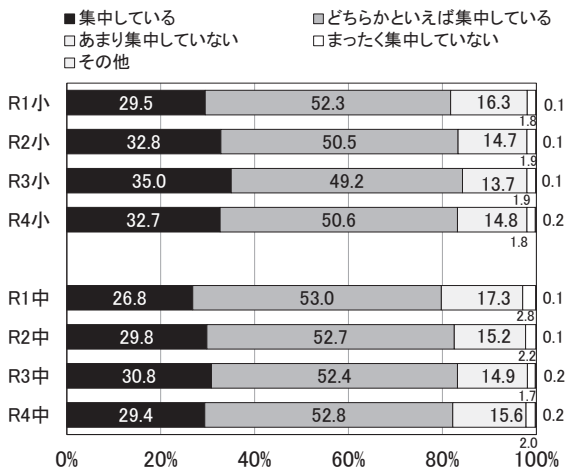


※「0.0」は省略しています。

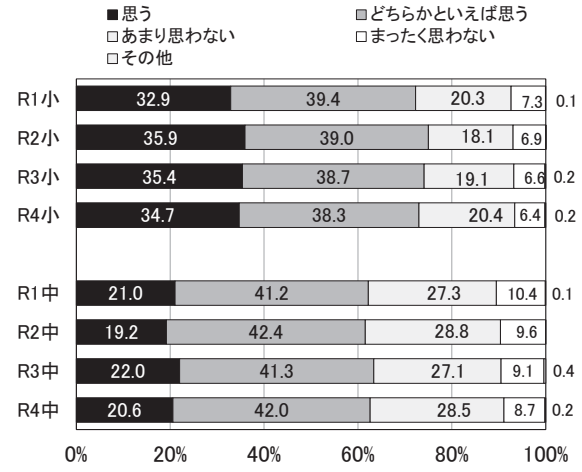
23/23　勉強は好きですか。



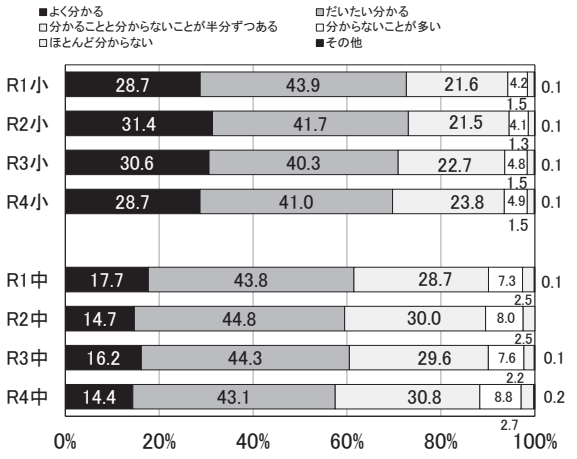
24/24　私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。



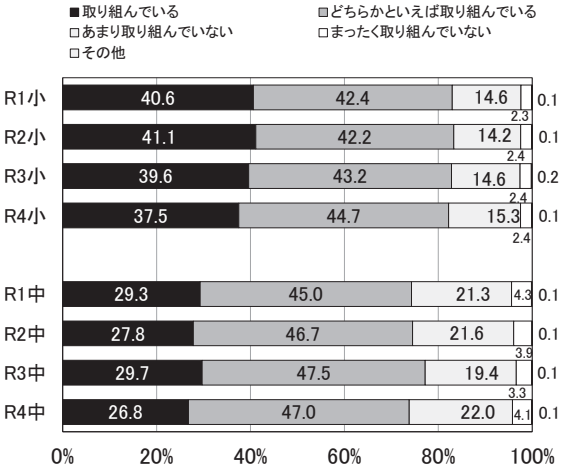
25/25　授業は楽しいと思いますか。



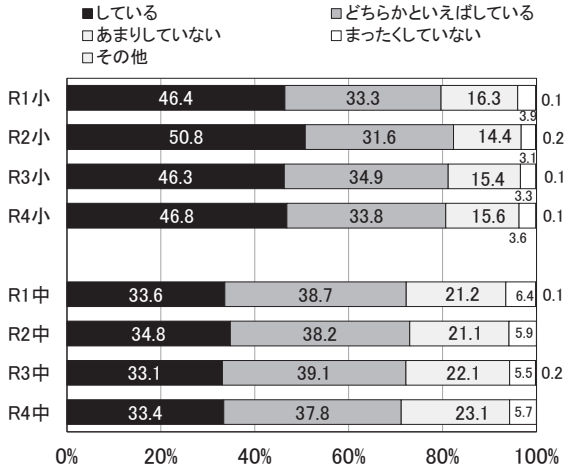
26/26　授業の内容がどの程度分かりますか。



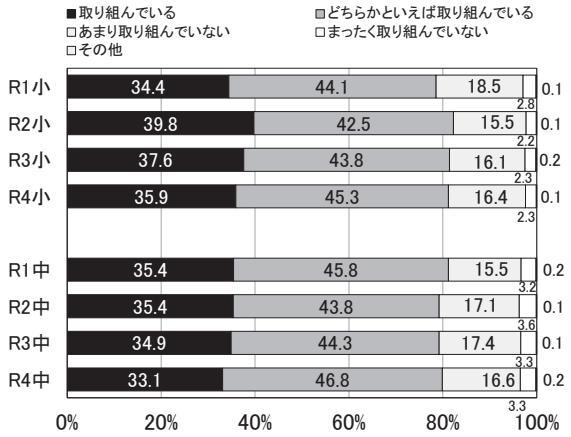
27/27　分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。



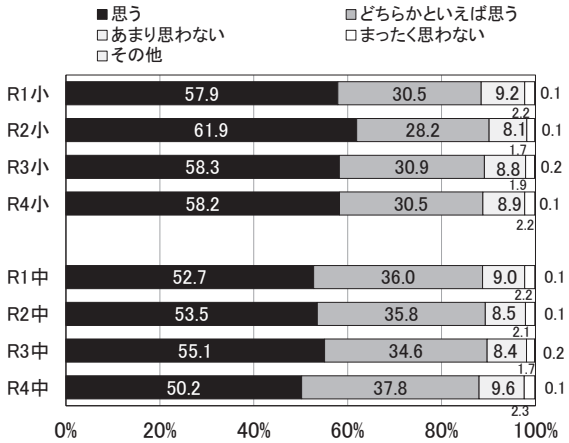
28/28　分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。



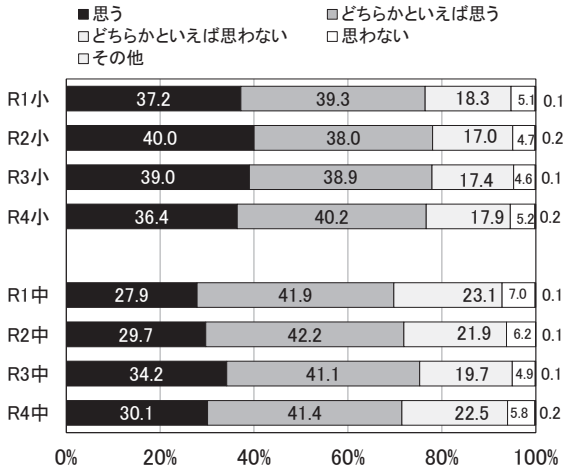
29/29　授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。



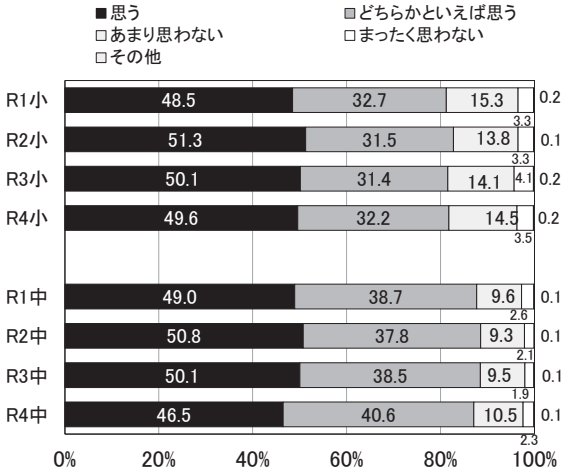
30/30　授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか。



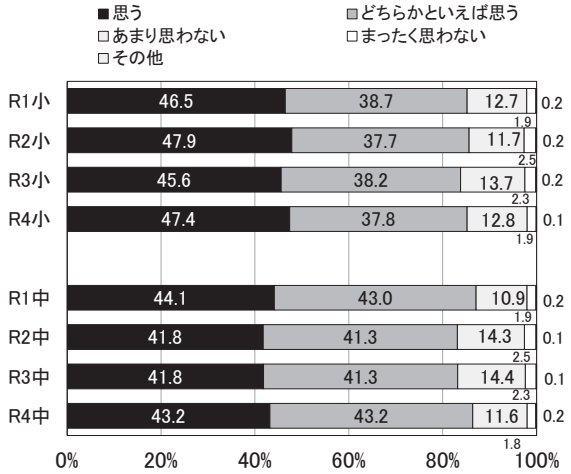
31/31　授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。



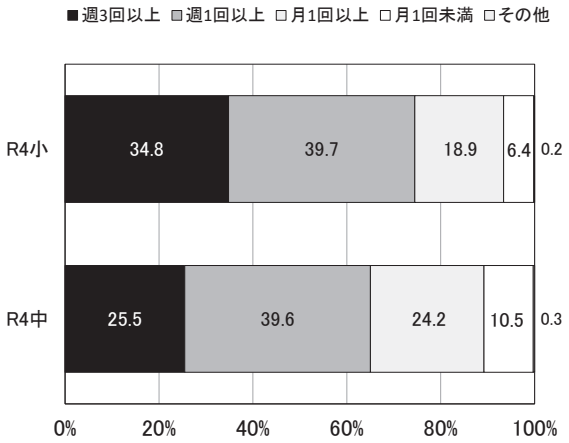
32/32　普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。



33/33　普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。

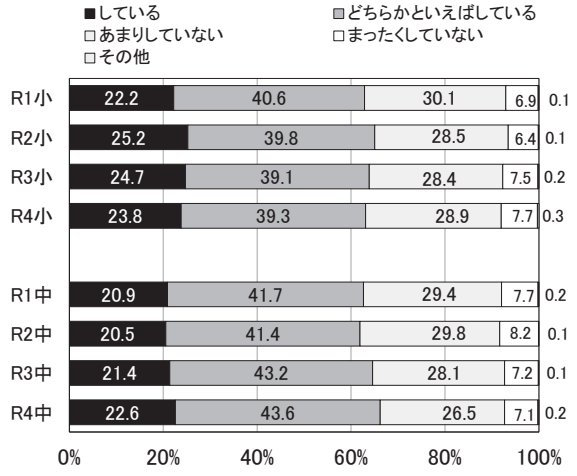


34/34　普段の授業で、ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、どの程度使用していますか。

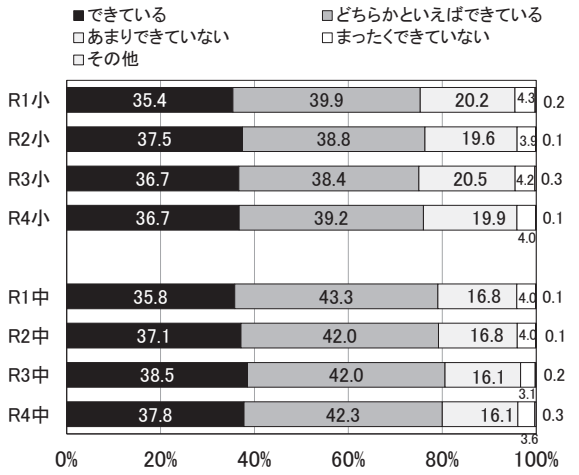


※「0.0」は省略しています。

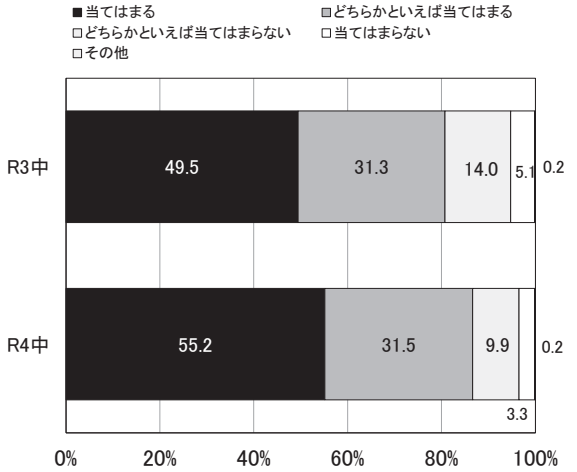
35/35　授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。



36/36　学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか

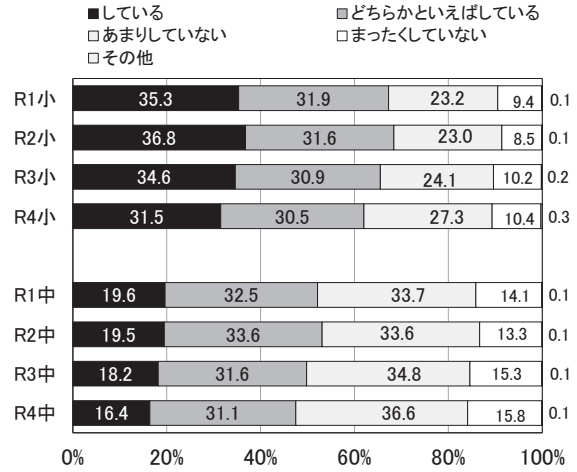


※/37　英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べたりする活動が行われていたと思いますか。

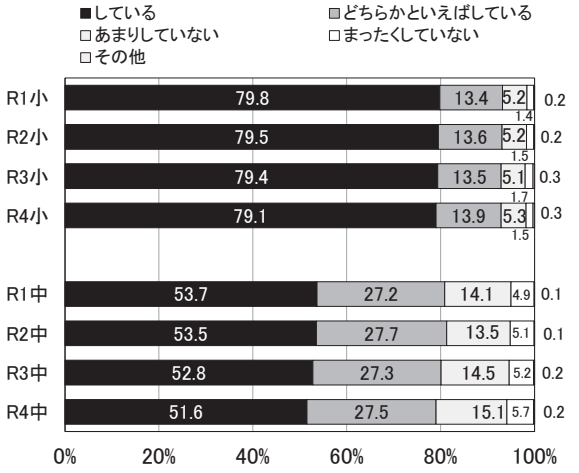


6　家庭学習

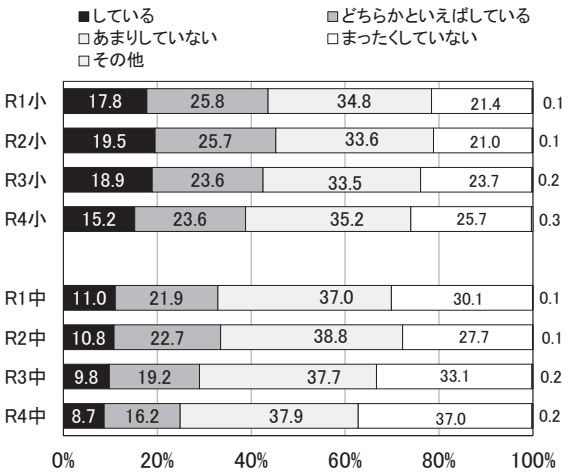
37/38　家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



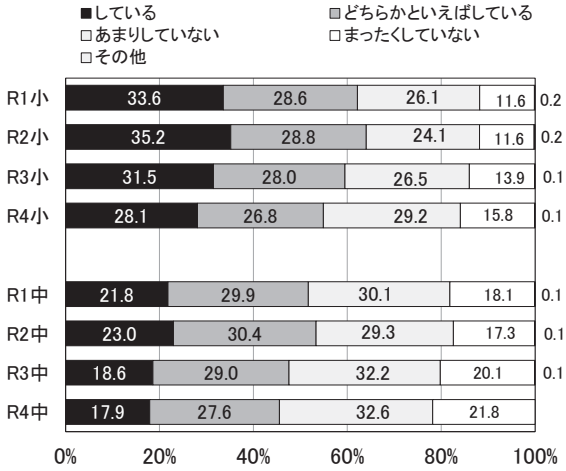
38/39 家で学校の宿題をしていますか。



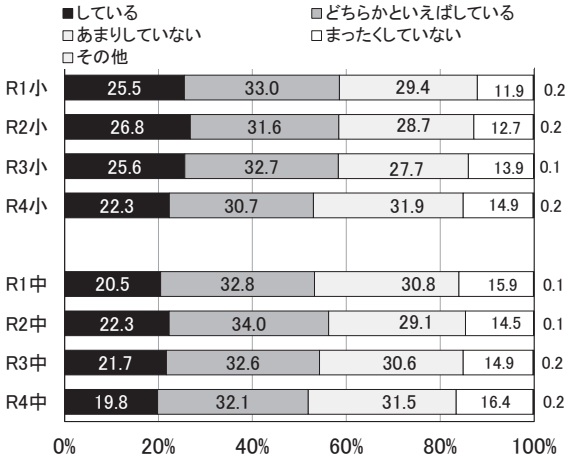
39/40　家で学校の授業の予習をしていますか。



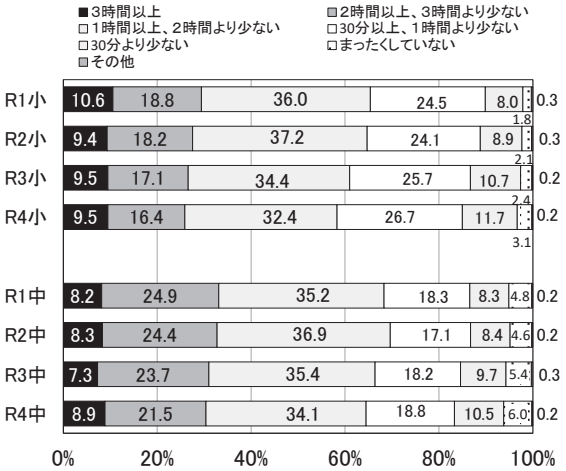
40/41　家で学校の授業の復習をしていますか。



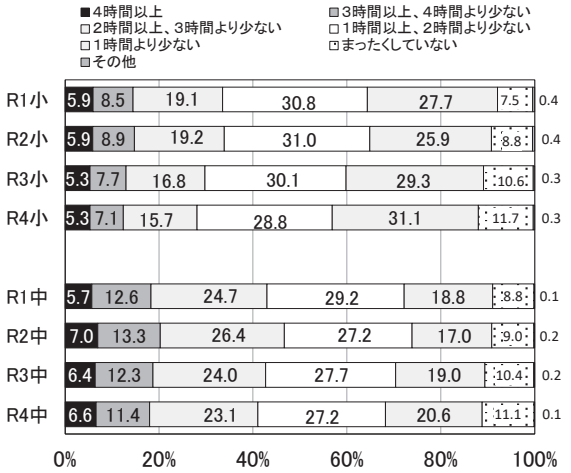
41/42　テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。



42/43　学校の授業以外に、普段（月～金曜日）１日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）



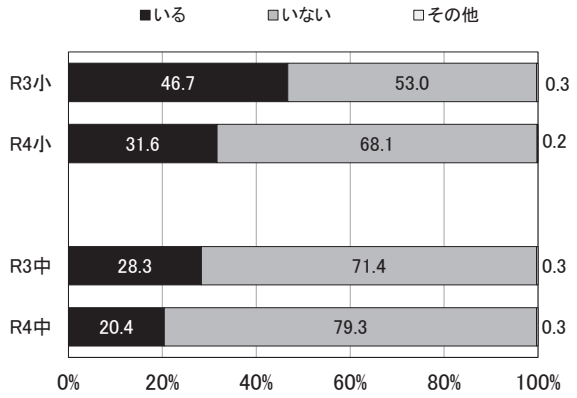
43/44　土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）



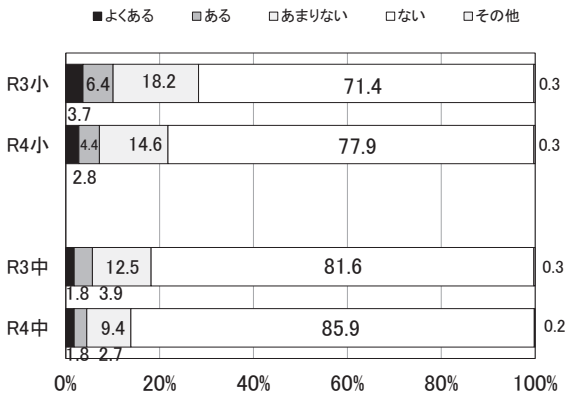
※「0.0」は省略しています。

7 家庭環境

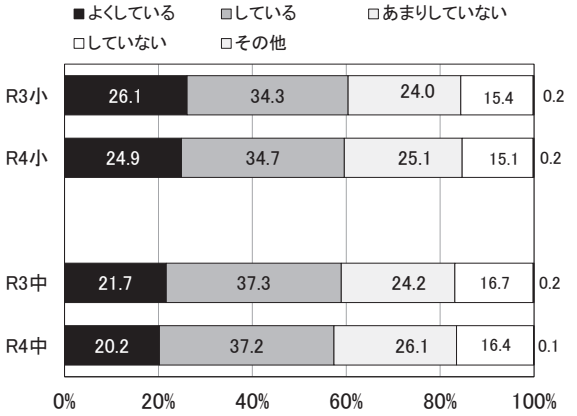
44/45　家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族のお世話のことを指します。）



45/46　.家族のお世話をしていることで、学校を休んだり、勉強（や部活）、遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。

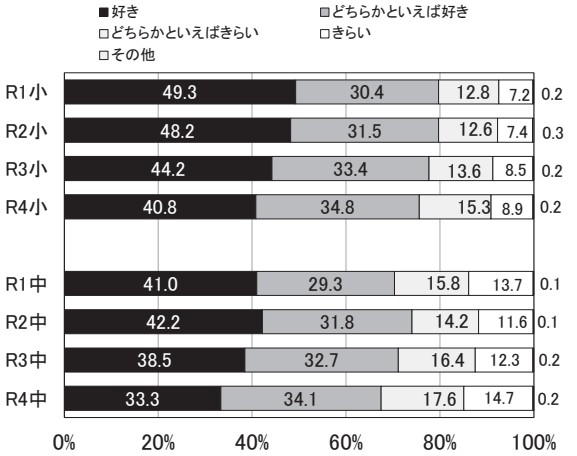


46/47　悩みや困ったことがあったとき、だれかに相談していますか。

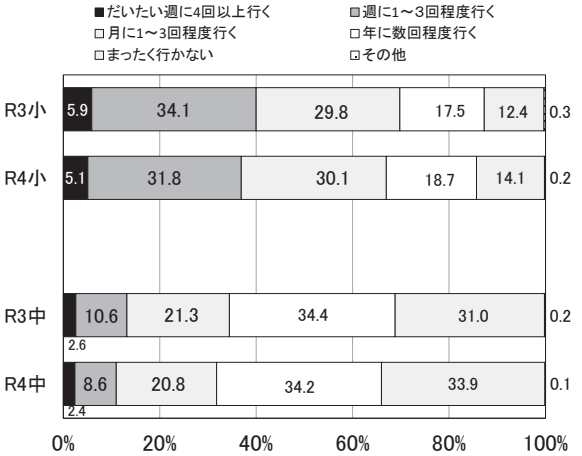


8 読書

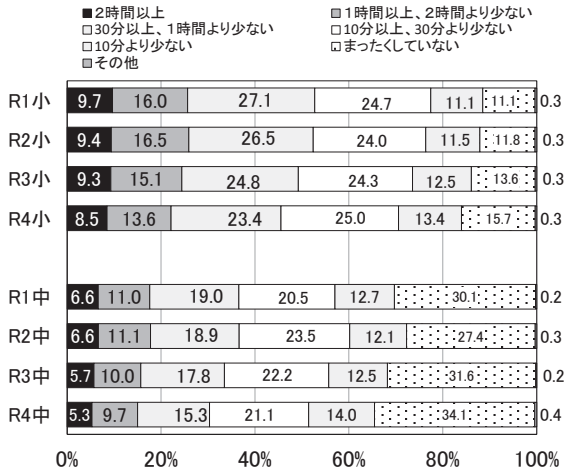
47/48　読書は好きですか。



48/49　本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。

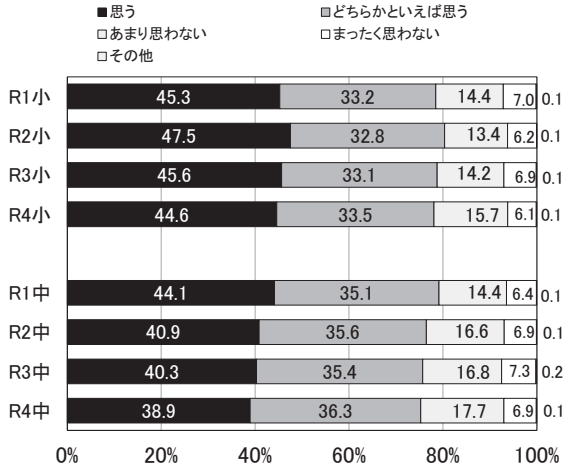


49/50　学校の授業時間以外に、普段（月～日）、１日にどれくらいの時間、読書をしますか。

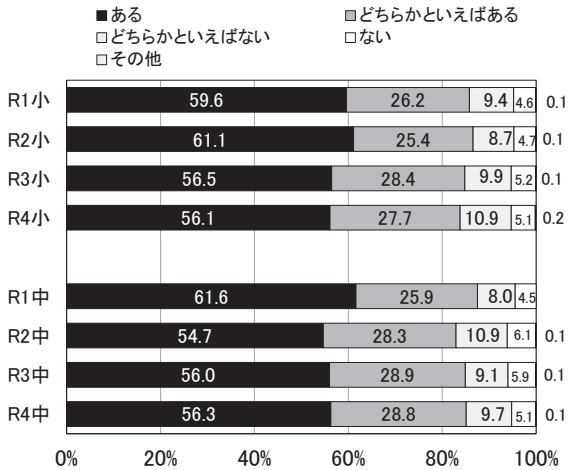


9　学校生活

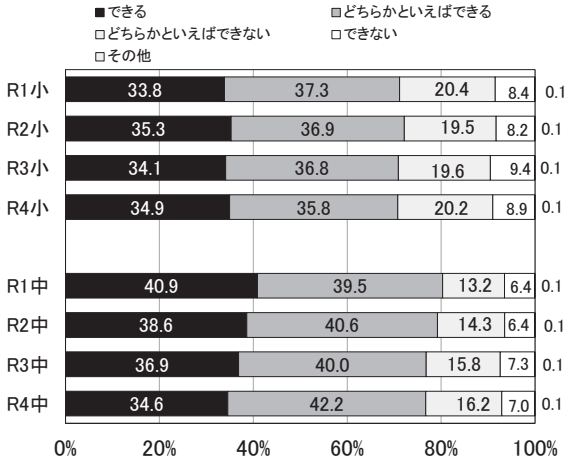
50/51　学校に行くのは楽しいと思いますか。



51/52　学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。



52/53　学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。

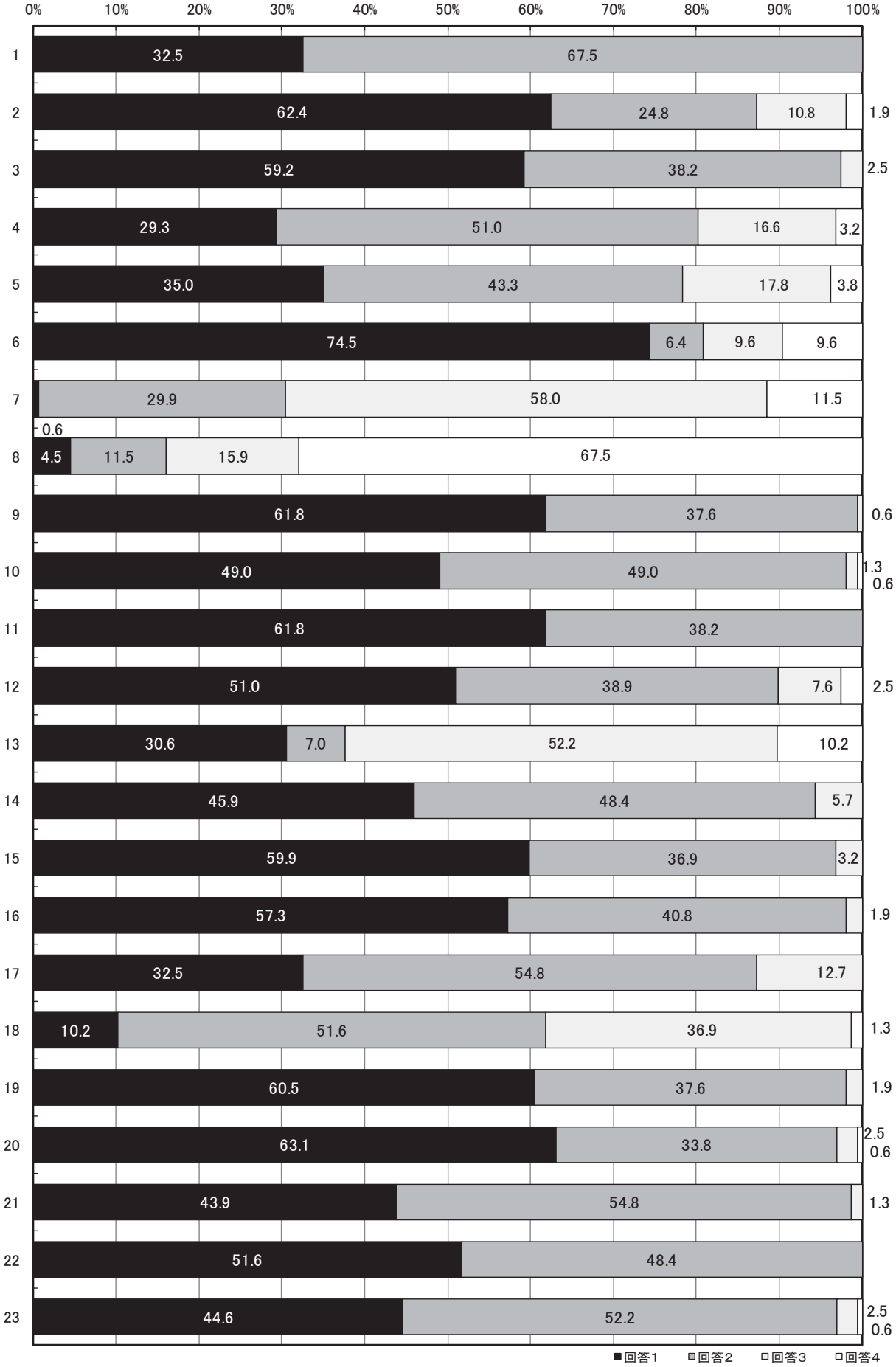


※「0.0」は省略しています。

学校質問紙調査結果一覧
小学校調査結果①

番号	全国関連	基本計画指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4
1			1 家庭・地域との連携	地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。	はい	いいえ		
2				ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない、または開設していない
3				PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。	よく参加してくれる	参加してくれる	あまり参加してくれない	全く参加してくれない
4				いじめ、暴力行為が発生した時の対応マニュアルについて、保護者等へ情報提供を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
5	75	◆		地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。	よく行った	どちらかといえば行った	あまり行っていない	全く行っていない
6				「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。	学活等で指導した	１に加え懇談会で活用した	2に加え事後指導した	配布したが活用していない
7				いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
8				ヤングケアラーと思われる児童生徒について、学校以外の外部につないだケースはありますか。	要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある	要体協に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある	外部の支援につないでいない（学校で対応している）	ヤングケアラーと思われる児童生徒はいなかった
9	(9)		2 社会性・道徳性の育成	児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
10				学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組みが推進されるよう指導、支援を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
11	10			学校生活の中で、児童生徒一人一人のよさを見付け、児童生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
12				児童生徒によるボランティア活動を実施していますか。（特別活動に位置付けられている幼児・高齢者等との触れ合い活動や、あいさつ運動、奉仕活動、防災活動等も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
13				児童生徒が、ネットの望ましい利用について自ら話し合い、ルールを作成していますか。	作成済	作成中	検討中	予定なし
14				保護者などに道徳の授業を公開しましたか。（本年度の予定を含む）	全学級で行った	一部の学級で行った	していない	
15			3 基礎的・基本的内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成の両立	国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
16				算数（数学）の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
17				昼休みや放課後の時間等を利用した補充的な学習サポートを実施していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
18				より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
19			4 指導方法等について	学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
20				学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
21				児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
22				児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
23				単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない

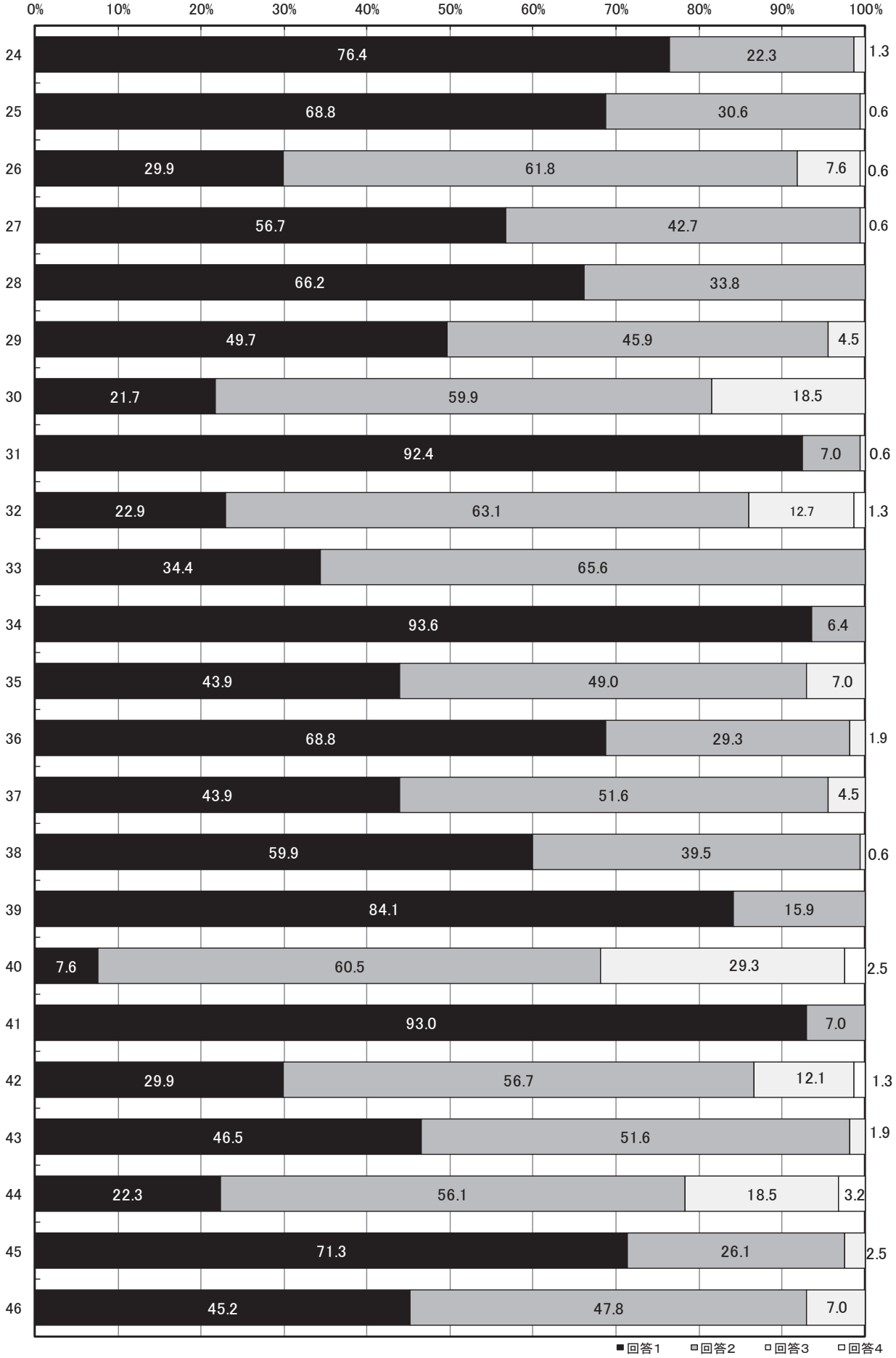
※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



小学校調査結果②

番号	全国関連	基本計画指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4
24			４ 指導方法等について	授業で目標を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
25				授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
26	29			授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
27				普段の授業で、児童生徒の学び合う場を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
28				普段の授業で、児童生徒が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
29	(26)			普段の授業で、児童生徒が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
30				新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
31	(56)			大型提示装置（プロジェクター、電子黒板等）やタブレット端末等のＩＣＴ機器を活用した授業をどの程度行っていますか。	週３回以上	週１回以上	月１回以上	月１回未満
32		(◆)		「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
33				外国語活動（小５・６年外国語を含む）の授業について、校内研修を実施しましたか。	はい	いいえ		
34				小・中が連携し、小学６年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）	はい	いいえ		
35			５ 家庭学習	保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
36				児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っていますか。（長期休業期間中の課題は除く）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
37				家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
38			６ 学校経営他	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
39	(19)			模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
40				現職教育等で「さぬきの授業　基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
41	80 81			前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	はい	いいえ		
42				ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退勤しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
43				積極的に校務の改善に取り組んでいますか。（会議の合理化や工夫など、以前からの取組の継続も含む）	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない
44				校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小されたりした結果、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。	早くなっている	どちらかといえば早くなっている	あまり早くなっていない	早くなっていない
45				教員は、毎月の自分の時間外在校等時間を把握していますか。	把握できている	どちらかといえば把握できている	どちらかといえば把握できていない	把握できていない
46				幼稚園等と小学校が就学前教育と小学校教育の接続の視点から、連携した取組を行っていますか。（予定を含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない

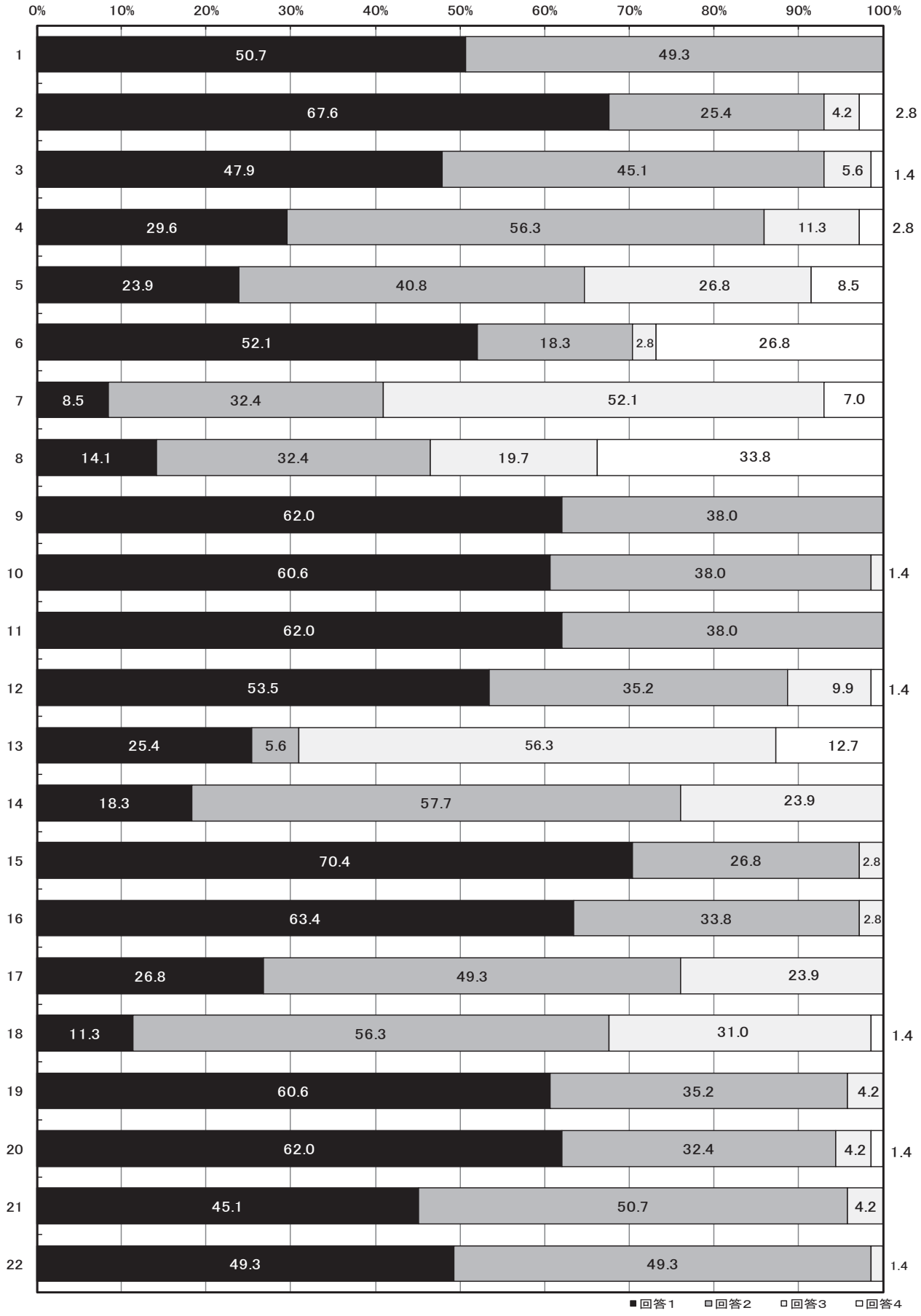
※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



中学校調査結果①

番号	全国関連	基本計画指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4
1			1 家庭・地域との連携	地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。	はい	いいえ		
2				ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない、または開設していない
3				PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。	よく参加してくれる	参加してくれる	あまり参加してくれない	全く参加してくれない
4				いじめ、暴力行為が発生した時の対応マニュアルについて、保護者等へ情報提供を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
5	75	◆		地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。	よく行った	どちらかといえば行った	あまり行っていない	全く行っていない
6				「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。	学活等で指導した	１に加え懇談会で活用した	2に加え事後指導した	配布したが活用していない
7				いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
8				ヤングケアラーと思われる児童生徒について、学校以外の外部につないだケースはありますか。	要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある	要体協に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある	外部の支援につないでいない（学校で対応している）	ヤングケアラーと思われる児童生徒はいなかった
9	(9)		2 社会性・道徳性の育成	児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
10				学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組みが推進されるよう指導、支援を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
11	10			学校生活の中で、児童生徒一人一人のよさを見付け、児童生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
12				児童生徒によるボランティア活動を実施していますか。（特別活動に位置付けられている幼児・高齢者等との触れ合い活動や、あいさつ運動、奉仕活動、防災活動等も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
13				児童生徒が、ネットの望ましい利用について自ら話し合い、ルールを作成していますか。	作成済	作成中	検討中	予定なし
14				保護者などに道徳の授業を公開しましたか。（本年度の予定を含む）	全学級で行った	一部の学級で行った	していない	
15			3 基礎的・基本的内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成の両立	国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
16				算数（数学）の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
17				昼休みや放課後の時間等を利用した補充的な学習サポートを実施していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
18				より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
19			4 指導方法等について	学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
20				学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
21				児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
22				児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない

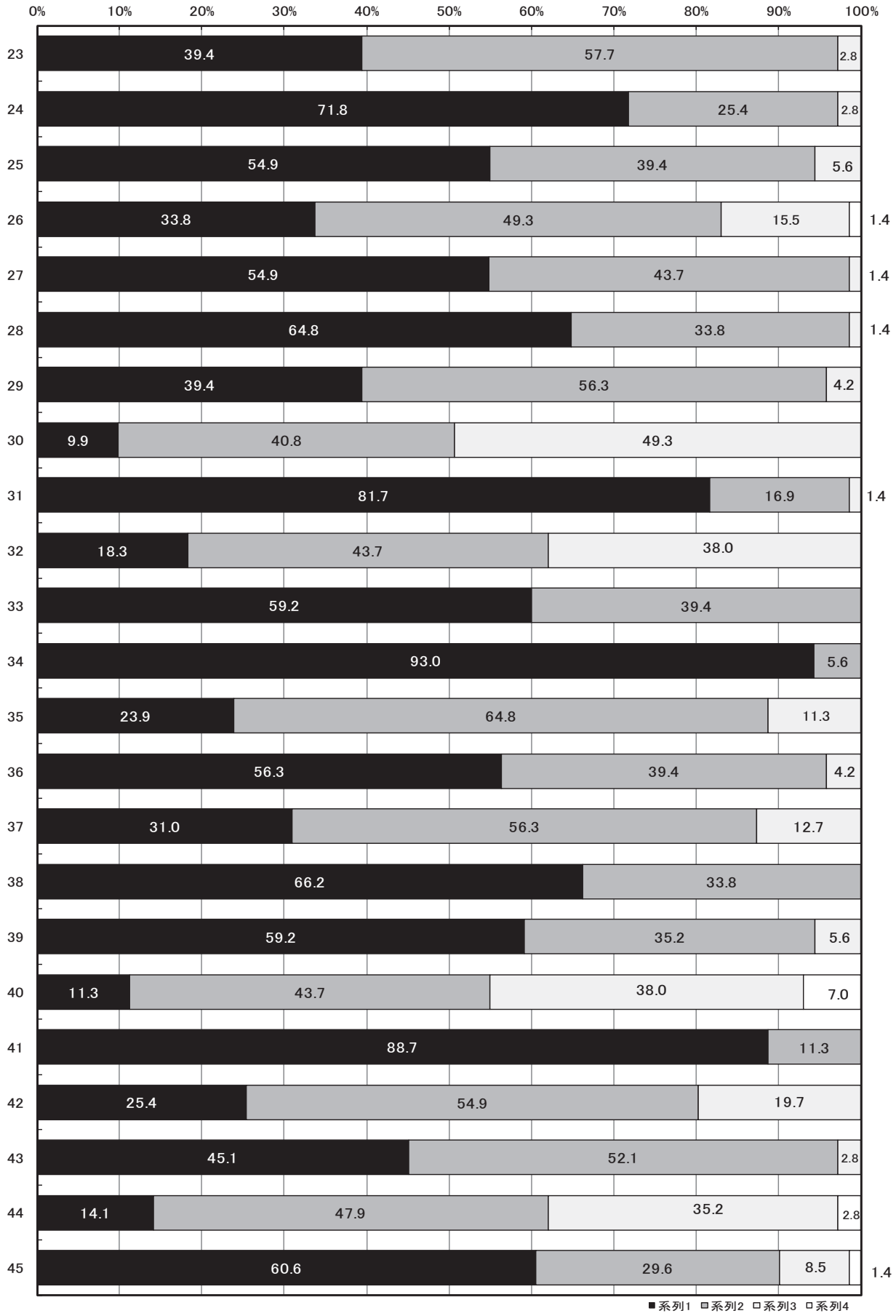
※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



中学校調査結果②

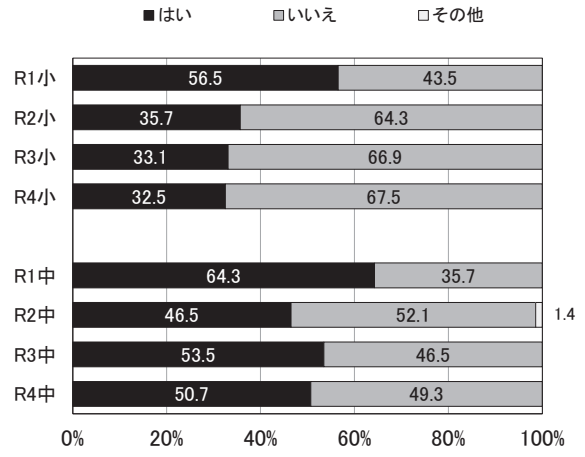
番号	全国関連	基本計画指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4
23			４ 指導方法等について	単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
24				授業で目標を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
25				授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
26	29			授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
27				普段の授業で、児童生徒の学び合う場を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
28				普段の授業で、児童生徒が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
29	(26)			普段の授業で、児童生徒が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
30				新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
31	(56)			大型提示装置（プロジェクター、電子黒板等）やタブレット端末等のＩＣＴ機器を活用した授業をどの程度行っていますか。	週３回以上	週１回以上	月１回以上	月１回未満
32		(◆)		「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
33				小学校外国語活動（小５・６年外国語を含む）の実施状況を把握して外国語教育における小中連携を実施しましたか。	はい	いいえ		
34				小・中が連携し、小学６年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）	はい	いいえ		
35			５ 家庭学習	保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
36				児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っていますか。（長期休業期間中の課題は除く）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
37				家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
38			６ 学校経営他	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
39	(19)			模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
40				現職教育等で「さぬきの授業　基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
41	80 81			前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	はい	いいえ		
42				ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退勤しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
43				積極的に校務の改善に取り組んでいますか。（会議の合理化や工夫など、以前からの取組の継続も含む）	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない
44				校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小されたりした結果、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。	早くなっている	どちらかといえば早くなっている	あまり早くなっていない	早くなっていない
45				教員は、毎月の自分の時間外在校等時間を把握していますか。	把握できている	どちらかといえば把握できている	どちらかといえば把握できていない	把握できていない

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。

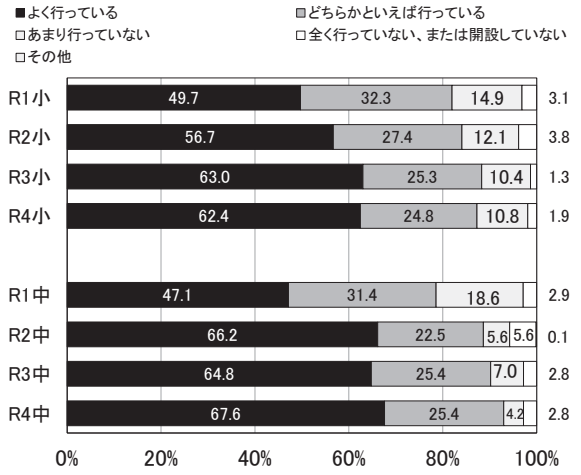


1 家庭・地域との連携

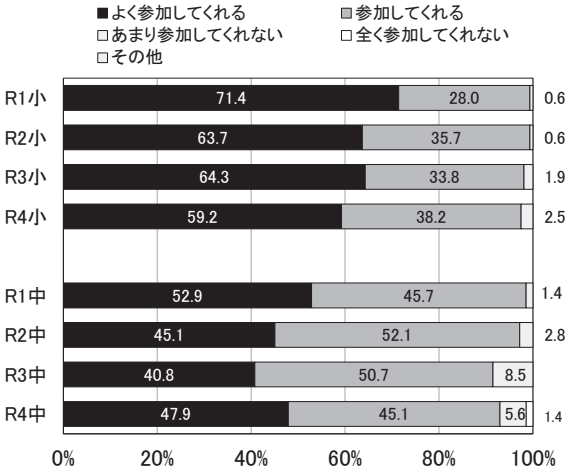
1 地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。



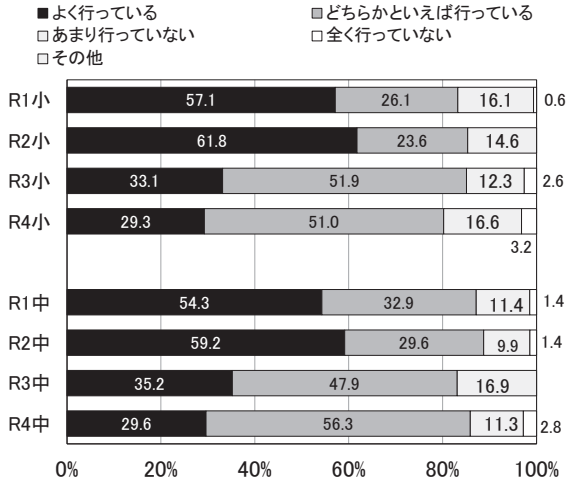
2 ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。



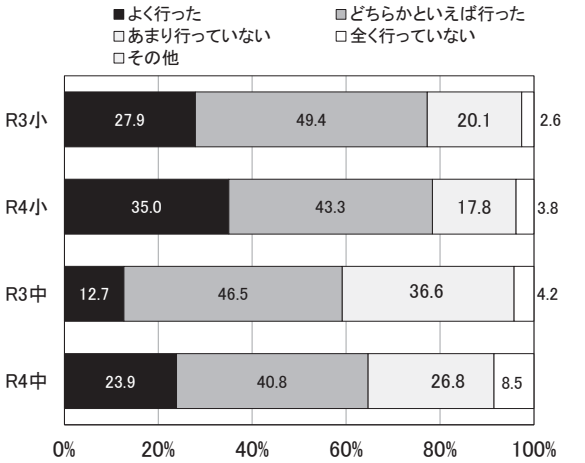
3 ＰＴＡや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。



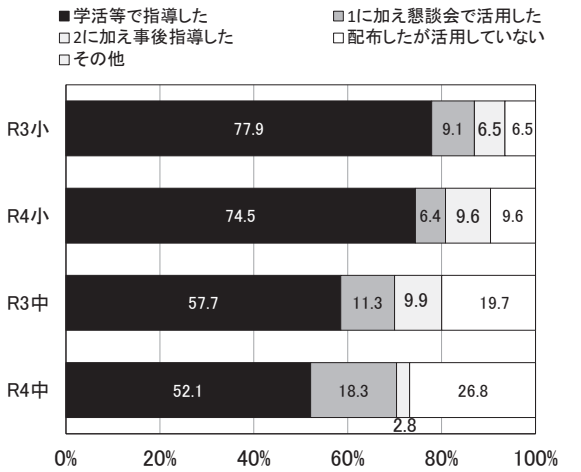
4 いじめ、暴力行為が発生した時の対応マニュアルについて、保護者等へ情報提供を行っていますか。



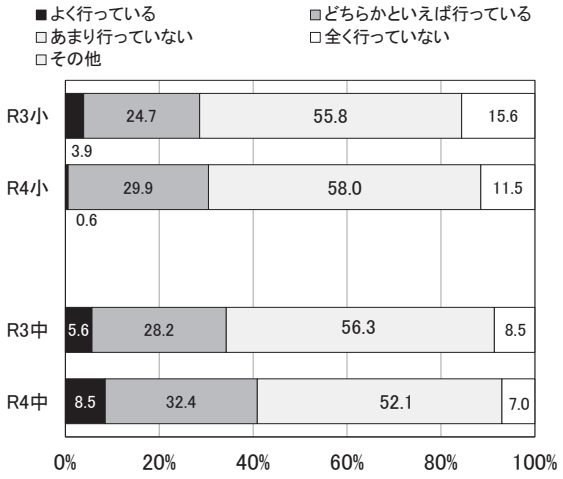
5 地域学校協働本部やコミュニティスクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。



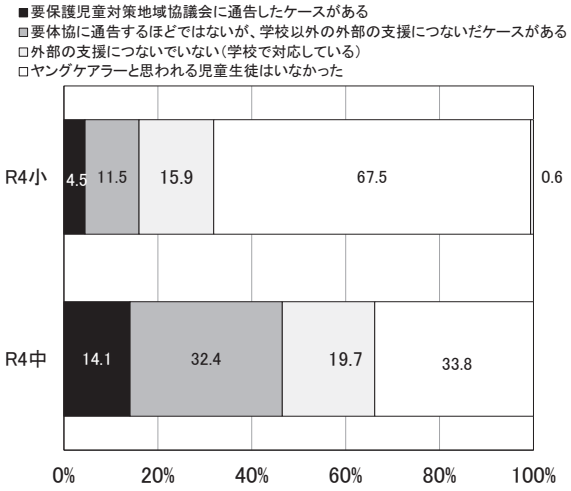
6 「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。



7 いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。

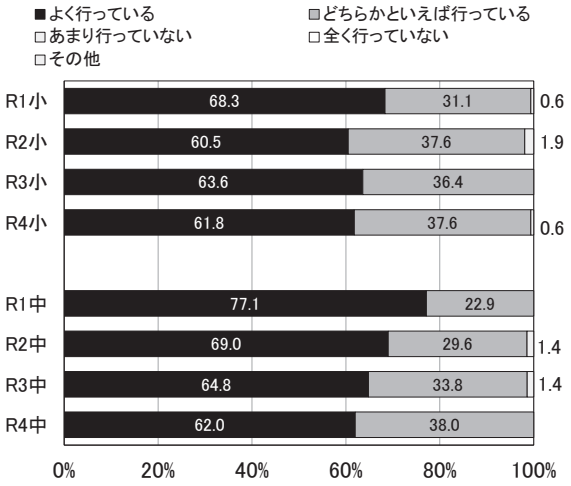


8 ヤングケアラーと思われる児童生徒について、学校以外の外部につないだケースはありますか。

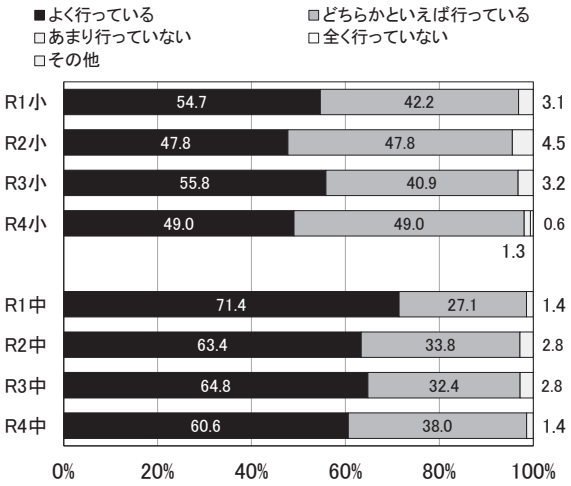


2 社会性・道徳性の育成

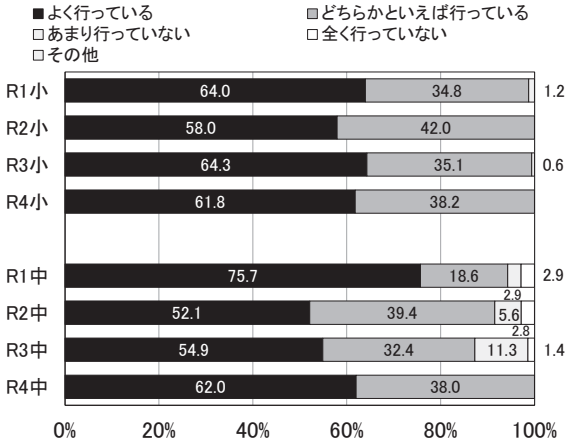
9 児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。



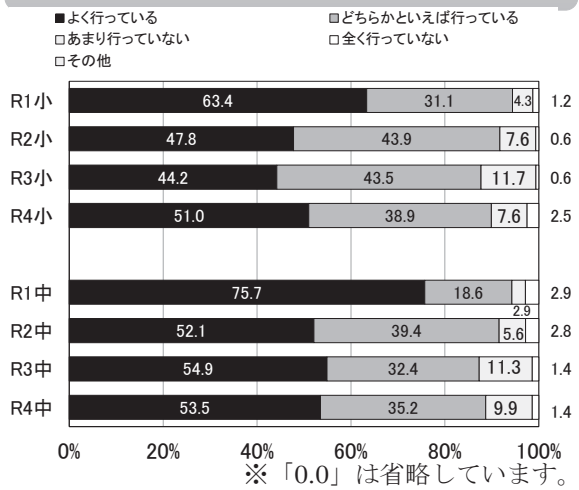
10 学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組みが推進されるよう指導、支援を行っていますか。



11 学校生活の中で、児童生徒一人一人のよさを見付け、児童生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。

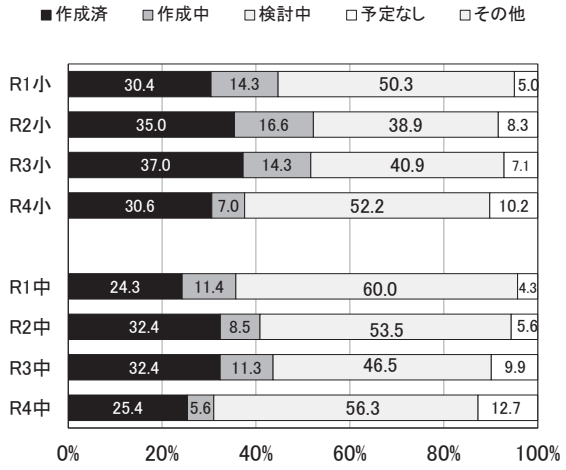


12 児童生徒によるボランティア活動を実施していますか。（特別活動に位置付けられている幼児・高齢者等との触れ合い活動や、あいさつ運動、奉仕活動防災活動等も含む）

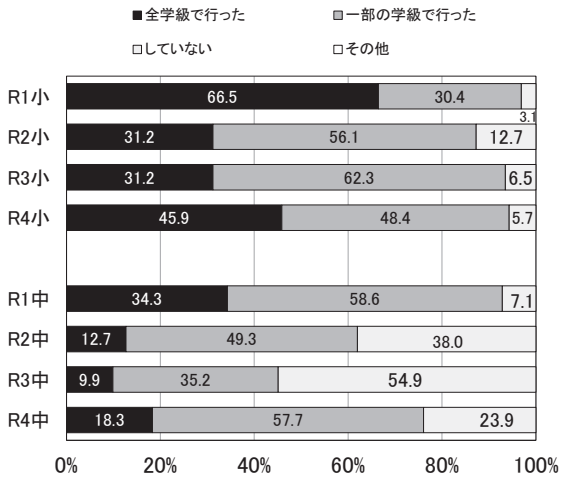


※「0.0」は省略しています。

13 児童生徒が、ネットの望ましい利用について自ら話し合い、ルールを作成していますか。

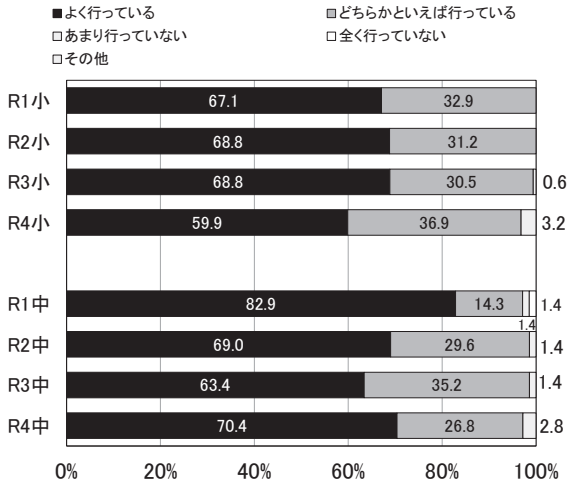


14 保護者などに道徳の授業を公開しましたか。（本年度の予定も含む）

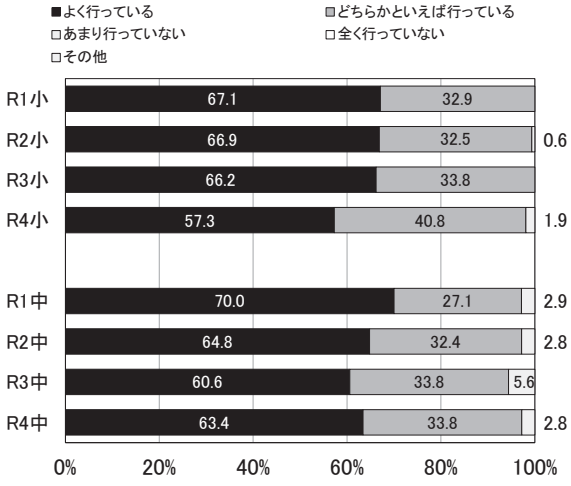


3 基礎的・基本的内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成の両立

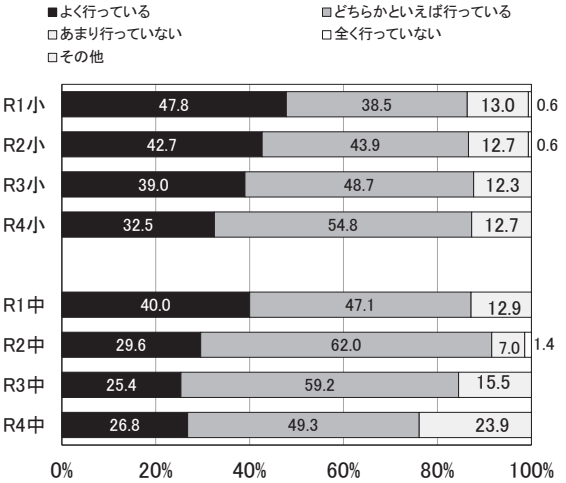
15 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っていますか。



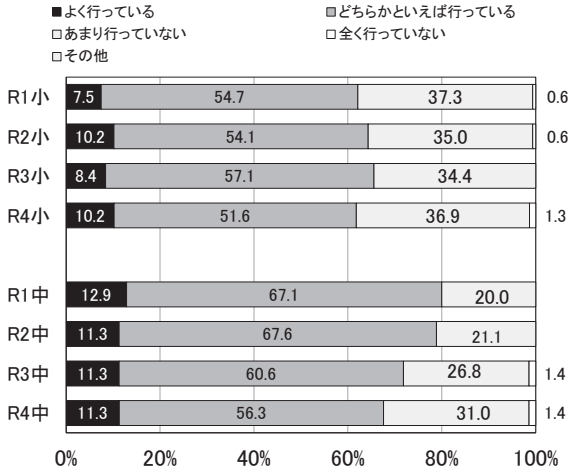
16 算数（数学）の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っていますか。



17 昼休みや放課後の時間等を利用した補充的な学習サポートを実施していますか。か。

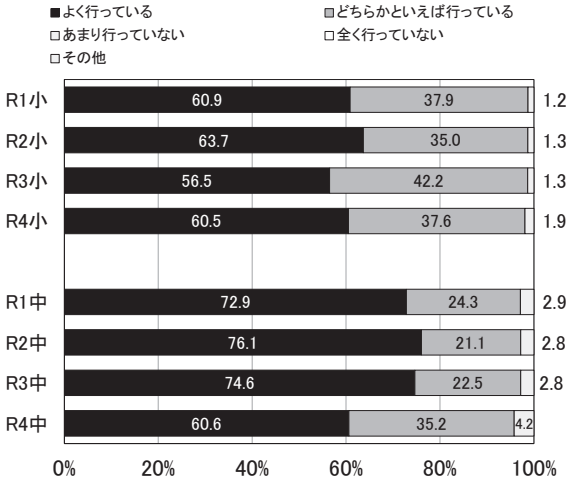


18 より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。

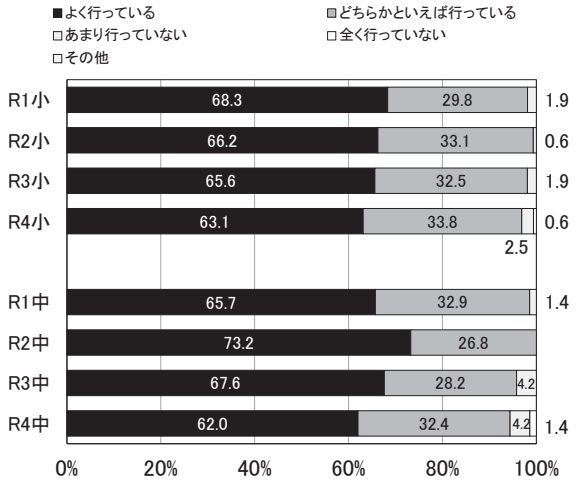


4 指導方法について

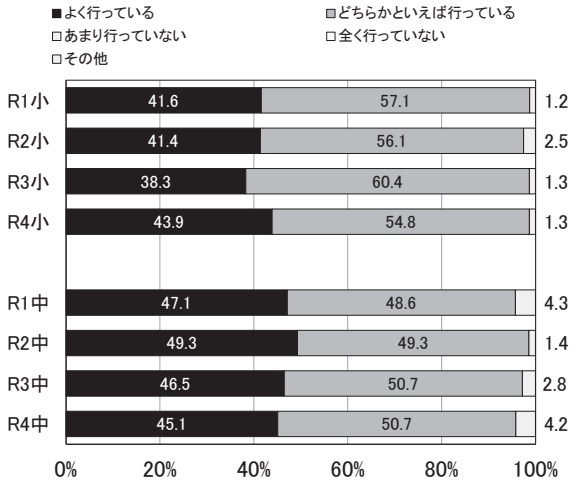
19 学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底していますか。



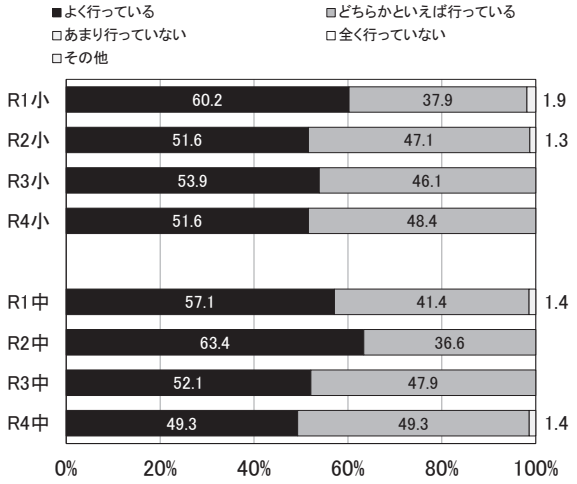
20 学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしていますか。



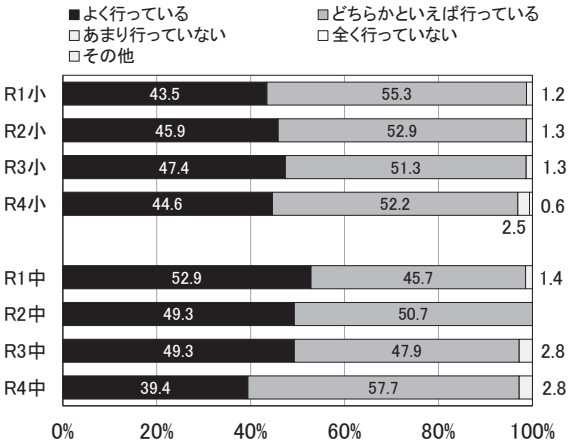
21 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。



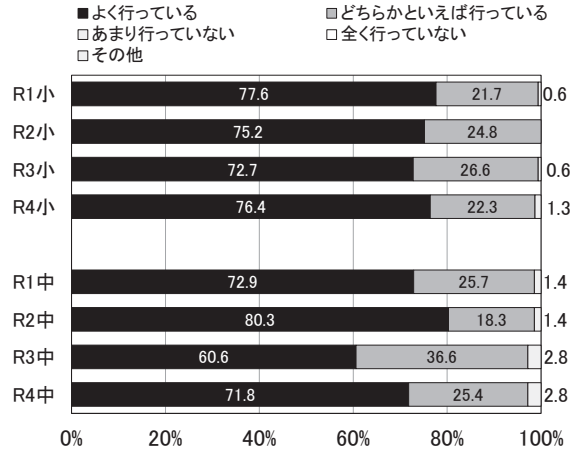
22 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか。



23 単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。

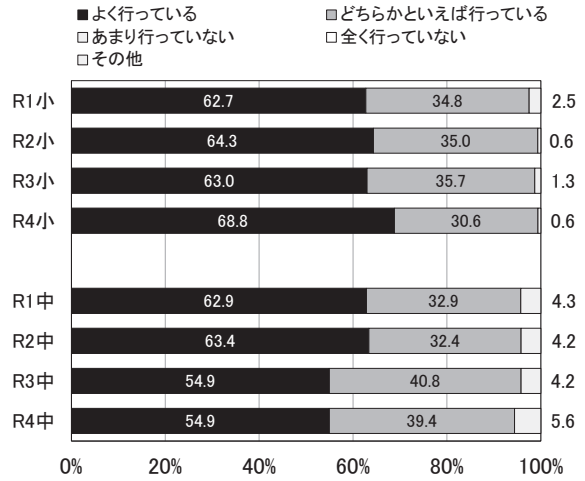


24 授業で目標を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか。

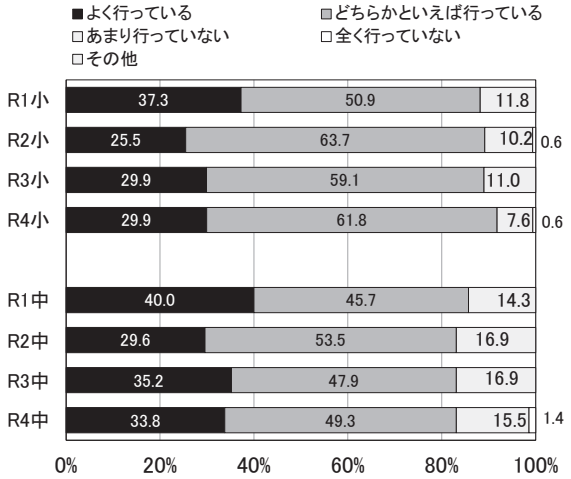


※「0.0」は省略しています。

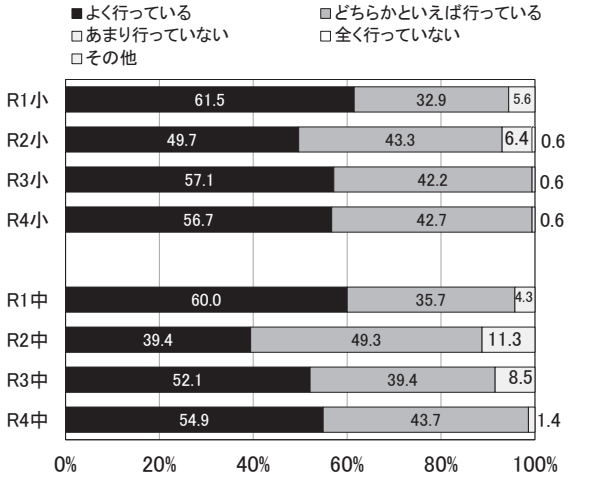
25 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。



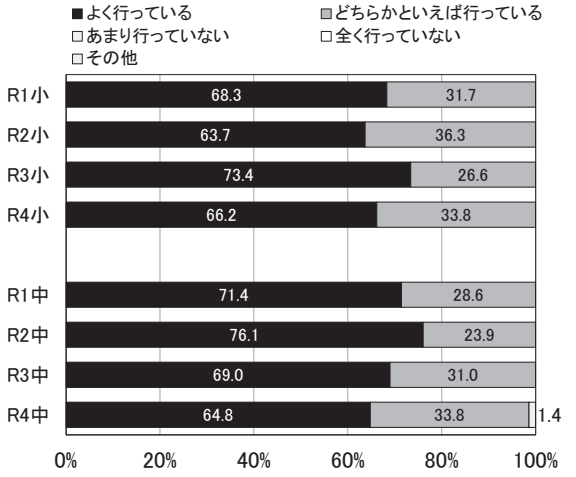
26 授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか。



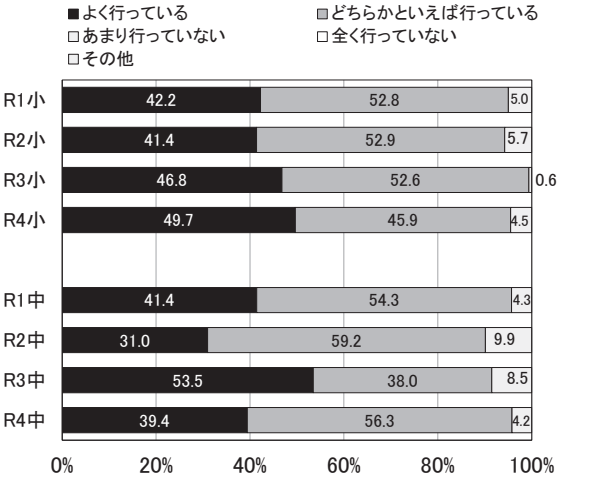
27 普段の授業で、児童生徒の学び合う場を取り入れていますか。



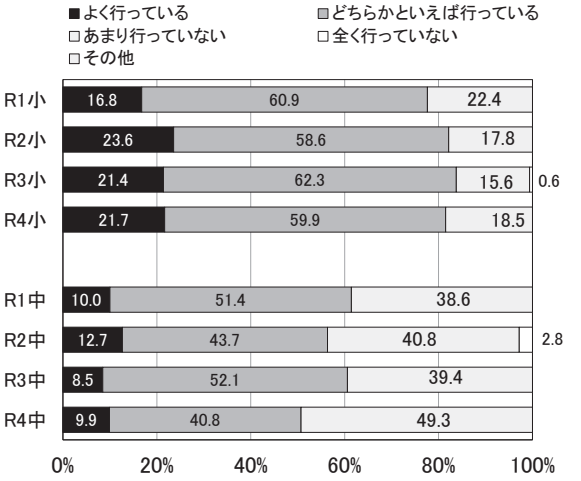
28 普段の授業で、児童生徒が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいますか。



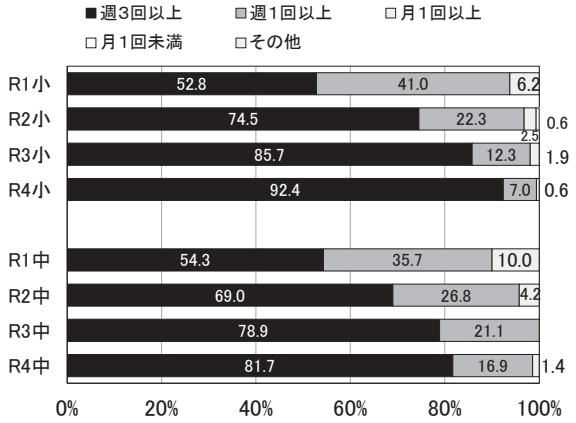
29 普段の授業で、児童生徒が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。



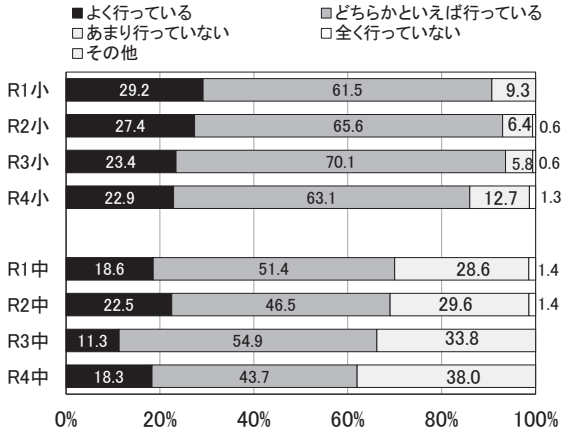
30 新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。



31 大型提示装置（プロジェクター、電子黒板等）やタブレット端末等のＩＣＴ機器を活用した授業をどの程度行っていますか。

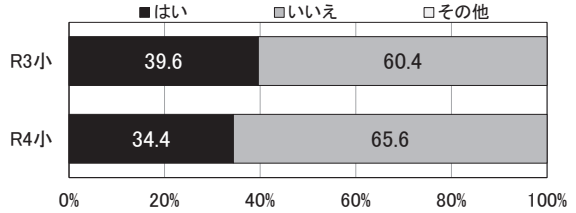


32 「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）

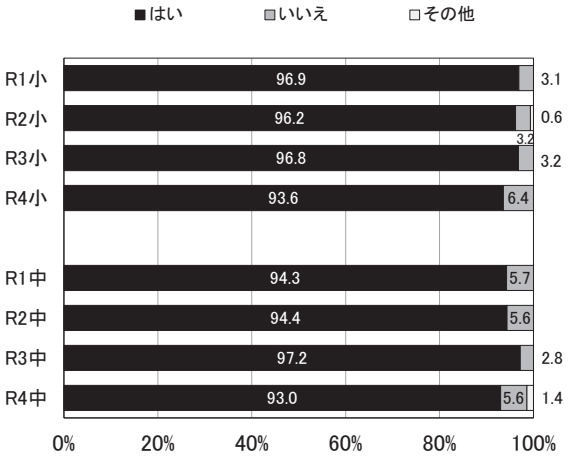


小学校

33 外国語活動（小５・６年外国語を含む）の授業について、校内研修を実施しましたか。

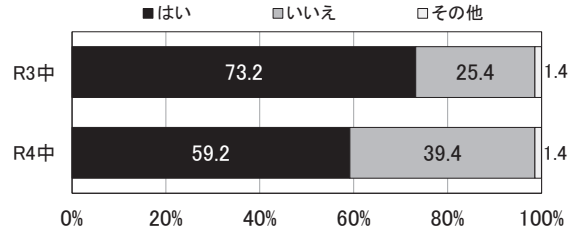


34 小・中が連携し、小学６年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。



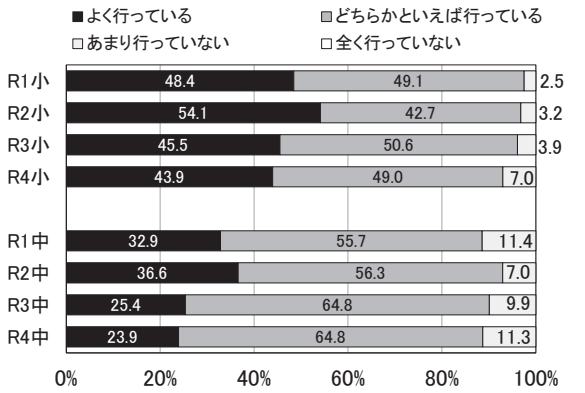
中学校

33 小学校外国語活動（小５・６年外国語を含む）の実施状況を把握して外国語教育における小中連携を実施しましたか。

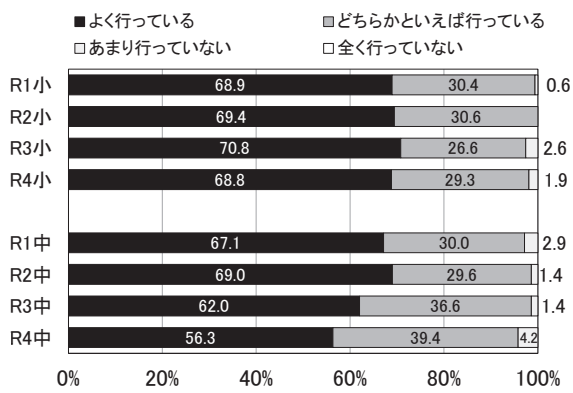


5 家庭学習

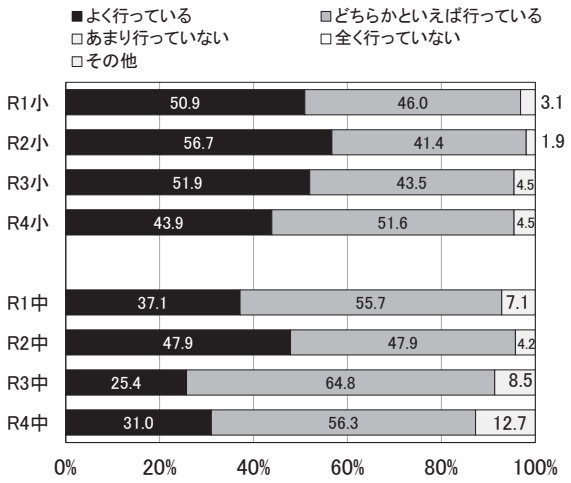
35 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか。



36 児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っていますか。（長期休業中の課題は除く）

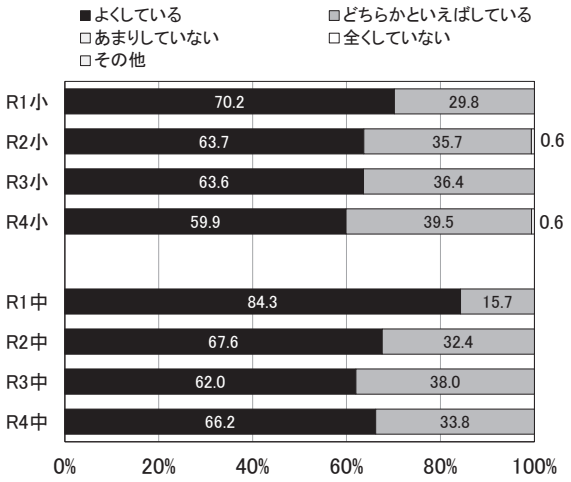


37 家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。

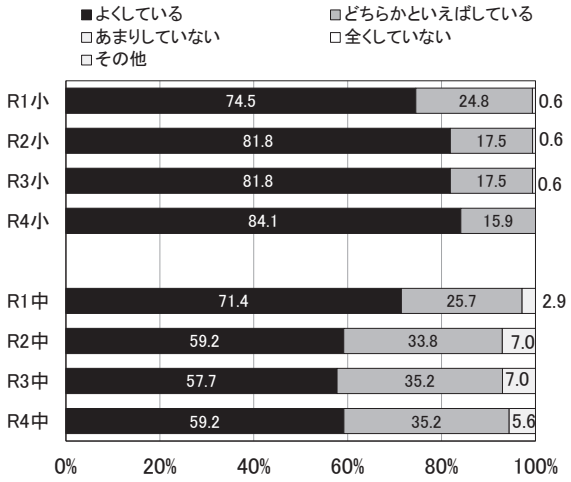


6 学校経営他

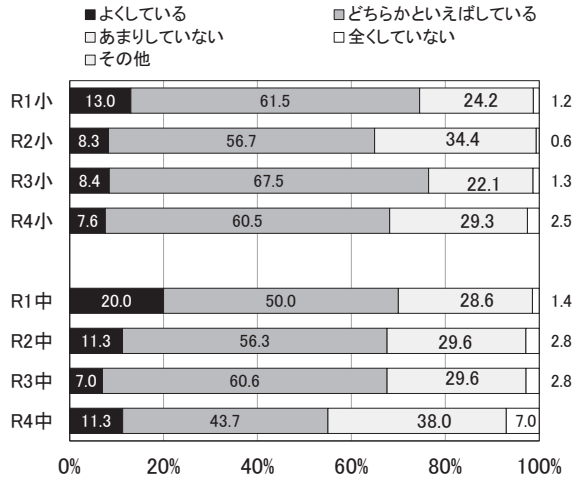
38 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか。



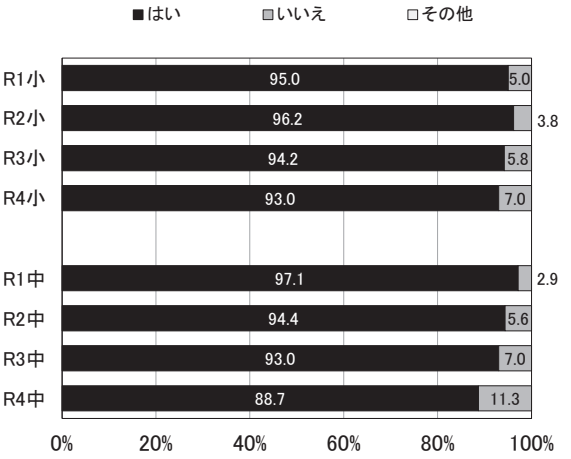
39 模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。



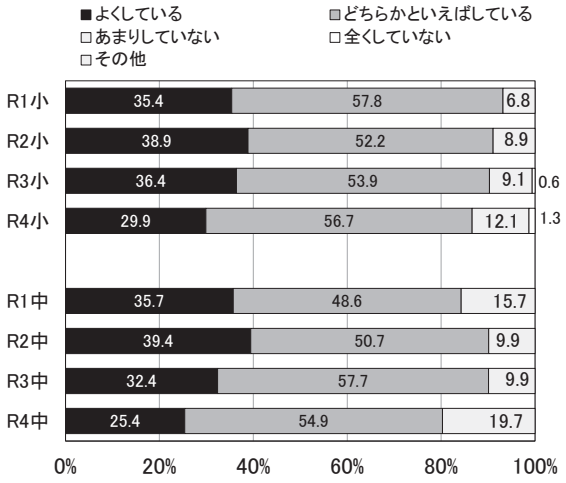
40 現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。



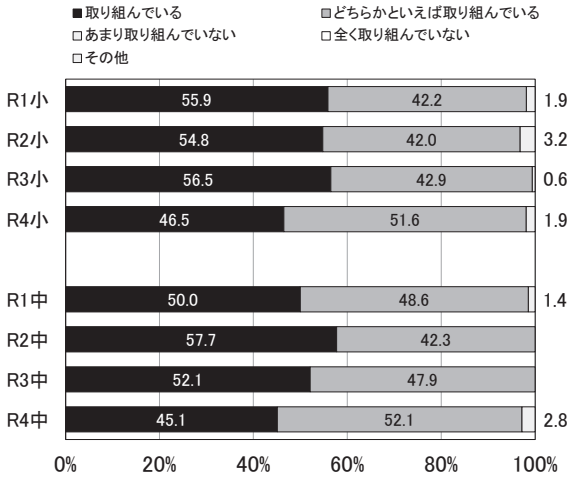
41 前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。



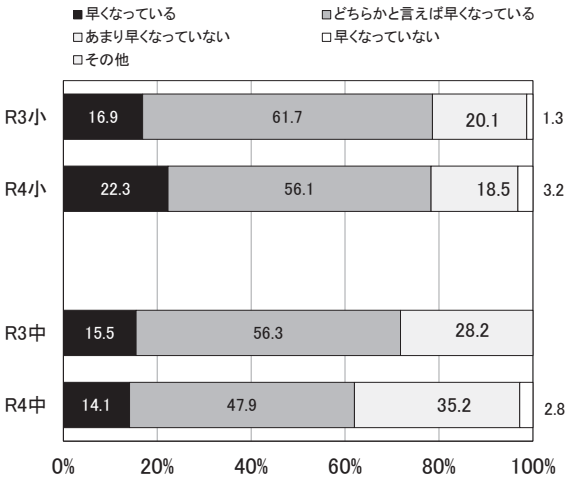
42 ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退勤しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。



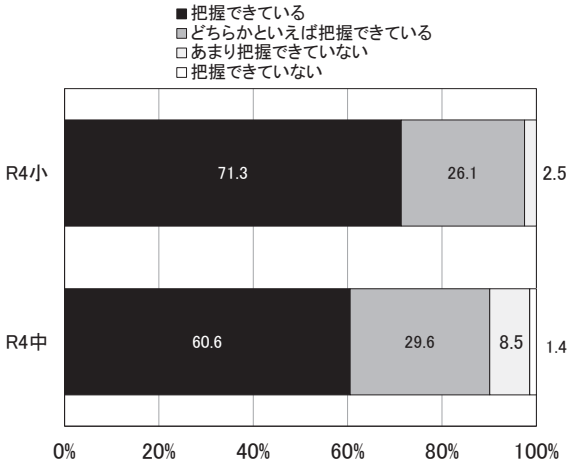
43 積極的に校務の改善に取り組んでいますか。(会議の合理化や工夫など、以前からの取組の継続も含む)



44 校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小されたりした結果、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。

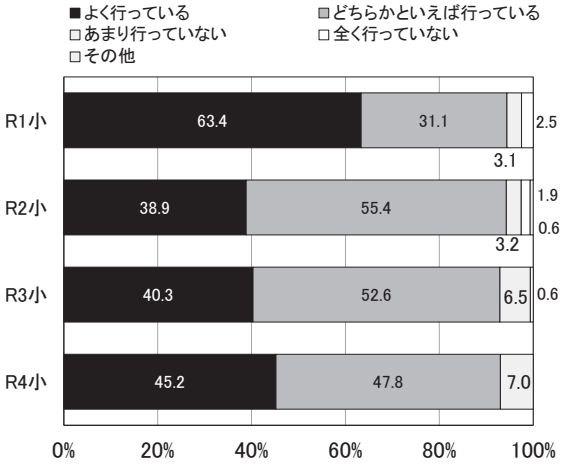


45 教員は毎月の自分の時間外在校等時間を把握していますか。



小学校

46 幼稚園等と小学校が就学前教育と小学校教育の接続の視点から、連携した取組を行っていますか。（予定を含む）



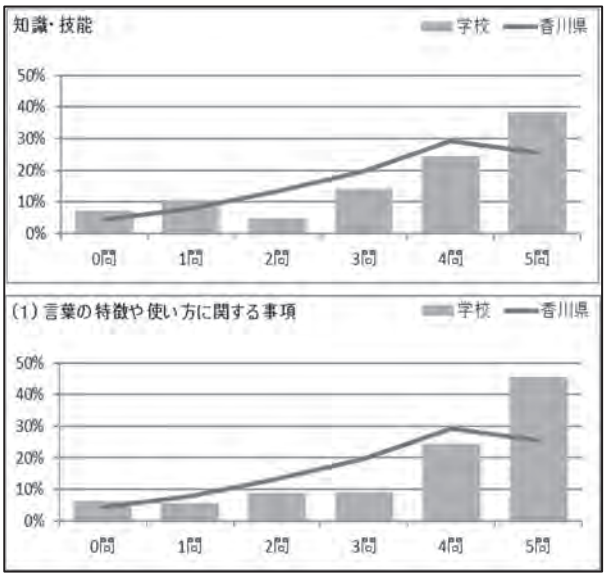
※「0.0」は省略しています。

調査結果を学校課題の改善に活用しましょう！

各校にＣＤ－ＲＯＭで調査結果が送付されています。全県調査結果との比較等ができますので、教育課程を評価する資料の一つとして分析・検証を行い、学校課題の改善に活用しましょう。

〈調査結果の一例〉

各教科の領域等別の習熟度から分析



領域等別の習熟度の様子を棒グラフで示しています。平均点に捉われず、 棒グラフの高低に着目して習熟度の散らばりを見ることが、授業改善につながります。

質問紙調査の結果一覧から分析

児童生徒質問紙調査結果

質問No	質問内容	選択肢数	選択1	選択2	選択3	選択4	選択5	選択6	その他	肯定的割合	香川県 選択1
1	1.朝食を毎日食べていますか。	4	36.4	47.6	14.0	2.1			0.0	83.9	81.5
2	2.家の人（兄弟姉妹はふくみません。）と学校でのできごとについて話をしていますか。	4	25.2	34.3	28.7	11.9			0.0	59.4	51.0
3	3.家の手伝いをしていますか。	4	21.0	50.3	25.9	2.8			0.0	71.3	27.8
4	4.ものごとを最後(さいご)までやりとげて、うれしかったことがありますか。	4	68.5	22.4	6.3	2.1			0.7	90.9	69.8
5	5.むずかしいことでも、失敗(しっぱい)をおそれないで挑戦(ちょうせん)していますか。	4	40.6	37.8	18.2	3.5			0.0	78.3	31.5
6	6.自分には、よいところがあると思いますか。	4	55.9	35.0	5.6	3.5			0.0	90.9	36.2
7	7.将来(しょうらい)の夢(ゆめ)や目標(もくひょう)をもっていますか。	4	40.6	37.1	14.0	8.4			0.0	77.6	45.8
8	8.学校のきまりを守っていますか。	4	44.1	44.8	9.1	1.4			0.7	88.8	44.9
9	9.係や委員(いいん)の仕事など、自分の役割(やくわり)をきちんと果たしていますか。	4	58.0	33.6	7.0	1.4			0.0	91.6	64.0
10	10.人が困(こま)っているときは、進んで助けていますか。	4	43.4	37.1	16.8	2.8			0.0	80.4	44.7
11	11.近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	4	52.4	34.3	10.5	2.8			0.0	86.7	61.6

質問紙調査結果の一覧が示されます。並べ替えて肯定的割合が多い順番に表示することもできますので、児童生徒の成果や課題を把握する一つの材料となります。

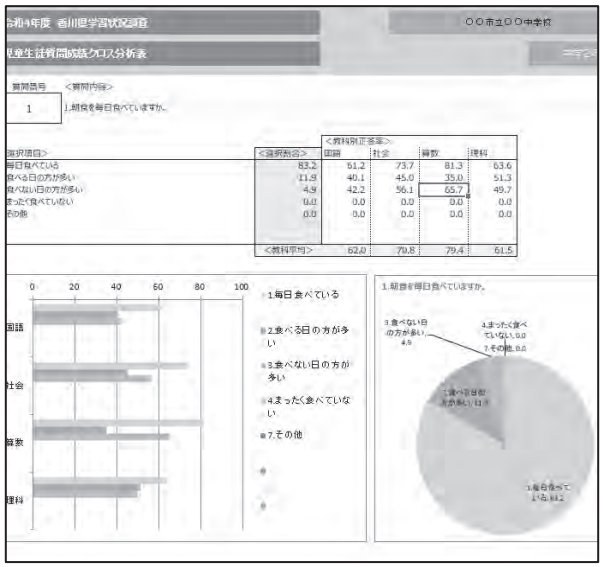
質問×質問のクロス集計から分析

質問No 1 × 質問No3

		1	(%)	2	(%)	3	(%)
		1.よくしている		2.どちらかといえばしている		3.あまりしていない	
1	1.毎日食べている	15	23.5	62	52.1	28	23.5
2	2.食べる日の方が多い	3	11.8	9	52.9	5	29.4
3	3.食べない日の方が多い	0	0.0	1	14.3	4	57.1
4	4.まったく食べていない	0				0	
7	7.その他	0		0		0	
		0		0		0	
		0		0		0	
	計	18	14%	72	55%	37	28%

任意の質問の調査結果が、クロス集計で示されます。児童生徒の生活や学習の状況を把握し、指導内容・指導方法の工夫・改善につなげることができます。

質問×成績のクロス集計から分析



令和4年度 香川県学習状況調査　　○○市立○○中学校

児童生徒質問紙調査クロス分析表

質問番号 1　〈質問内容〉 1.朝食を毎日食べていますか。

〈選択項目〉	〈選択割合〉	〈教科別正答率〉 国語	社会	算数	理科
毎日食べている	83.2	61.2	73.7	81.3	63.6
食べる日の方が多い	11.8	40.1	45.0	35.0	51.3
食べない日の方が多い	4.9	42.2	56.1	65.7	49.7
まったく食べていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
〈教科平均〉		62.0	79.8	79.4	61.5

任意の質問の回答別各教科正答率が示されます。生活習慣の改善が、学習に向かう意識の変容につながることも考えられます。

分析・検証の際に整理した成果と課題に基づいて、年間指導計画や校内指導体制等を見直し、次年度計画の作成に生かすことでより良い学校づくりを目指しましょう。さらに、児童生徒や保護者に対して、送付された個人成績表も加味しながら良さやつまずきの状況を伝え、今後の見通しを持つ機会を積極的に設けましょう。